Panasonic

取扱説明書
ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BZT710

操作編

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスは
WEB限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

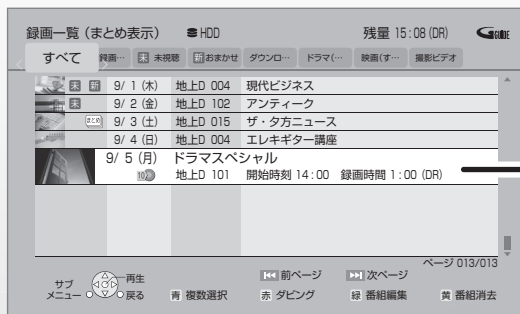
- 「取扱説明書（準備編・操作編）」および「かんたん操作ガイド」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（179 〜 183ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

「操作」についての

紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

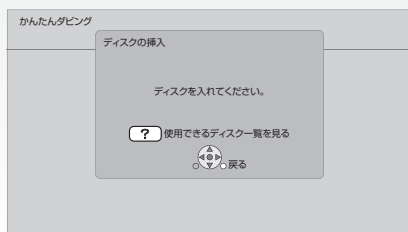
1 機器操作は　表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

例）操作できるボタンの表示

選択中の項目は黄色で表示

例えば、黄ボタンを押すと番組の消去ができます

基本的な操作は、リモコンの上下左右ボタンと決定ボタンを使います。

補足説明

? マークが付いた画面が表示されたとき

ガイド ? ボタン（ふた内部）を押すと、

操作に対する補足説明が確認できます。

2 困ったときは　操作ガイド

ガイド ? ボタン（ふた内部）を押すだけで、

困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。

●録画中や再生中に見ることはできません。

ご案内

本書では、本機の操作方法を説明しています。
別冊の「**取扱説明書 準備編**」や「**かんたん操作ガイド**」も併せてご覧ください。

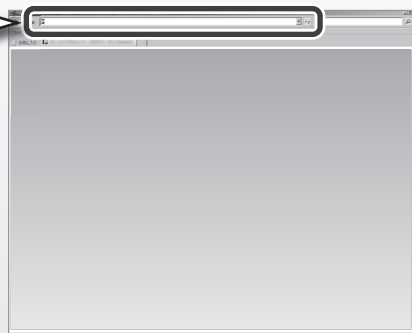
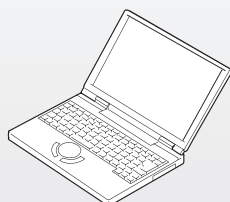
3 音声で案内　音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

●ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。(➔140)

・予約確認 ボタンを 3 秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

4 連携機器情報などの詳しい情報は　当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。(本機からホームページをご覧になることはできません)

本機を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる「**使い方ナビゲーション**」「**つなぎ方ナビゲーション**」
- 連携できる機器品番情報などを確認できる「**動作確認情報一覧**」
- 困ったときや、用語を調べたいときの「**よくあるご質問**」など

ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本機の「特長」

「録画が便利!」

複数番組同時録画

見たいデジタル放送の番組が重なっても、両方ともハイビジョン画質で録画できます。
- スカパー! HDの番組と重なっても録画できます。

「3D映像を楽しむ」

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

「番組を持ち出す」

▶ 117ページ

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出してお楽しみいただけます。

「思い出を見よう!残そう!」

動　画

▶51、87ページ

ビデオカメラなどで撮影した動画の
取り込みができます。
ハイビジョン動画の場合、再生もできます。

写　真

▶95、98ページ

デジタルカメラなどで撮影した写真の再生や
取り込みができます。

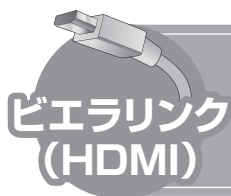
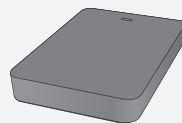
動くアルバム

▶111 ページ

撮影した写真や動画を組み合わせて、
アルバム動画を作成することができます。

「別売のUSBハードディスク[※1]に対応」

※1 以降USB-HDDと表示

接続できる USB-HDD については（➜155）

HDMI ケーブルでビエラとつなげば、

ビエラのリモコン 1 つで本機の操作を行うことができます ➜114 ページ

「ネットワークにつないで楽しむ」

▶ 124ページ

テレビでいろいろな情報を見ることができます。

ブロードバンドレシーバー機能

▶準備編43ページ

外出先から本機の録画予約ができます。

ドアホン・センサーカメラ録画

▶ 122ページ

留守中の訪問客などを記録することができます。

お部屋ジャンプリンク(DLNA)

▶ 128ページ

本機に録画した映像を別の部屋で見ることや、
別の部屋にある機器の映像を見ることができます。

写真の送受信

▶ 100ページ

他のディーガと写真の送受信ができます。

スカパー！HD録画

▶ 85ページ

対応チューナーから本機にハイビジョン番組を
そのままの画質で録画できます。

1ヵ月の番組表

▶ 33ページ

1ヵ月の番組表を表示することができます。※2

※2 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ
（2011年7月現在、WOWOWのみ）

注目番組

▶ 35ページ

注目番組を表示することができます。※3

※3 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ
（2011年7月現在、NHK、WOWOWのみ）

ネットワークを使ってダビング

▶ 94ページ

HDD内蔵ビエラなどからダビングできます。

本機は無線LANを内蔵しています

無線 LAN を使ってネットワーク接続（➜ 準備編 19）すると、
ケーブルの配線を気にすることなく、
ネットワーク機能を楽しむことができます。

目次

視聴

録画

再生

編集

ダビング

CATV

他の機器と

（➜ 次ページに続く）

目次（続き）

写真 / 音楽

便利機能

必要なとき

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

[電源⏻/I]を
3秒以上押す

本機の電源が切れます。
故障かな !? と思った場合 ➜162

本機を廃棄 / 譲渡するときは

156 ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。
詳しくは 124 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

本書内の表現について

- **本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。**
- 本書内で参照していただくページを（**➜**○○）、別冊の取扱説明書 準備編を参照していただくページを（**➜準備編** ○○）で示しています。
- ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	-R
DVD-RW	-RW

ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	DVD-V
+R DL	DVD-V
+RW	DVD-V
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

※　DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
  - ･AVCREC 方式の場合　：例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  - ･VR 方式の場合　：例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  - ･ビデオ方式の場合　：例）-R(V) -RW(V) （ただしファイナライズ後は DVD-V）
- ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示
- ビデオカメラなどで撮影した動画（MP4）が記録された SD カードの場合は、MP4 と表示

USB-HDD を接続時の操作について	本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。USB-HDD を接続している場合にできる操作については、USB-HDD と表示しています。 接続できる USB-HDD については（➜155）

各部の働き

本体

リモコン受信部
受信範囲
·正面…約7 m以内
·左右…各約30°
·上下…各約20°

点灯・消灯の設定ができます
(➜144「SDカードLED制御」)

録画中に点灯表示

電源を切／入する

本体表示窓(➜下記)

ディスクトレイを
開閉する

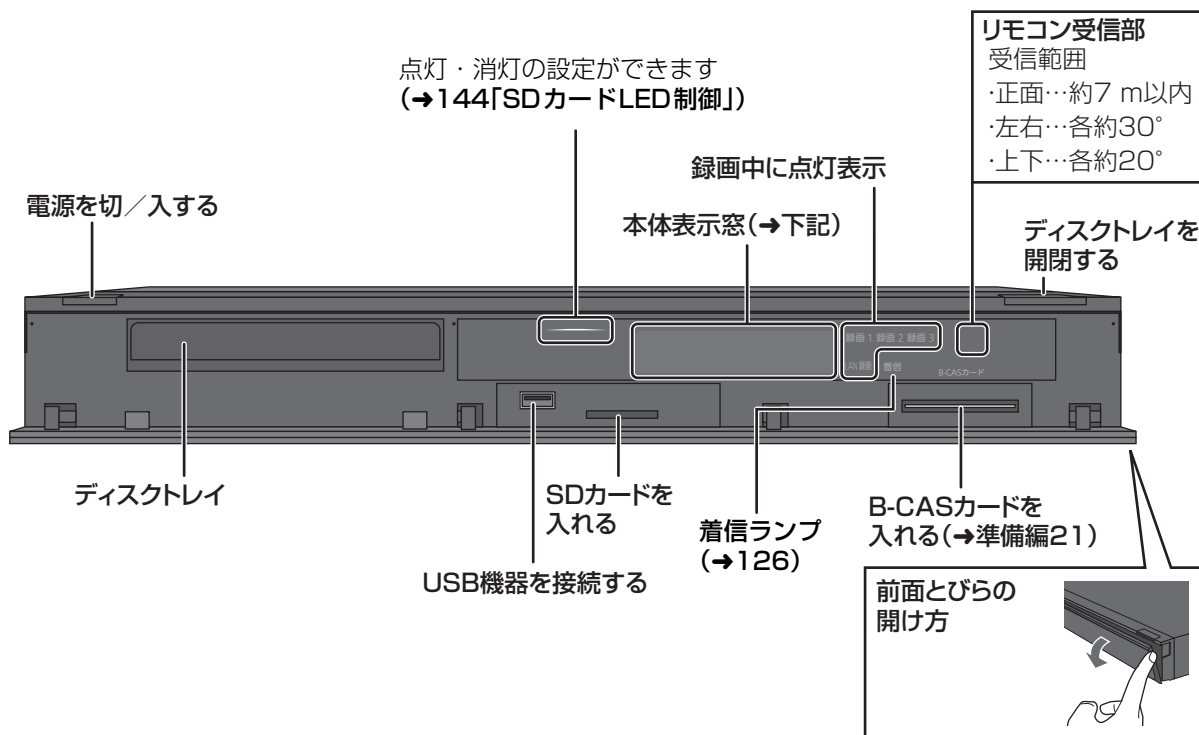
ディスクトレイ

SDカードを
入れる

着信ランプ
(➜126)

B-CASカードを
入れる(➜準備編21)

USB機器を接続する

前面とびらの
開け方

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

[電源「切」時は、「クイックスタート」(➜140) が「入」で「クイックスタートモード」(➜140) が「標準」に設定されているときに点灯表示します]

はじめに

各部の働き（続き）

リモコン

- エコ待機で電源を切る（➔18）
- ディスクトレイを開閉する
- テレビ操作部(➔準備編40)
  - ●本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。
- チャンネルを順に選ぶ
- 録画や再生時の基本操作
- 約 30 秒先へ飛び越す（➔56）
- テレビでネット画面を表示する（➔124）
- 予約一覧画面を表示する（➔41）
- スタート画面を表示する（➔20）
- 番組表を表示する（➔30）
- 選択および決定する
- 前の画面に戻る
- 画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用します。
- チャプターマークを作成・削除する（➔68）
- ビデオコミュニケーションの画面を表示する（➔126）
- 情報を表示する（➔25、57）

- 本機の電源
- HDD/BD/SDを切り換える
- 約 10 秒前へ戻す（➔56）/ お好みチャンネルを表示する（➔24）
- 放送を切り換える（➔23）
- 録画する（➔27）/ ワンタッチ予約する（➔30）
  - ●ワンタッチ予約は、番組表上で実行することができます。
- 録画一覧 / ディスクメニューを表示する（➔50）
- サブメニューを表示する
- HDD 録画モードを選ぶ（➔27）
- 番組の消去や予約の取り消しをする

シンプルリモコン対応

本機は別売のシンプルリモコン(DY-RM10)に対応しています。シンプルリモコンを使うと、シンプルリモコン専用の画面で簡単に予約などの操作ができます。

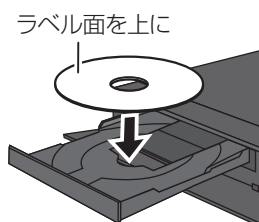
ふたを開けると

- 外部接続機器に入力を切り換える [L1、DV、i.LINK（TS）など]
- 音声を切り換える（➔25、57）
- 3 桁番号を入力してチャンネルを選局する（➔24）
- データ放送の画面を表示する（➔23）
- 操作ガイドを表示する（➔2）
- 初期設定を表示する（➔140）
- 再生方法を設定する（➔61）
- 時間を指定して飛び越す（➔57）
- チャンネルなどを番号で選ぶ/番号や文字を入力する

ディスク・SD カードを入れる

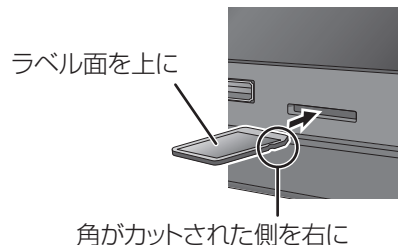
ディスク

開/閉 ▲ を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度押すと、トレイが閉まります。
●本体の [▲ **開 / 閉**] でも操作できます。
●ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

●両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
●ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(➜157)
●使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。
●**カートリッジ付きディスクについて**
・カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
・DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。(➜ 下記)
（TYPE1 は使えません）
●ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**
❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

●**本体表示窓の “ ” (➜11) 点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
●mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）

カートリッジ付きディスクの取り出し方例

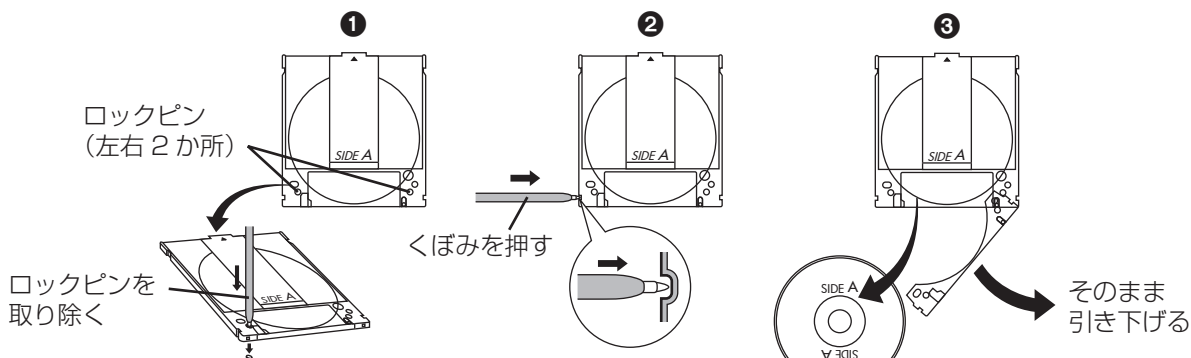
カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

❶ ロックピン（左右 2 か所）
ロックピンを取り除く

❷ くぼみを押す

❸ そのまま引き下げる

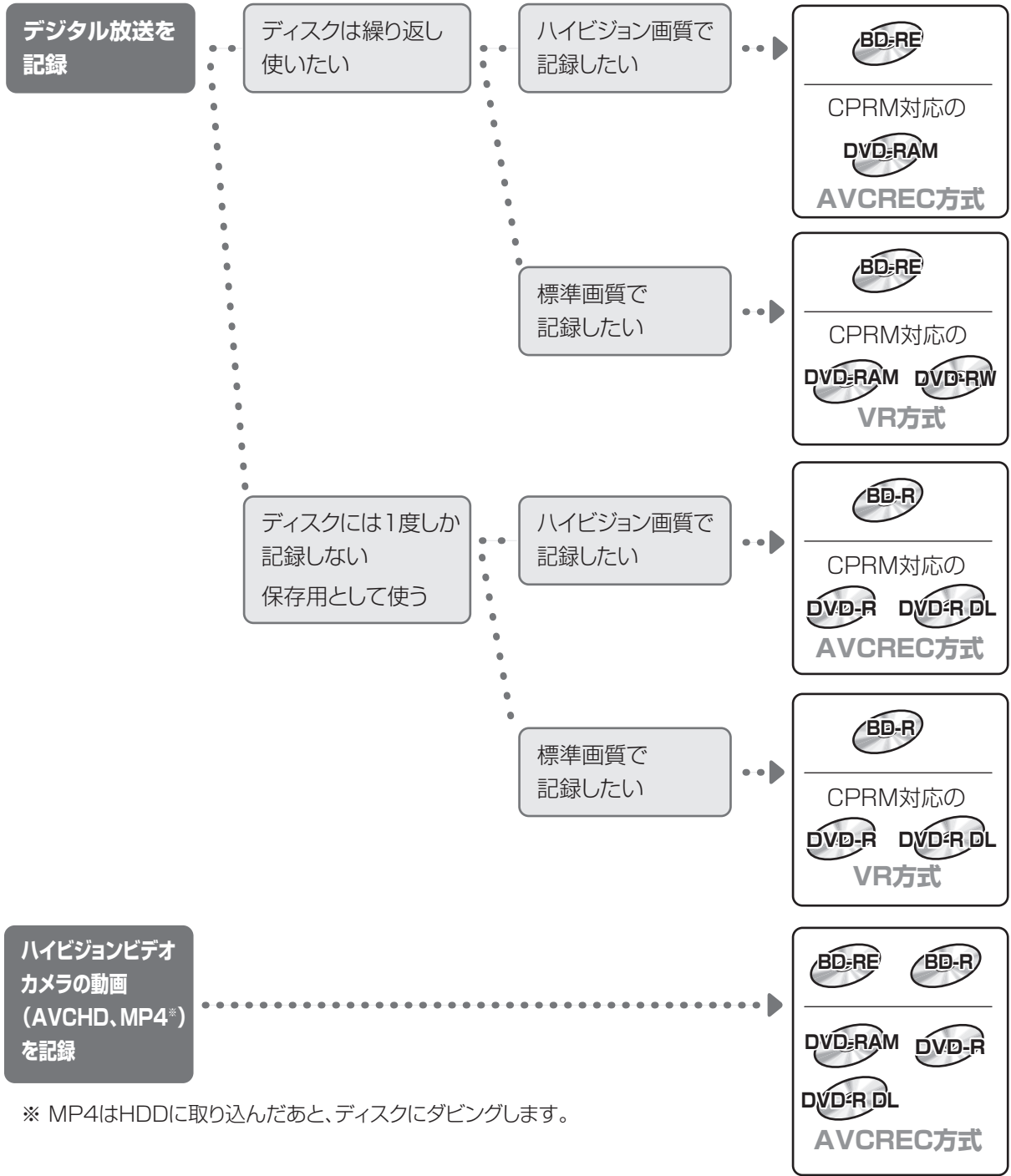
はじめに

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	記録できる放送	記録できる画質
BD-RE	Blu-ray Disc	—	地上･BS･CS デジタル放送	ハイビジョン画質 標準画質
BD-R	Blu-ray Disc			
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	AVCREC方式	地上･BS･CS デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式（DVDビデオレコーディング規格）	地上･BS･CS デジタル放送	標準画質
DVD-R DVD-R DL（片面2層）	DVD R R4.7 DVD R R DL	AVCREC方式	地上･BS･CS デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式（DVDビデオレコーディング規格）	地上･BS･CS デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式（DVDビデオ規格）	デジタル放送は記録できません	標準画質
DVD-RW	DVD RW	VR方式（DVDビデオレコーディング規格）	地上･BS･CS デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式（DVDビデオ規格）	デジタル放送は記録できません	標準画質

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット（➜134）することで設定されます。

	記録できる録画モード	予約録画は?	フォーマットは？ (➔134)	備考
	DR HG HX HE HL HM HZ XP SP LP EP FR	できる （予約は1番組）	必要	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きのBD-RE（Ver.1.0）の記録や再生はできません。 （カートリッジからディスクを取り出しても使えません）
	HG HX HE HL HM HZ	できる （予約は1番組）	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ● カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。 （TYPE1は使えません）
	XP SP LP EP FR	できる （予約は1番組）	不要 （データ用ディスクの場合、フォーマット必要）	
	HG HX HE HL HM HZ	できる （予約は1番組）	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	XP SP LP EP FR	できる （予約は1番組）	必要	
	XP SP LP EP FR	できない	不要	● コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。
	XP SP LP EP FR	できる （予約は1番組）	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
	XP SP LP EP FR	できない	必要	● コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。

記録できるディスクについて（続き）

※ MP4はHDDに取り込んだあと、ディスクにダビングします。

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

●LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
●当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
●HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4）、スカパー！HD の番組は、再生できない場合があります。
●DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
・BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。
●**記録したディスクの再生に対応**
●**記録したディスクの記録方式の再生に対応**

・**AVCREC 方式の場合：**
対応機器には右記のロゴが付いています。
対応機器以外で使用しないでください。
ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
-R はファイナライズ（➜137）が必要です。

・**ビデオ方式の場合：**
記録後にファイナライズ（➜137）が必要です。

●**デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。**

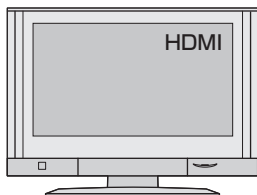
お知らせ
●ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

●本機を接続した入力に切り換えてください。
（HDMI、ビデオ 1 など）

3 本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓

チャンネル表示

●テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

●テレビの入力を確認してください。
●接続を確認してください。
（➜ 準備編 4 ～ 22）

本機の電源を切る

本機のリモコンの **を押す**

本体表示窓

10:05 または

時刻表示　　表示なし

エコ待機で電源を切る

[エコ待機] で電源を切ると、クイックスタートの設定にかかわらず、電源「切」時の消費電力を少なくすることができます。**（消費電力 ➜167）**

エコ待機 を 3 秒以上押す

本体表示窓

PLEASE WAIT

表示なし

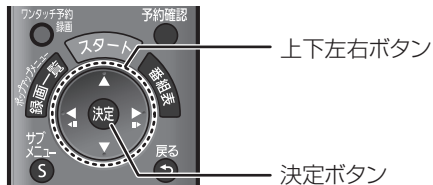
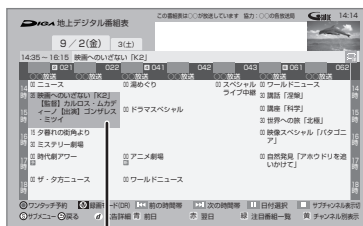
お知らせ

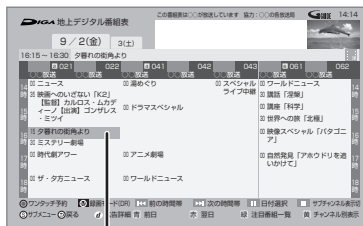
●エコ待機で電源「切」時は、「エコ待機モード」（➜141）の設定にかかわらず、以下の制限があります。
・「クイックスタート」（➜140）が「切」時と同じ動作になるため、起動が遅くなる
・お部屋ジャンプリンク (DLNA) が使用できない
・ブロードバンドレシーバー機能が使用できない
・ドアホン・センサーカメラからの録画ができない
・i.LINK からの予約録画が実行されない
・スカパー！HD 対応チューナーからの予約登録ができない、または番組の時間変更に追従できない
・ビデオコミュニケーションの着信を受けられない
・ビエラリンク録画待機ができない
●「エコ待機モード」（➜141）が「モード2」の場合、上記に加えて以下の制限もあります。
・アンテナ線を本機経由でテレビに接続している場合に、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。
本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。**（➜ 準備編 10）**
●エコ待機中に無効なボタンを押すと、本体表示窓に“ECO”と表示されます。

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押すことで操作を行います。

上下左右ボタン

決定ボタン

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

[▼]を押す

黄色になります。

[決定]を押す

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、
番組を選び、決定を押す
と記載しています。

はじめに

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 〈スタート〉を押す

2 項目を選び、〈決定〉を押す

新着お知らせアイコン(➜下記)

現在表示しているページの位置

スタート画面は3つのページに分かれています。

左右のページを表示するには

〈⏮スキップ〉〈⏭スキップ〉を押す（または [◀] [▶] を数回押す）

最初に表示されるページ

全機能から選ぶ

スタート画面に表示できるすべての機能を一覧表示して選ぶことができます。

●スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

お知らせ

● 新着お知らせアイコンについて

以下の機能で新着情報があるときに表示します。(電源「切」時に新着情報の更新を行います)

・おまかせ録画を見る

・最新録画番組を見る

・新着写真を見る

・ディモーラからのおすすめ

・メール / 情報

・ドアホン・センサーカメラを見る

●以下の機能では、新着情報があるときに番組や写真のサムネイルを表示します。

・おまかせ録画を見る

・最新録画番組を見る

・新着写真を見る

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。(➜22)

分類	表示できる機能	備考
見る・聴く	録画番組を見る	(➜50)
	最新録画番組を見る	(➜53)
	おまかせ録画を見る	「新番組おまかせ録画」(➜37) で録画した番組を視聴します。
	写真を見る	(➜95)
	新着写真を見る（PicMate）	(➜95、100)
	撮影ビデオを見る	(➜51)
	音楽を聴く	(➜103)
	ドアホン・センサーカメラ映像を見る	(➜122)
番組を探す・予約する	予約する	(➜30)
	予約確認する	(➜41)
	ぴったり録画	(➜29、90)
	新番組おまかせ録画	(➜37)
	放送局からのおすすめ (注目番組)	(➜35)
	ジャンル検索	(➜36)
	お好み番組表	(➜24)
	ディモーラからのおすすめ	会員登録するとお勧め情報が配信されます。 詳しくは下記ホームページをご覧ください。 http://dimora.jp/
残す	かんたんダビング	(➜72)
	詳細ダビング	(➜74)
	アルバムを作る	(➜111)
	モバイル機器かんたん転送	(➜119)
	持ち出し番組一覧	(➜120)
	DV おまかせ取り込み	(➜91)
	i.LINK（TS）ダビング	(➜93)
ネットワーク機能を使う	お部屋ジャンプリンク（DLNA）	(➜128)
	テレビでネット	(➜124)
	アクトビラ	(➜124)
	Skype	(➜126)
設定する・その他の機能	放送設定	(➜138)
	初期設定	(➜140)
	メール／情報	(➜133)
	診断コード	(➜162)
	壁紙設定	(➜22)
	お好み設定リセット	(➜22)
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。

スタート画面について（続き）

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。
（「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません）

表示する機能を変更する

1 [スタート] **を押す**

2 **変更したい機能を選び、**[サブメニュー] **を押す**

3 **「機能を登録する」を選び、**[決定] **を押す**

4 **メニューを選び、**[決定] **を押す**

5 **表示したい機能を選び、**[決定] **を押す**

- 登録できる機能については（➜21）

6 **「はい」を選び、**[決定] **を押す**

スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

① **[スタート]** を押す
② 「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「設定する · その他の機能」を選び、**[決定]** を押す
④ 「お好み設定リセット」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

壁紙を変更する

1 [スタート] **を押す**

2 **「壁紙設定」を選び、**[決定] **を押す**

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 **壁紙を選び、**[決定] **を押す**

- 「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」（➜96）を行ってください。

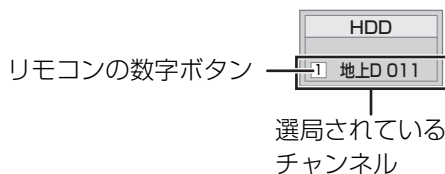
4 [戻る] **を押す**

- 壁紙設定を終了します。

テレビ放送を見る

1 地上 BS CS（1/2） **を押して、放送を選ぶ**

●[CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1 ～ 12（ふた内部）**または** チャンネル **を押して、チャンネルを選ぶ**

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

●**本機では、データ放送を録画できません。**
録画が始まるとデータ画面が消えます。

1 **データ放送のある番組を選局し、** データ（ふた内部）**を押す**

2 **見たい項目を選び、** 決定 **を押す**

例）

●画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

データ画面を消すには
[データ] を押す

視聴

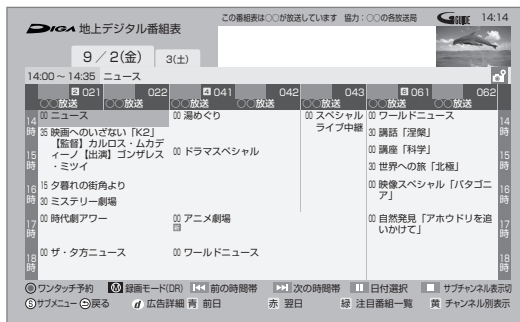
お知らせ

●本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
●HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで２番組録画中は、放送／入力やチャンネルの切り換えは２番組間でのみできます。

その他の選局方法

番組表から選局

❶ を押す

❷ 放送中の番組を選び、決定 を押す

☞ 別の放送の番組表を見るには
　[地上] [BS] [CS] を押す

❸「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、3桁入力（ふた内部）を押す
- ●押すごとに放送が切り換わります。

❷ 1 ～ 10（ふた内部）を押して、チャンネルを入力する

例）101 の場合…[1] → [10] → [1]
- ●画面が表示されている間に入力してください。

☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
　(地上デジタル)（➜26「枝番選局」）

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく1つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、 を押す

❷ 放送局を選び、決定 を押す

お好みチャンネル

LOGO	地上D	011	○○○○○
LOGO	地上D	021	○○○○○
LOGO	地上D	041	○○○○○
LOGO	地上D	061	○○○○○
LOGO	地上D	071	○○○○○
LOGO	地上D	081	○○○○○
LOGO	地上D	101	○○○○○
LOGO	BS	101	○○○○○
LOGO	BS	102	○○○○○
LOGO	BS	103	○○○○○
LOGO	BS	141	○○○○○

項目選択　決定　登録・取消　戻る

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
　[10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② [サブ メニュー] を押す
③「登録」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す
- ●リストの一番下に登録されます。
　（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [10 秒戻し / お好みチャンネル] を押す
② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す
③「取消」を選び、[決定] を押す
④「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- ●お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- ●かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶ サブメニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度 [**サブ メニュー**] を押してください。

❷「画面モード切換」を選び、決定 を押す

❸ 画面モードを選ぶ

ノーマル：
元の映像で表示します。

サイドカット：
16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。

ズーム：
4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

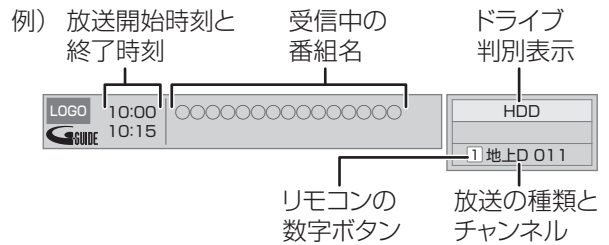
●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切 / 入

●番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。

●「TVアスペクト」(➜ **準備編 38**) を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。

●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す

表示を消すには

[**画面表示**] を数回押す

音声を切り換える

音声切換（ふた内部）を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

●録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D/2D 出力

●3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続時

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは➜59「3D映像を再生するための便利な機能」)

放送内容などの設定

テレビ視聴中に

❶ [サブメニュー] を押す

- 表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷「デジタル放送メニュー」を選び、[決定] を押す

例）
デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示切
信号切換
アンテナレベル
枝番選局
項目選択 決定 戻る

❸ 設定項目を選び、[決定] を押す（➜ 右記へ）

項目	内容
視聴制限一時解除	暗証番号（➜139）を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー 主番組 映像 映像1 音声 日本語 二重音声 主 データ データ1 字幕 入 切 字幕言語 日本語 英語 項目選択 設定変更 戻る **設定する項目を選び、設定する** お知らせ ● 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 （詳しくは ➜46）
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 （地上デジタル）	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 （例：「011-0」、「011-1」） 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1 地上 BS CS(1/2) **を押して、放送を選ぶ**

●[CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1 ～ 12（ふた内部）または チャンネル **を押して、チャンネルを選ぶ**

3 録画モード **を押して、録画モードを選ぶ**

●押すごとに、切り換わります。

●表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

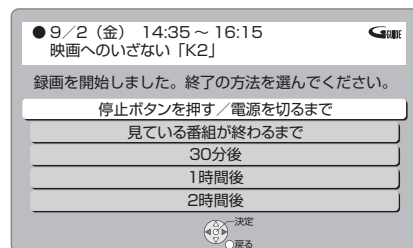
例）

録画モード		
HDD 残量　63 時間 00 分		
放送画質	DR	容量
ハイビジョン画質	HG （ 2 倍）	大
	HX （ 3 倍）	
	HE （ 4 倍）	
	HL （ 5 倍）	
	HM （ 8 倍）	
	HZ （15 倍）	小
標準画質	XP （標準 1 倍）	大
	SP （標準 2 倍）	
	LP （標準 4 倍）	
	EP （標準 8 倍）	小
HZ：マルチ音声では録画時間が短くなる事があります		

4 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

本体前面

“録画 1” または “録画 2”、“録画 3” が点灯

5 **録画の終了方法を選び、決定を押す**

例）「30 分後」を選んだ場合

本体前面

録画終了までの時間

録画を止めるには

■停止 **を押す**

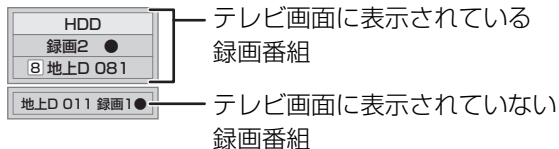
お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安（➜ 172）**
- **録画モードと記録時間の倍率について（➜ 47）**
- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
  ・予約録画はできます。（ビデオ方式は除く）
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜ 48）できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 有料放送を録画するには、放送会社と契約した B-CAS カードを挿入してください。契約した B-CAS カードをテレビでお使いの場合は、そのカードを本機に挿入してください。
- デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は標準画質です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

画面表示 **を押す**

例）複数の番組を録画中

録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

●放送を切り換えていた場合：

を押す

●チャンネルを切り換えていた場合：

を押す

●入力を切り換えていた場合：

（ふた内部）を押す

録画を止める

■停止 **を押す**

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。（➜ 上記）

❚❚一時停止 **を押す**

●もう一度押す、または [**ワンタッチ予約 録画 ●**] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

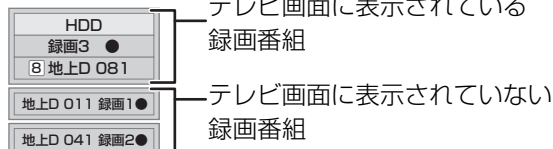
複数の番組を録画する

27 ページの手順 1 ～ 5 で別の番組を録画する

本体前面

テレビ画面

HDD
録画3 ●
8 地上D 081
地上D 011 録画1●
地上D 041 録画2●

テレビ画面に表示されている録画番組
テレビ画面に表示されていない録画番組

●3番組録画中のチャンネル/放送/入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
（ただし、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで２番組、DR モードで１番組録画している場合、DR モードの番組に切り換えることはできません）

録画しながら再生する

追っかけ再生：
HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生します。

同時録画再生：
録画中に録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**

ぴったり録画

録画した番組を新品のDVD（4.7 GB）にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせてXP～EPモードの中から自動的に最適な画質でHDDに録画します。
（➜46「FR」）

1 チャンネルを選ぶ（➜27ページ手順1～2）

2 [スタート] を押す

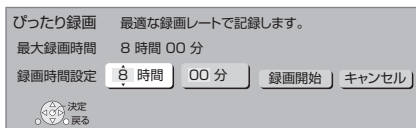
3 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

4 「番組を探す・予約する」を選び、[決定] を押す

5 「ぴったり録画」を選び、[決定] を押す

6 「HDDに録画」を選び、[決定] を押す

7 “時間”または“分”を選び、録画時間を設定する

●8時間を超えて設定することはできません。

8 「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で [決定] を押す

録画の残り時間を確認するには

[画面表示]を押す

例）

録画の残り時間

お知らせ

●録画中にぴったり録画はできません。

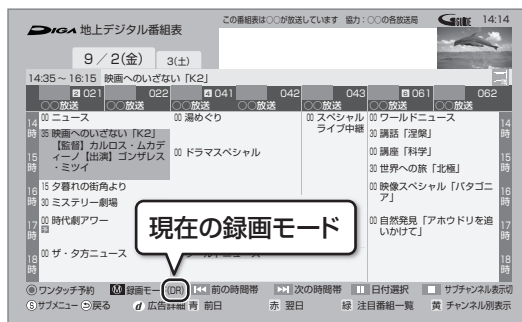
予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

番組表（G ガイド）を使って HDD に予約録画する

1

を押す

2 番組を選ぶ

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[地上] [BS] [CS] を押す

☞ **現在の録画モードを変更するには**
[録画モード] を押す

3 決定 を押す

[決定] の代わりに ワンタッチ予約録画 を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。
（ 予 が表示されます）
●手順 4 ～ 5 の操作は不要です。

4 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

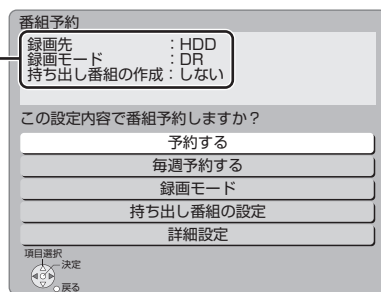
5 項目を選び、決定 を押す

予約する：
予約を登録

毎週予約する：
毎週同じ曜日に予約を登録（➜43）

録画モード：
録画モードを変更（変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

持ち出し番組の設定：
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成（➜118）

詳細設定：
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（➜38）

予約内容を確認してください。

お知らせ

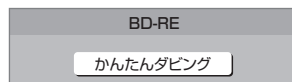
- ●番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
- ●電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- ●本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- ●予約済みの番組をさらにもう 1 番組予約したい場合、**手順 3** で **[決定]** を押して予約してください。

番組表（G ガイド）を使ってディスクに予約録画する

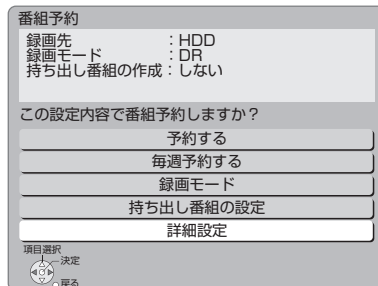
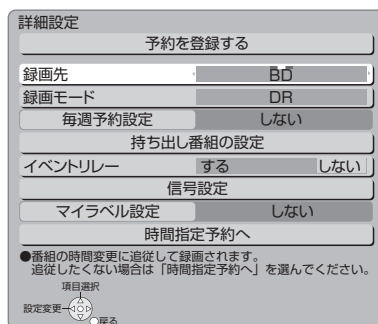
ディスクは、1 番組のみ予約できます。

1 ディスクを入れる

●下記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

例）
BD-RE
かんたんダビング

2 30 ページの手順 1 ～ 4 を行う

●30ページの手順3では、[決定]を押してください。

3 「詳細設定」を選び、決定を押す

4 録画先を「BD」にする

5 「録画モード」を設定する

●ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

6 「予約を登録する」を選び、決定を押す

●フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。
● -RW ではできません。

標準画質で記録します。

予約録画できません。

番組表（G ガイド）を使って USB-HDD に予約録画する

録画モードは DR 固定になります。

1 30 ページの手順 1 ～ 4 を行う

●30ページの手順3では、[決定]を押してください。

2 「詳細設定」を選び、決定を押す

3 録画先を「USB-HDD」にする

4 「予約を登録する」を選び、決定を押す

お知らせ

●USB-HDD に複数の番組を同時に録画することはできません。
●本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。

録画

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。
電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例）全チャンネル表示

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに 1 日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

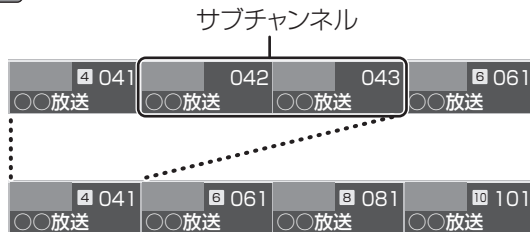
番組表の表示設定

放送の切り換え

  を押す

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

■停止 を押す

お知らせ

●表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

青（前日）赤（翌日）を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

❶ Ⅱ一時停止 を押す

❷ 日付を選び、決定 を押す

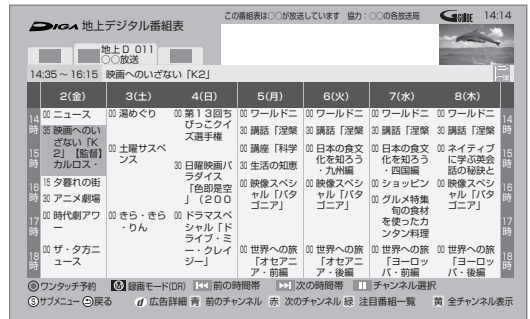
お知らせ

●本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
さらに、本機をネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」（➔138）を「入」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。（2011年7月現在、ネットワークから1ヵ月の番組情報を取得できる放送局は WOWOW のみです。2011年10月より、スターチャンネルも対応予定です）

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

❷ 黄 を押す

全チャンネル表示に切り換えるには
[黄] を押す

別のチャンネルを表示するには
チャンネル別表示中に
[青] [赤] を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① [Ⅱ 一時停止] を押す

② チャンネルを選び、[決定] を押す

お知らせ

●1ヵ月の番組表を取得している場合、9日目以降の番組表の表示には時間がかかります。

番組表の表示設定（続き）

1 番組表表示中に

[サブメニュー S] を押す

2 **項目を選び、設定する**

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜36)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(➜24) で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定] を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定] を押す** **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]** を押す ②「全ジャンル表示」を選び、**[決定]** を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号（➜139）を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

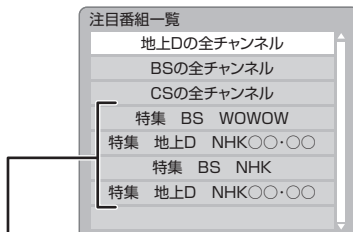
注目番組一覧から予約録画する

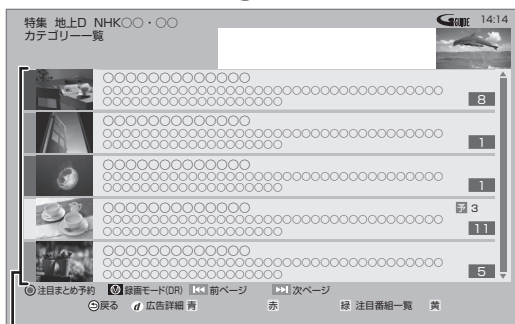
放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

[緑] を押す

2 放送を選び、[決定] を押す

●地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順４へ進んでください。

ネットワークに接続し、「通信によるＧガイド受信」(➜138) を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2011年７月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです。2011 年 10 月より、スターチャンネルも対応予定です)

3 (ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)
カテゴリーを選び、[決定] を押す

カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

放送を変更するには
[緑] を押す (➜ 手順２へ)

4 **番組を選び、[決定] を押す**

カテゴリー

前後のページを見るには
[|◀◀][▶▶|] を押す

他のカテゴリーを表示するには
[青][赤] を押す
([❚❚ 一時停止] を押してカテゴリーを選択することもできます)

放送を変更するには
[緑] を押す (➜ 手順２へ)

録画モードを変更するには
① [録画モード] を押す
② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 **「番組予約へ」を選び、[決定] を押す**
(「番組予約」のときは ➜30 手順 5)
(「時間指定予約」のときは ➜40 手順 3)

録画

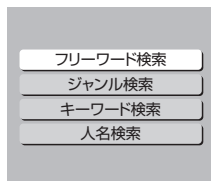
予約録画する（続き）

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

を押す

2 「番組表の検索」を選び、決定を押す

3 検索方法を選び、決定を押す

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ **検索条件を選び、決定を押す**

●この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには

[地上][BS][CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには

[青]（前日）[赤]（翌日）を押す

（検索結果画面表示中に、[❚❚ 一時停止] を押して日付を選択することもできます）

❺ **番組を選び、決定を押す**

❻ **「番組予約へ」を選び、決定を押す**

(➜30 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の複数の検索条件（5 件まで）を登録し、１つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■検索条件を登録する

❹ **緑 を押す**

❺ **検索方法を選び、決定を押す**

●「フリーワード」は、文字を入力し（➜130）、登録してください。

上記手順 ❹ ～ ❺ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには

① 検索条件を選び、[決定] を押す

② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す

③ 文字を入力する（➜130）

登録した検索条件を削除するには

① 検索条件を選び、[黄] を押す

② 「はい」を選び、[決定] を押す

■検索する

❹ 検索する放送種別を変更する場合：

① **赤 を押す**

② **検索したい放送を「入」に設定し、決定を押す**

❺ **青 を押す**

別の日の検索結果を表示するには

[青]（前日）[赤]（翌日）を押す

（検索結果画面表示中に、[❚❚ 一時停止] を押して日付を選択することもできます）

❻ **番組を選び、決定を押す**

❼ **「番組予約へ」を選び、決定を押す**

(➜30 手順 5)

お知らせ

●検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。

●ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」（➜ 138）を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。

●「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BS デジタル

番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18 時～23 時 59 分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- HDD に DR モードで予約します。

1 スタート **を押す**

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

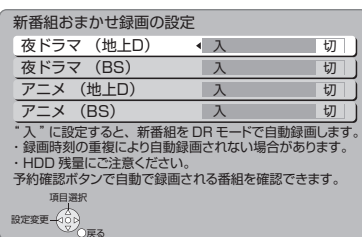
3 「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す

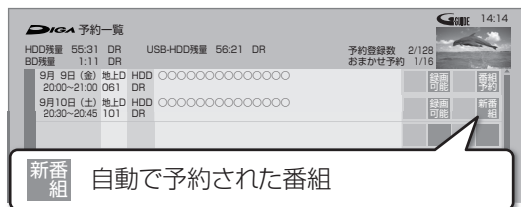
4 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

5 設定したい項目を選び、「入」にする

新番組おまかせ録画の設定

夜ドラマ （地上D）	入	切
夜ドラマ （BS）	入	切
アニメ （地上D）	入	切
アニメ （BS）	入	切

“入”に設定すると、新番組を DR モードで自動録画します。
・録画時刻の重複により自動録画されない場合があります。
・HDD 残量にご注意ください。
予約確認ボタンで自動で録画される番組を確認できます。
項目選択 設定変更 戻る

予約された新番組の確認

予約確認 **を押す**

☞ **予約内容を修正するには**（➜41）

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

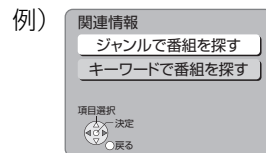
- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組と予約が重なった場合、複数の番組を録画（➜ 48）できないときは、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、複数の番組を録画（➜ 48）できないときは、以下の優先順位で予約します。
  ① 開始時刻の早い番組を優先
  ② 新番組の開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先し、同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

番組内容画面（➜30 手順 4）表示中に

❶ **「関連情報」を選び、決定 を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す**

例）

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

☞ **放送ごとに表示するには**

[地上] [BS] [CS] を押す

☞ **別の日の検索結果を表示するには**

[青]（前日）**[赤]**（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、**[❚❚ 一時停止]** を押して日付を選択することもできます）

❸ **番組を選び、決定 を押す**

❹ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す（➜30 手順 5）**

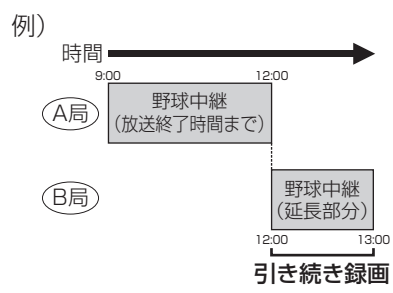
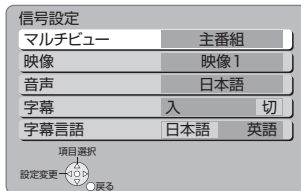
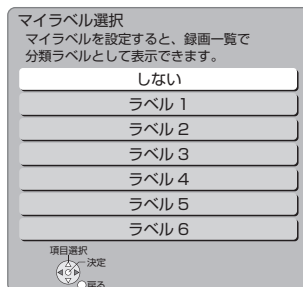
詳細設定をする

30 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する（➜ 下記へ）

●「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定を押す

項目	内容
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜46）を設定します。
毎週予約設定	毎週予約設定 毎週予約 しない 自動更新 入 切 月 する しない 火 する しない 水 する しない 木 する しない 金 する しない 土 する しない 日 する しない ●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。 項目選択 決定 設定変更 戻る **「毎週予約」（➜43）を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
持ち出し番組の設定 HDD	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。（➜118） **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ** ●「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」（➜119）で転送することができます。 ●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。（➜118） **持ち出し方法・持ち出し番組の画質について（➜117）**
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（ただし、別番組として録画されます） 例） **お知らせ** ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が “BD” の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ① **項目を選び、設定する** ② **[戻る] を押す** **お知らせ** ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 （詳しくは ➜46） ●選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧（➜52）で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。（➜66） **ラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。 （➜54「分類ラベル設定」）
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 （➜40「時間指定予約」）

予約録画する（続き）

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 を押す

2 ワンタッチ予約 録画 を押す

3 予約内容を設定する

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力L1」を選んでください。

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（➜139）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る] を押すと予約できます。
- 本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。
  （➜ 準備編 44「時刻合わせ」）
- 番組追従機能（➜43）は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**

- 「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、[決定] を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順４へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 （➜38「毎週予約設定」）
放送種別／チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻／終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード（➜46）を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。 （➜38）
番組名入力	●文字入力について（➜130） ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（➜39）

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

予約状況がマークで表示されます。
- 表示マークについては ➜ ガイド（ふた内部）操作ガイド
- マークについては ➜50

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。

予約の取り消し

❶ 黄 を押す
❷「はい」を選び、決定 を押す

予約内容の修正

❶ 決定 を押す
❷「修正」を選び、決定 を押す
（「番組予約」のときは ➜38「詳細設定」）
（「時間指定予約」のときは ➜40「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

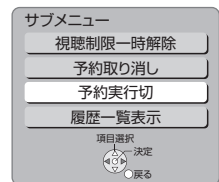
予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 を押す
❷「毎週一覧」を選び、決定 を押す

- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。（➜44）
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー を押す

例）

❷「予約実行切」を選び、決定 を押す

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- [サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。（録画中のスカパー！HD の番組を除く）

視聴制限の一時解除

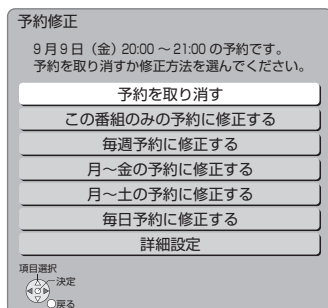
暗証番号（➜139）を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー を押す
❷「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す
❸ 1 〜 10（ふた内部）で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー を押す
❷「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す

- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー を押す
❷「履歴削除」を選び、決定 を押す
❸「はい」を選び、決定 を押す

- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

番組表での予約の取り消し / 修正

❶「予」が表示されている番組を選び、ワンタッチ予約録画を押す

❷ 項目を選び、決定を押す

「詳細設定」を選んだ場合

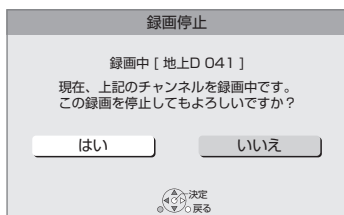
「番組予約」のときは（**➜38「詳細設定」**）

「時間指定予約」のときは（**➜40「時間指定予約」**）

お知らせ

- 同じ番組を複数予約している場合は、予約一覧で取り消しや修正を行ってください。（**➜41**）

録画中の予約録画を止める

1 **■停止 を押す**

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 **「はい」を選び、決定を押す**

例）

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜41)

■まとめ表示について まとめ HDD USB-HDD

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(➜55)
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■前回の番組を消去して録画するには（自動更新）HDD

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)
●録画先を HDD 以外に変更すると､「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクの残量不足などに対応（代替録画）

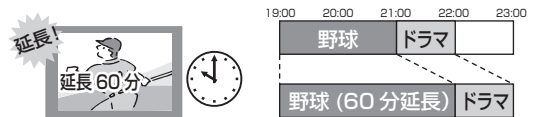
以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し､録画の開始から HDD に録画します。

●ディスクや USB-HDD の残量不足
●ディスクの入れ忘れ
●USB-HDD が接続されていない
●USB-HDD の電源が入っていない
(HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます)

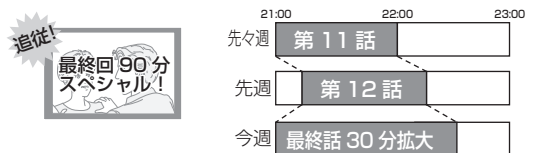
番組追従機能

●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●「イベントリレー」(➜38)を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが､次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
●番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。(➜40)

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
●番組追従機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

予約録画する（続き）

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

●録画中：
複数の番組を録画できない状態のとき

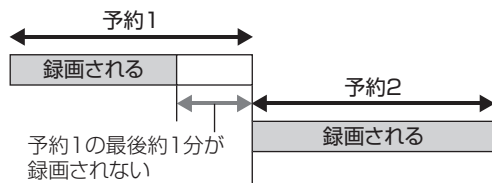
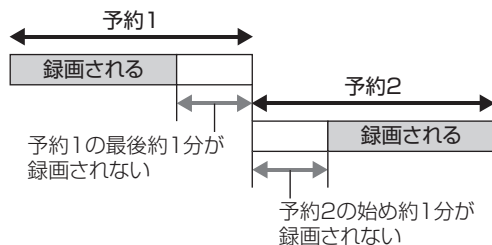
●ディスク再生中：
ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき

●BD ビデオや AVCHD のディスク、「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中：
XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画の開始時刻になったとき

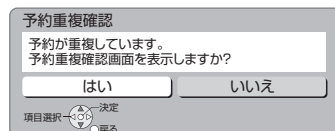
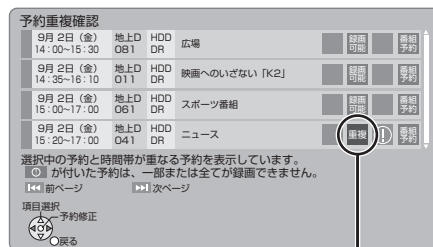
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

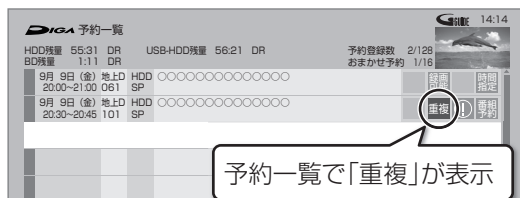
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときは、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
（30 ページ手順 5 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

例）

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定] を押すと、予約の修正ができます。

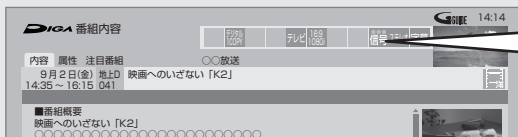
予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。

●スカパー！HD の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ二重音声の番組や複数の音声を含んだマルチ音声の番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号 :マルチ音声

主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、[音声切換]を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の２か国語放送を記録する場合

	記録先	信号 マルチ音声	主+副 二重音声	外部入力から二重音声を録画する場合
両方の音声を記録する こんにちは Hello	●HDD ●ブルーレイディスク ●USB-HDD	DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードを選ぶ	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます	**「高速ダビング用録画」(➜142)** を「切」にして記録する
	●DVD	HG、HX、HE、HL、HM､HZ モードを選ぶ	RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) を使う	RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) を使う ●**「高速ダビング用録画」(➜142)** を「切」にしてください。
片方の音声のみ記録する こんにちは ●記録する音声を選ぶには **(➜ 下記)**	●HDD ●ブルーレイディスク ●DVD	XP、SP、LP、EP、FR モードを選ぶ	― (両方の音声を記録します)	**「高速ダビング用録画」(➜142)** を「入」にして記録する -R(V) -RW(V) を使う

		マルチ音声	外部入力から二重音声を録画する場合
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」**(➜26)** の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」**(➜39)** の「音声」	●外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力するように設定 ●録画前に､「外部入力の音声」**(➜144)** で「二重音声」を選ぶ
	ダビング時	「信号切換」**(➜61)** の「音声」で音声を選んだあと、ダビング **(➜79)**	

録画

録画モードについて

録画モード	DR	HG・HX・HE・HL・HM・HZ	XP・SP・LP・EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	標準画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	標準画質 ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	高画質 ⇔ 長時間		高画質 ⇔ 長時間	—
記録できる放送 / 入力	地上・BS・CS デジタル放送 i.LINK（TS）	地上・BS・CS デジタル放送	地上・BS・CS デジタル放送 外部入力、DV 入力	
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD※2	HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V)※3 -RW※3	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 （ダウンミックス 2 チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声 ➜45）	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つ記録※4※5	音声は 1 つだけ記録※4	
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録※4		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 （再生時、字幕表示の入 / 切ができる）		字幕の入 / 切情報は記録しない （再生時、字幕表示の入 / 切はできない）※4	

※1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※2　USB-HDD には DR モードでのみ録画できます。録画後、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードに録画モード変換（➜**66**）できます。

※3　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※4　記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。
録画時：「信号切換」（➜**26**）で選ぶ
予約録画時：「信号設定」（➜**39**）で選ぶ
ダビング時：「信号切換」（➜**61**）で選んだあと、ダビングを行う（➜**79**）

※5　HZ モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなる場合があります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（例：HE、HL、HM、HZ や EP）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や HG、XP など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードでの録画について

HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードでの録画中に、再生やダビング、お部屋ジャンプリンク（DLNA）などを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例）**BD-V** 再生時

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

変換が終了しているか確認するには（➜67）

また、複数の番組を録画中には、以下の制限があります。

- HDD とディスクに 1 番組ずつ録画中、HDD の残量不足の場合、再生やダビング、番組キープはできません。
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビューはできません。
- ドアホン・センサーカメラ映像の再生はできません。

録画モードと記録時間の倍率について

例）

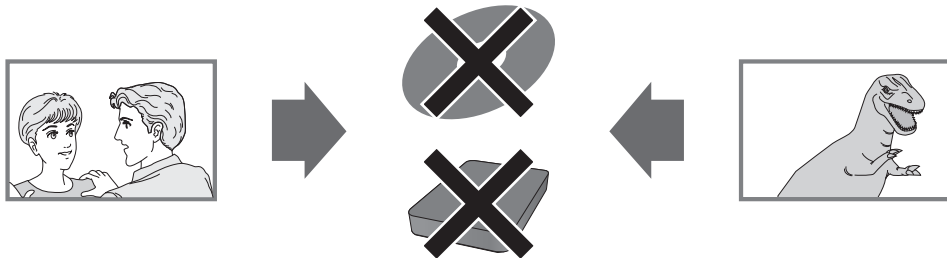
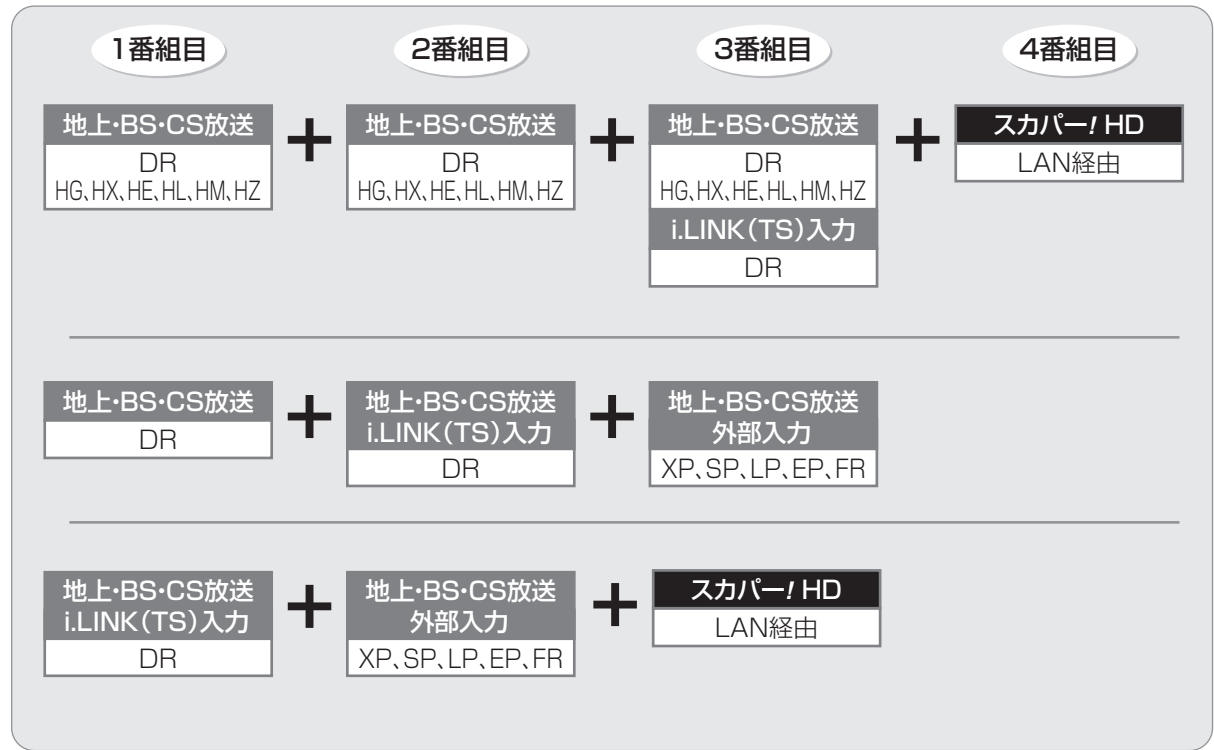
- ハイビジョン画質の倍率は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合と、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで録画した場合の記録時間の比較を表しています。
- 標準画質の倍率は、XPモードで録画した場合と、SP、LP、EP モードで録画した場合の記録時間の比較を表しています。

録画

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

●1 ～ 4 番組目の録画順は自由です。

1番組目		2番組目		3番組目		4番組目
地上･BS･CS放送 DR HG、HX、HE、HL、HM、HZ	＋	地上･BS･CS放送 DR HG、HX、HE、HL、HM、HZ	＋	地上･BS･CS放送 DR HG、HX、HE、HL、HM、HZ i.LINK（TS）入力 DR	＋	スカパー! HD LAN経由
地上･BS･CS放送 DR	＋	地上･BS･CS放送 i.LINK（TS）入力 DR	＋	地上･BS･CS放送 外部入力 XP、SP、LP、EP、FR		
地上･BS･CS放送 i.LINK（TS）入力 DR	＋	地上･BS･CS放送 外部入力 XP、SP、LP、EP、FR	＋	スカパー! HD LAN経由		

ディスクおよびUSB-HDDに複数の番組を同時に録画することはできません。
i.LINK（TS）入力、スカパー! HDの番組は、HDDにのみ録画できます。

お知らせ

●以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
- DV 入力から録画する場合
- 「外部入力（L1）取込」中
- ディスクから HDD へダビング中
- HDD から HDD へダビング（複製）中
- スカパー! HD の 2 番組の場合
- ディスクに HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで 1 番組、HDD に 2 番組、スカパー! HD の 1 番組の同時録画
- ビエラリンク（HDMI）を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク
市販されているディスクは
そのまま使用できます。

DVD
著作権保護技術を持った
CPRMに対応している
必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD の場合は[10]または[1]を、ブルーレイディスクの場合は[1]を表示します。
[10]～[1]はダビングの残り可能回数を表します。
DVDの場合は[×]を表示し、ダビングや移動はできません。

[1]の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）

- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません）

ダビング元

ダビング先

- プロテクト設定（➜64）されている[1]の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

番組内でアスペクト比が異なる番組の記録

以下の場合、「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜142）を「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

- 「高速ダビング用録画」（➜142）が「入」のときに
  - ･外部入力、DV 入力から録画
  - ･ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）から HDD にダビング
- -R(V) -RW(V) へ記録するとき

ハイビジョン画質で記録時のアスペクト比

デジタル放送を HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで記録する場合、「デジタル放送の記録アスペクト」（➜142）の設定に従って記録されます。

- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

標準画質で放送されている番組の記録

放送によっては、DR モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

録画

再生する

録画した番組を再生する

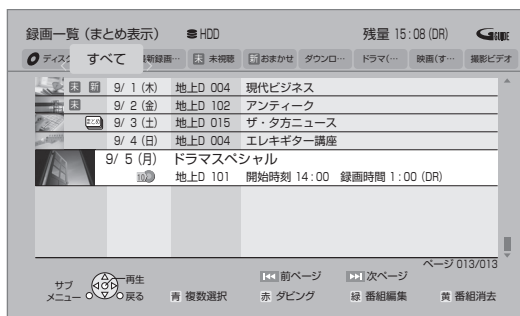
HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -RW DVD-V AVCHD MP4 USB-HDD

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例）RAM

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 [録画一覧] **を押す**

2 **番組を選び、**(決定)**を押す**

●毎日・毎週予約した番組は、[まとめ]番組内に録画されます。
[まとめ]番組を選んで、[決定] を押すと、[まとめ]番組内の番組を表示できます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

BD-V DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 **ディスクを入れる**

●自動的に再生が始まります。
●再生が始まらない場合、[▶ 再生]を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、(決定)**を押す**

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中 ：[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中: [録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
（[サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中 ：[録画一覧]を押す

●停止中に [1] ～ [10] を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
DVD-V ：２桁入力　BD-V ：３桁入力

お知らせ

●**表示マークについては ➜ ガイド(?)（ふた内部）操作ガイド**
● **マークについて**
HDD 別売のシンプルリモコン（DY-RM10）を使って録画や予約した番組に表示されます。
●録画一覧表示中に［赤］を押すと、かんたんダビング（➜72）を行うことができます。

お知らせ

● BD-V 市販の映画などが記録された BD ビデオは、XP、SP、LP、EP、FR モードで録画中に再生することはできません。また、再生中に XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画が始まると再生を終了します。
●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する

AVCHD

MP4（SD カードのみ）

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

●以下の動画の再生にも対応しています。
・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
・AVCHD 3D

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

ディスクを入れた場合：
下記の手順 5 に進みます。
SD カードを入れた場合：
下記の手順 4 に進みます。

1 [スタート] **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、[決定] を押す**
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、[決定] を押す（➜ 手順 5 へ）
SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、[決定] を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、[決定] を押す**

5 **「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」を選び、[決定] を押す**
●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
再生したい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。

6 **タイトルを選び、[決定] を押す**
メニューが表示されないときは
[1] ～ [10] で３桁入力してタイトルを再生してください。

お知らせ
● MP4 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 [スタート] **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、[決定] を押す**
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、[決定] を押す**

4 **「プレイリストを見る」を選び、[決定] を押す**

5 **プレイリストを選び、[決定] を押す**

録画一覧について

例）

表示変更ができるラベル
●お好みに合わせて表示するラベルを変更することができます。
（➜54「分類ラベル設定」）

選択中の番組

ページ数
●[⏮] [⏭] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押し続けると、素早く切り換わります。

HDD USB-HDD 録画後すぐは「準備中」と表示
（画像は電源「切」時に作成されます）
●表示される画像を変更するには（➜66「サムネイル変更」）
●ディスクの場合、画像は表示されません。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

<table>
<tr><td colspan="2">ディスク</td><td>ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示）
●BD-V DVD-V では表示されません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB-HDD</td><td>USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）</td></tr>
<tr><td rowspan="9">HDD</td><td>すべて</td><td>すべての番組</td></tr>
<tr><td>最新録画番組</td><td>最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。
●表示は全番組表示になります。
●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。</td></tr>
<tr><td>未 未視聴</td><td>録画してまだ見ていない番組
●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。</td></tr>
<tr><td>新 おまかせ</td><td>「新番組おまかせ録画」（➜37）で録画された番組
●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 おまかせ」から除外されます。</td></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>ダウンロードした番組（➜125）</td></tr>
<tr><td>ドラマ、映画などの「ジャンル」</td><td>録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。
●番組によっては、正しく分類されない場合があります。</td></tr>
<tr><td>マイラベル</td><td>「マイラベル設定」（➜39、66）で設定した番組のみを表示します。
●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。
●マイラベル名は変更することができます。（➜54「分類ラベル設定」）</td></tr>
<tr><td>撮影ビデオ</td><td>ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD、MP4）（➜87）</td></tr>
</table>

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

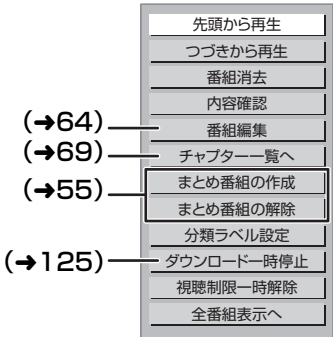
録画一覧上での便利な機能

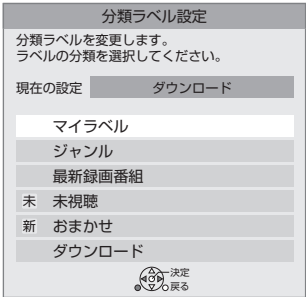
録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル（➜52）を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

例）

先頭から再生 **つづきから再生** **HDD** **USB-HDD**	前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く） **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** [決定] を押す

分類ラベル設定 **HDD**	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 分類ラベル設定 分類ラベルを変更します。 ラベルの分類を選択してください。 現在の設定 ダウンロード マイラベル ジャンル 最新録画番組 未 未視聴 新 おまかせ ダウンロード 決定 戻る **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ②「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **（➜130）**
視聴制限一時解除 **HDD** **USB-HDD**	「HDD 番組の視聴制限」**（➜142）**で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
全番組表示へ **まとめ表示へ** **HDD** **USB-HDD**	表示を切り換えます。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

まとめ 番組の再生 HDD USB-HDD

■番組を選んで再生する

❶ まとめ 番組を選び、決定 を押す

❷ 再生する番組を選び、決定 を押す

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、 を押す

- まとめ 番組内の番組を連続で再生します。
- まとめ 番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について HDD USB-HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

☞「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。**(➜64)**

- 「すべて」「USB-HDD」ラベル選択時のみ編集できます。
- まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集 HDD USB-HDD

- 「すべて」「USB-HDD」ラベル選択時のみ編集できます

❶ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ すべて選んだあと、サブメニュー S を押す

❸ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生

再生する（続き）

再生中のいろいろな操作

停止

[■停止] を押す

続き再生メモリー機能
止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- **HDD** **USB-HDD**：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
  - ･記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - ･**BD-V** **DVD-V** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[❚❚一時停止] を押す

- もう一度押す、または [▶ **再生**] を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し（サーチ）

[◀◀早戻し] または [▶▶早送り] を押す

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。（5 段階）

- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

[|◀◀スキップ] または [▶▶|スキップ] を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク（➜68）がある場合は、その場面に飛びます。
- **HDD** **USB-HDD** まとめ再生中（➜55）は、前後の番組も含めて飛び越します。
- **MP4** できません。

30 秒先へ飛び越す

[30秒送り] を押す

押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。

- **DVD-V** 正しく働かない場合があります。

10 秒前へ戻す

[10秒戻し] を押す

押すごとに、約10秒前に戻して再生します。

- **DVD-V** 正しく働かない場合があります。

早見再生（1.3 倍速）

を約 1 秒以上押す

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 [▶ **再生/1.3倍速**] を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組、（ファイナライズ後も含む）、**MP4** ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

[◀◀早戻し] または [▶▶早送り] を押す

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

- [▶ **再生**] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **BD-V**、**AVCHD** では、送り方向のみ働きます。
- **MP4** できません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

 （左または右）を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

●押し続けると、連続してコマ送り（戻し）します。

●[▶ 再生] で通常再生に戻ります。

●「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または BD-V、 AVCHD では、コマ戻しはできません。

● MP4 できません。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法（➜25）

音声の切り換え

音声切換 **（ふた内部）を押す**

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

● MP4 できません。

時間を指定して飛び越す(タイムワープ)

❶ タイムワープ（ふた内部）を押す

❷ 飛び越し時間の表示中に、[▲][▼] で飛び越す時間を設定し、決定を押す

●[▲][▼] を押すごとに 1 分ずつ(押し続けると 10 分ずつ)送り [▲]、戻し [▼] します。

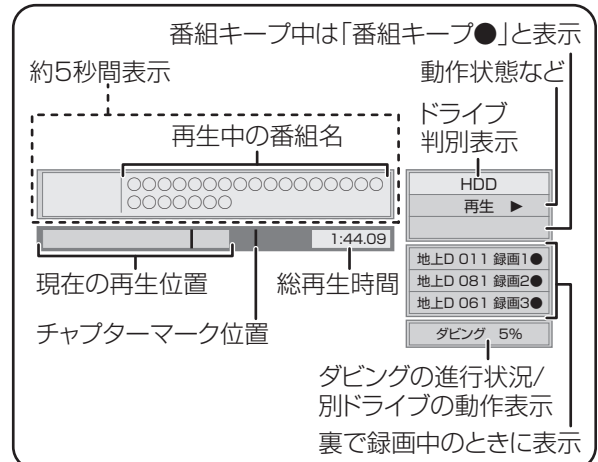
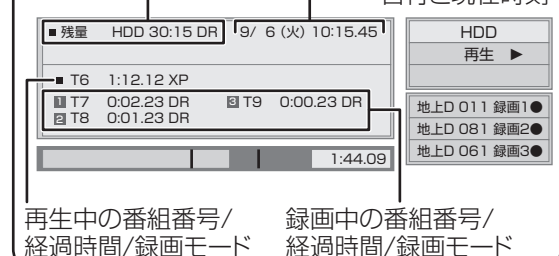
● BD-V DVD-V AVCHD MP4 できません。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 **を押す**

●押すごとに切り換わります。

例） HDD

画面表示なし

残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります)

お知らせ

●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

●本機と 3D 対応のテレビを、HDMI ケーブルで接続する（➜ 準備編 5）
・テレビ側で必要な準備を行ってください。

※ イラストはイメージ図です。

●表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 方式設定	3D映像が正しく3D再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定を変更します。（➜145）
3D 再生時の注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。（➜145）
BD-Video の 2D→3D変換モード	2D ディスクを 3D 再生する場合の、字幕やメニューの表示方法を設定できます。（➜141）
画面表示の飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。（➜62）

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。

● BD-V ：「3D ディスクの再生方法」（➜141）
●録画した 3D 番組 ：「3D 番組の出力方法」（➜145）

3D映像を再生するための便利な機能

❶ 再生または視聴中に サブメニュー(S) を押す

●表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

❷「3D/2D出力」を選び、決定 を押す

❸ 項目を選び、決定 を押す

出力方式	オリジナル	元の映像で表示します。
	サイドバイサイド	サイドバイサイド(2画面構成)などの3D対応の放送の番組を3D映像で見ることができない場合に選択してください。 ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D方式設定」(➜145)とテレビ側の3D設定を確認してください。
	2D→3D変換	再生中の2D映像を擬似的に3D映像に出力します。(録画した番組、BD-V、DVD-Vの再生時に有効)
3D画面モード(3D奥行きコントローラー) ●3D再生中のみ	標準	標準的な3D効果で映像を再生します。
	弱	飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある3D映像を楽しめます。 ●「2D→3D変換」時は選択できません。
	手動設定	3D映像の各種効果を設定します。 **奥行き** 映像の飛び出し量を設定します。 **スクリーンタイプ** 画面の見え方(平面または曲面)を選択します。 **周辺ぼかし幅** 画面の縁のぼかし量を設定します。 **周辺ぼかし色** 画面の縁のぼかしの色を設定します。

お知らせ

●「3D方式設定」(➜145)が「サイドバイサイド」の場合：
・テレビ側でも3Dの設定を切り換えてください。
・「画面表示の飛び出し量」(➜62)は設定できません。

●接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D映像に切り換わることがあります。接続している機器側の3D設定をご確認ください。

●3D映像は、「HDMI出力解像度」や「24p出力」(➜145)の設定どおりに出力されない場合があります。

●3D映像の再生開始時に、サイドバイサイド(2画面構成)で見えることがあります。

●3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。

●以下の場合、「3D/2D出力」の設定が「出力方式」は「オリジナル」、「3D画面モード」は「標準」に戻ります。
・他のチャンネルを選局
・番組の再生を始める、または終了する
・電源を切/入

●BD-V の3D再生や 3D 表示のある番組では、「出力方式」は「オリジナル」固定になります。

●「AVCHD 3D」の表示がある番組は、接続したテレビによっては、サイドバイサイド(2画面構成)で再生することがあります。

BD-Live、e-move 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

●本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ **ネットワーク接続と設定をする**
（➜ 準備編 16、準備編 26）
❷ **「BD-Live インターネット接続」（➜141）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
❸ **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
❹ **ディスクを入れる**

●SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**（➜135、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）**

お知らせ

●インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
●BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

e-move 対応ディスクから映像を持ち出す

e-move 対応ディスクでは、インターネットに接続して映像をモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。

●e-moveの映像は、本機の持ち出し番組を再生できる機器で楽しめます 。**（➜117）**

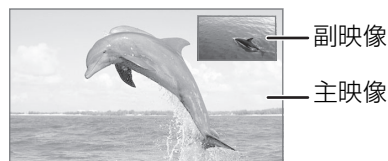
❶ **ネットワーク接続と設定をする**
（➜ 準備編 16、準備編 26）
❷ **「BD-Live インターネット接続」（➜141）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する**
❸ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**
❹ **ディスクを入れる**
❺ **ディスクの手順に従って、映像を持ち出す**

お知らせ

●持ち出した映像は、持ち出し番組一覧 **（➜121）** で確認・消去することができます。
●ディスクによっては、映像を消去すると、再度映像の持ち出しができなくなる場合があります。
●「BD ビデオデータ消去」**（➜135）** を行っても、映像は消去されません。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例）

●副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」**（➜143）** を「入」にしてください。

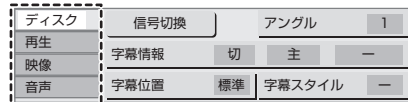
副映像が表示されないときは

●「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**（➜61）**
●「BD-Video の 2D → 3D 変換モード」を「モード 2」に設定してください。**（➜141）**
●「画質選択」を「アニメ」にしている場合は、「原画解像度」を「標準」に設定してください。**（➜62）**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に
再生設定（ふた内部）**を押す**

2 メニューを選び、[▶] を押す

例）BD-V

3 設定項目を選び、[▶] を押す

●ディスクにより設定項目は異なります。

4 設定を変更する

お知らせ

●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD

情報の表示のみ

音声情報

音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換

DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組は音声などを切り換えます。

「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

[決定] を押して、さらに設定します。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕（入 / 切）
- ▶ 字幕言語（日本語 / 英語）

BD-V

- ▶ 主映像
  - ・映像情報 / 音声情報
- ▶ 副映像
  - ・映像情報（入 / 切）/ 音声情報（入 / 切）

アングル

アングルを選びます。

字幕情報

字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕位置 BD-V DVD-V

字幕の表示位置を変更します。

字幕スタイル

ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

信号切換や再生方法の設定などをする（続き）

再生

リピート
（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
- ▶ **番組**　：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**　：BD-V DVD-V AVCHD
  タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**　：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**：プレイリスト
- ▶ **全曲**　：ディスク全体またはアルバムの全曲
- ▶ **1 曲**　：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）
●「入」にすると、順不同に再生します。

画面表示の飛び出し量
3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

映像

画質選択
再生時の画質を選びます。
- ▶ **ノーマル**：標準
- ▶ **ソフト**　：ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン**：輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ**　：映画鑑賞向け
- ▶ **アニメ**　：アニメ鑑賞向け
  「原画解像度」をさらに選びます。
  [BD-V またはハイビジョン放送（1080i）を DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで記録した番組のみ]
  低解像度（720i/p、480i/p）の原画をハイビジョン（1080i）に変換したアニメ番組の場合、「標準」以外を選ぶと再生する画質が改善することがあります。
  ・**標準**：1080i の場合
  ・**720i/p**
  ・**480i/p**
  ●設定によっては、再生する画質が劣化します。
  ●再生を停止した場合、「標準」に戻ります。
  ●「標準」以外にすると、字幕は表示されません。
- ▶ **ユーザー**：さらに画質を調整
  [▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す
  ・**コントラスト**（白黒の強弱）
  ・**ブライトネス**（画面全体の明るさ）
  ・**シャープネス**（鮮やかさ）
  ・**カラー**（色の濃さ）
  ・**ガンマ**（暗くて見えにくい映像の輪郭）

アドバンスト設定
HD オプティマイザー
「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。
超解像アップコンバート
D 端子や HDMI 端子から 1080i/1080p で出力時、標準画質の映像をくっきりした鮮明な画質に補正します。「2」にすると、「1」よりさらに鮮明になります。

プログレッシブ

480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

24p

[「24p 出力」(➜145) が「入」の場合のみ]

「入」にすると、DVD-V や録画した番組をより映画らしい動きで再生することができます。

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。

●以下の場合、設定は「切」に戻ります。

・DVD-V ：ディスクを取り出した場合

・録画した番組 ：再生を停止した場合

音声

音質効果

リ . マスター※

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

(サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ)

ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ **リ . マスター強**

▶ **リ . マスター標準**

▶ **ナイトサラウンド**

▶ **切**

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ HDMI 出力やデジタル音声出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜143)(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります)

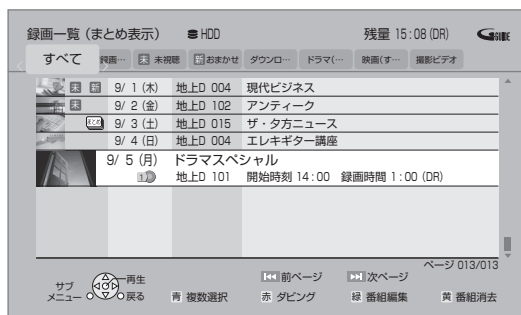
再生

番組を編集する

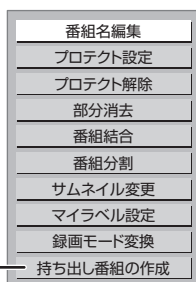
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

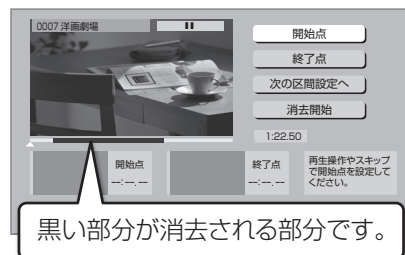
（ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません）

1 **録画一覧 を押す**

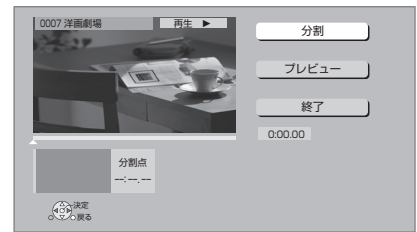
2 **番組を選び、緑 を押す**

例）HDD

3 **項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）**

例）HDD

（➜118）

番組名編集	文字入力（➜130） **お知らせ** ● 新 表示の番組は変更できません。 ●番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。 ● まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。
プロテクト設定 / 解除	記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。 ● -R(V) -RW(V) できません。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
部分消去	● -R(V) -RW(V) できません。 ① **[▶ 再生] を押して、再生を始める** ② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で［決定］を押す** ③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める** ④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で［決定］を押す** ●続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す（➜手順 ② へ） ・20区間まで設定できます。 ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。 ⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す** ⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す** ●部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」（➜118）の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

番組結合 HDD USB-HDD	同じ録画モードや素材の2つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。 ●以下の番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。 ・HG、HX、HE、HL、HM、HZ モード ・XP、SP、LP、EP、FR モード **① 結合したい番組を選び、[決定] を押す** **②「結合」を選び、[決定] を押す** **お知らせ** ●結合した番組は以下のようになります。 ・録画モード： 画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません） ・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数 ・番組名：最初に選択した番組名 ・チャプターマーク： 結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます） ・番組の結合部分： 映像や音声が途切れることがあります。 ・持ち出し番組は消去されます。 ● -R(V) -RW(V)「高速ダビング用録画」(➜142) を「入」で録画した番組でも、以下の結合をすると高速ダビングできなくなる場合があります。 ・「切」で録画した番組との結合 ・16：9映像と4：3映像の番組同士との結合 ・録画モードが異なる番組や FR モードの番組との結合 ●以下の番組は結合できません。 ・ダウンロードした番組 ・録画時間の合計が 8 時間を超える場合 ・デジタル放送の番組とそれ以外の番組 ・本機で DR モードで録画した番組と i.LINK（TS）入力から記録した番組 ・スカパー！HD の番組 - 録画モード変換(➜66)を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。 ・撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組分割	● -R(V) -RW(V) できません。 **①「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す** ●「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。 **場面を選び直すには** ①「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める ② 分割する場面で、[決定] を押す **②「終了」を選び、[決定] を押す** **③「分割」を選び、[決定] を押す** ●分割した番組は、まとめ 番組になります。 ●分割すると、持ち出し番組は消去されます。 ●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（➜56）を使って、目的の部分を探す

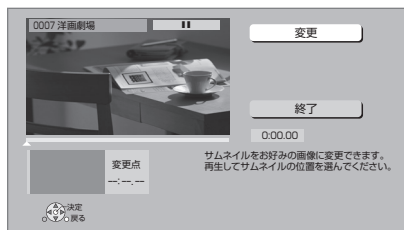
② 編集したい場面で [❚❚ 一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組を編集する（続き）

サムネイル変更

HDD -R(V) -RW(V) USB-HDD

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

●-R(V) -RW(V) サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。

① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す**

場面を選び直すには

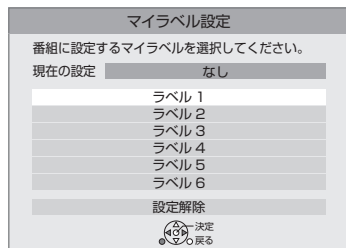
① 「変更」を選び、**[▶再生]** を押して再生を始める

② お好みの場面で、**[決定]** を押す

③ **「終了」を選び、[決定] を押す**

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

① **ラベルを選び、[決定] を押す**

② **「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す**

●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。

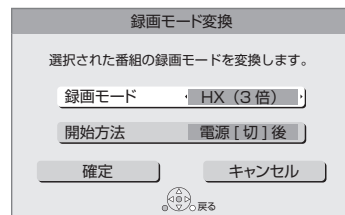
●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**[決定]** を押してください。

●マイラベル名は変更することができます。(➜ 54「分類ラベル設定」)

録画モード変換

HDD USB-HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

① **録画モードを選ぶ**

●USB-HDD HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードのみ選択できます。

② **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

●**すぐに**：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

●**電源 [切] 後**：

電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

③ **「確定」を選び、[決定] を押す**

④ 「すぐに」開始する場合：

「開始」を選び、[決定] を押す

変換を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

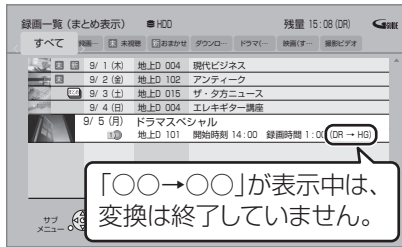
「電源 [切] 後」開始する場合：

[決定] を押す

変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **64 ページ手順 3** で「録画モード変換」を選ぶ

② 「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

録画モード変換（続き） HDD USB-HDD	☞ 変換が終了しているか確認するには

お知らせ

- 変換前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。
- 録画モードが EP、FR モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）では変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- 複数の映像や音声などを含む番組を XP、SP、LP、EP モードに変換する場合、変換を開始する直前に「信号切換」（➜61）で記録したい音声を選んでください。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生など（➜56）を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [❚❚ 一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

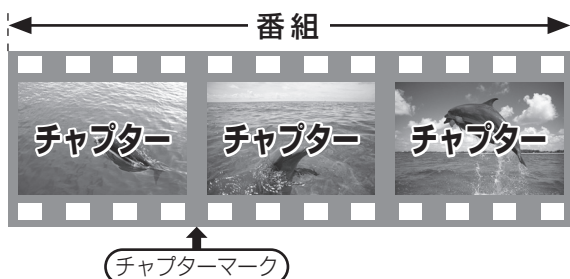
チャプターの作成・再生・編集

HDD（ダウンロードした番組ではできません）

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**
（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）

USB-HDD

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➜56）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」（➜142）を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

 を押す

削除

一時停止中に

❶ [スキップ] または [スキップ] を押して、削除したい場面に飛ぶ

❷ [黄 チャプターマーク] を押す

❸「はい」を選び、[決定] を押す

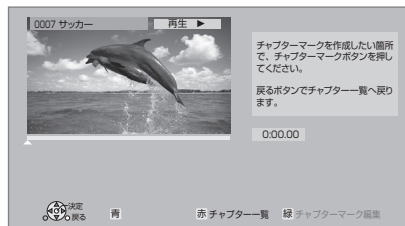
前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① [録画一覧] を押す

② 番組を選び、[サブ メニュー] を押す

③「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す

④ [緑] を押す

⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜56）や「サムネイル変更」（➜66）ができなくなります。

チャプターを再生・編集する

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、サブメニュー S を押す**

3 **「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す**

4 編集する：

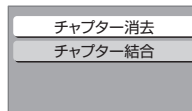
チャプターを選び、サブメニュー S を押す

(➜ 手順５へ)

再生する：

チャプターを選び、決定 を押す

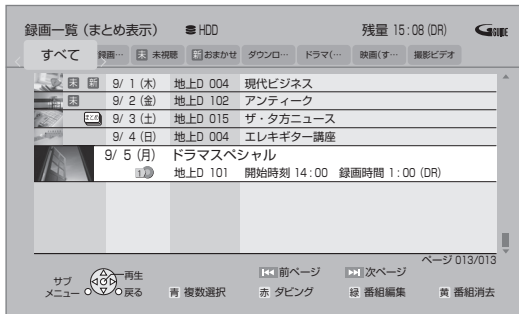
5 **編集する項目を選び、決定 を押す**

(➜ 右記へ)

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。(元に戻すことはできません) **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

1 [録画一覧] を押す

2 番組を選び、[黄] を押す

- [まとめ] 番組内の番組を消去する場合、[黄] を押す前に、[決定] を押して、[まとめ] 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- HDD 消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く）
- **消去後のディスク残量について**
  - ・HDD BD-RE RAM -RW(VR) USB-HDD
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - ・-RW(V)
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

  - ・BD-R -R 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

録画した番組のダビング

HDD から BD DVD へ
- 難しい設定はせずに番組をダビングしたい …**かんたんダビング（➜72）**
- お好みの設定でダビングしたい
- FR モードで DVD の残量ぴったりにダビングしたい …**詳細ダビング（➜74）**
- 再生中の番組をダビングしたい …**再生中番組の保存（➜78）**

BD DVD HDD から HDD へ
HDD から USB-HDD へ
USB-HDD から HDD BD DVD USB-HDD へ
詳細ダビング（➜74）

DVDにデジタル放送をダビングする場合

CPRM対応
のディスクをお使いください。

☞ 複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて（➜79）

HDD と USB-HDD 間のダビングについて

- ダビング元の番組は消去されます。
- HDD の持ち出し番組は消去されます。
- ダビングの残り回数は変更されません。
- HDD に取り込んだ撮影ビデオ（AVCHD、MP4）、MPEG2 動画、録画された番組の録画モードが XP、SP、LP、EP、FR の場合は、USB-HDD へダビングできません。

番組をダビングする

かんたんダビング

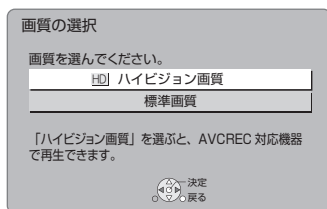
ダビング方向：

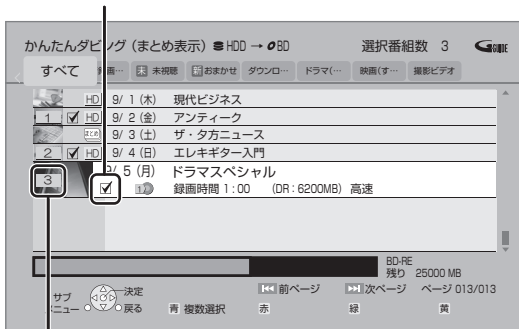
HDD ➜ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

HDD にある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

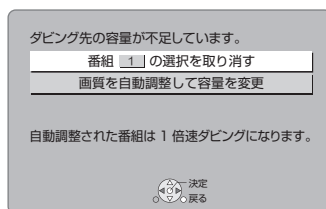
2 「かんたんダビング」を選び、決定を押す

- **RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
  画質を選び、［決定］を押してください。

3 番組を選び、決定を押す

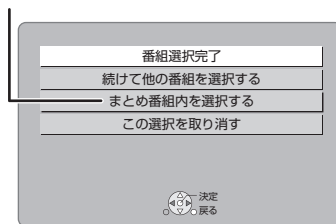
☑ が表示されます。

選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

例）

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、決定を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。（➜ 手順 3 へ）

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

- オプション設定について（➜73）

6 「はい」を選び、決定を押す

点灯

ダビングが終わると消灯 —— DUB 本体表示窓

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

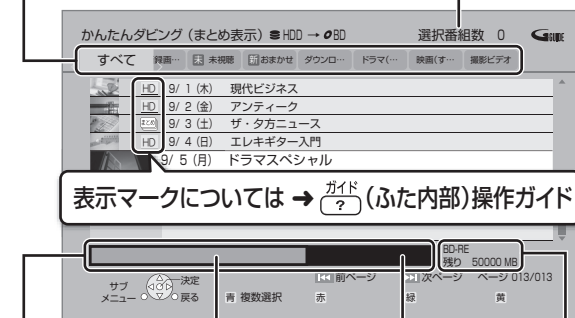
ダビングを実行中に中止するには

戻る を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作（➜79）

お知らせ

- 「標準画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれている場合　：VR 方式
  - ・10 ～ 1 の番組が含まれていない場合　：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません）
- プロテクト設定（➜64）されている 1 の番組はダビングできません。

かんたんダビングの画面の見方

ダビングする画質について

HD 表示のある番組：

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

- 以下のディスクは標準画質でのダビングになります。

RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW**

HD 表示のない番組：

- ディスクにかかわらず標準画質でのダビングになります。
- **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはダビングできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（➜72 手順 3）で

❶ **番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す**

❷ **項目を選び、決定を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源［切］ ●ダビング終了後自動ファイナライズ（**-R** **-RW** のみ）
視聴制限一時解除※	「HDD番組の視聴制限」（➜142）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※　番組に ☑ が付いているときはできません。

詳細ダビング

ダビング方向：

- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD
- BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD
- USB-HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➔134)

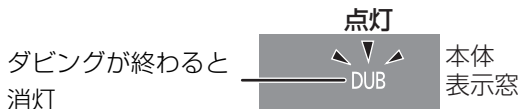
1 スタート を押す

2 「詳細ダビング」を選び、決定を押す

●表示がない場合は［⏮］［⏭］でページを切り換えてください。

3 項目を選び、[▶] を押す（➔ 右記へ）

●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

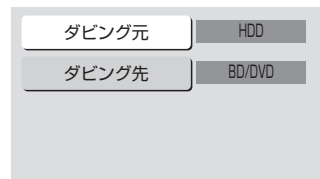
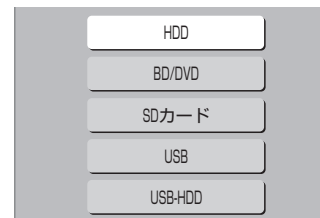
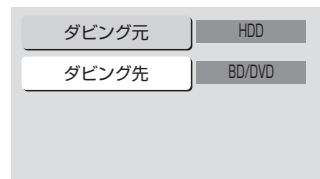
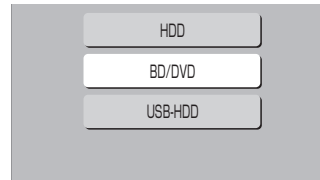
4 「ダビング開始」を選び、決定を押す

5 「はい」を選び、決定を押す

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●中止時の動作（➔79）

ダビング方向

❶「ダビング元」を選び、決定を押す

❷ ダビング元を選び、決定を押す

❸「ダビング先」を選び、決定を押す

❹ ダビング先を選び、決定を押す

❺ [◀] を押す（➔ 左記手順４へ）

お知らせ

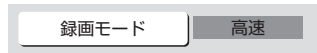
● HDD USB-HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。（複製後は まとめ 番組になります）

・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は１回減ります。（複製された番組のダビング残り可能回数は１回になります）

・1 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

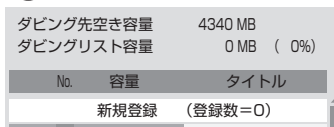
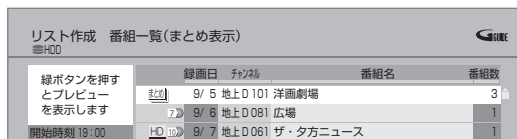
録画モード　高速

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

お知らせ

- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。

リスト作成

❶「新規登録」を選び、決定 を押す

❷ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、決定 を押す

❹ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

お知らせ

- USB-HDD にダビングする場合や高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
- 高速モードで -R(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のある番組のみ登録できます。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  - ･管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（ -R -RW へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

（ BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードを選んでダビングするときのみ）

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、決定 を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

- モード１：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード２：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」（➜61）で記録する内容を設定してください。

❸ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

お知らせ

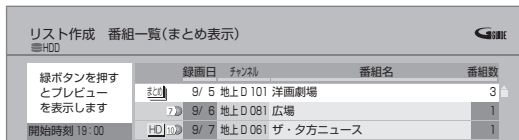
- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ（➜137）を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

番組をダビングする（続き）

詳細ダビング（続き）

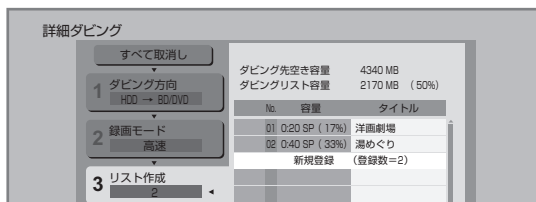
ダビングの便利な機能

リスト作成画面（➜75「リスト作成」手順❷）で

❶ 番組を選び、[サブメニュー] を押す

❷ 項目を選び、[決定] を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD USB-HDD	「HDD 番組の視聴制限」（➜142）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※ HDD USB-HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ 全番組表示へ※ HDD USB-HDD	表示を切り換えます。

※　番組に☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面（➜75「リスト作成」手順❶）で

●登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
●リスト項目を入れ替える：
番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
●リストの追加や消去、移動などの編集をする：
[サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
・リスト全消去
・追加
・消去
・移動

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

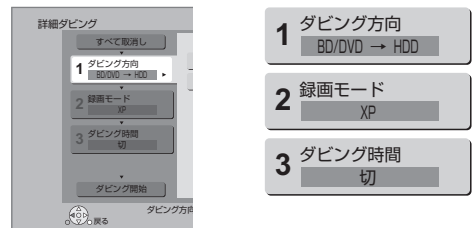
ダビング方向：
DVD-V（ファイナライズ後の -R(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW）➜ HDD

1 [スタート] を押す

2 「詳細ダビング」を選び、[決定] を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」（➜74）をご覧ください。

以下のように設定してください。
・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「BD/DVD」
・「録画モード」：「録画モード」を選ぶ（高速、HG、HX、HE、HL、HM、HZ、FR モードは選べません）
・「ダビング時間」: ダビング時間を設定する（➜77）

4 「ダビング開始」を選び、[決定] を押す

5 「はい」を選び、[決定] を押す

●最初に右記の画面がダビングされます。
●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

6 ダビングしたい番組の再生を始める

☞ トップメニューが表示された場合は

番組を選び、[**決定**] を押す

☞ 好みの番組を再生するには

① [**録画一覧**] を押す
② 番組を選び、[**決定**] を押す

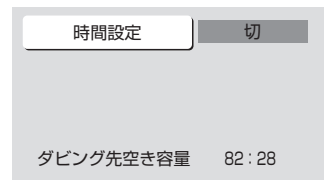
☞ ディスクの再生が始まらない場合は

① [**▶ 再生**] を押す
② （トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[**決定**] を押す

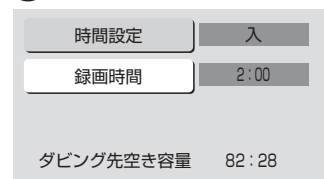
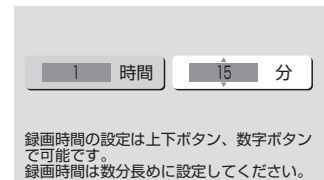
☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには

戻る を 3 秒以上押す

ダビング時間

❶ **「時間設定」を選び、決定を押す**

❷ **「入」または「切」を選び、決定を押す**

●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸ **「録画時間」を選び、決定を押す**

❹ **“時間”または“分”を選び [▲][▼] で設定し、決定を押す**

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ（➔**56**）で飛び越すことができます。

ダビング

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。

●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜134)

1 ダビングしたい番組を再生する

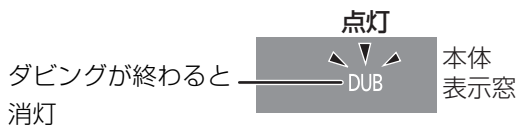
複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

●RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) [音声切換] を押して記録したい音声を選び、「信号切換」(➜61)で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー Ⓢ を押す

●表示されない場合、もう一度 [サブ メニュー] を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定を押す

4 「保存開始」を選び、決定を押す

ダビングを実行中に中止するには

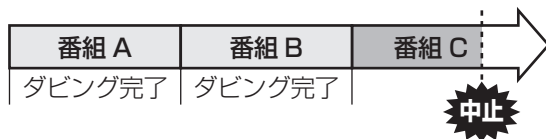
戻る を 3 秒以上押す

●中止時の動作 (➜79)

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例）デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

番組 A・B のみダビングされます。
番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。
ただし、コピー制限のない番組を 1 倍速でダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R -R 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R(V) -RW(V) に 1 倍速でダビングするときの動作

1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。
HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。
HDD の不要な番組を消去 (➜70) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (➜174) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、1 倍速ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
- BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

3D 対応の番組のダビングについて

- 以下の番組のダビングをした場合は、「出力方式」 (➜59) を「サイドバイサイド」にして再生してください。
  - ・3D 表示のある番組を BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビング
  - ・3D 表示のないサイドバイサイドの番組をダビング
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、1 倍速ダビングになり、2D映像として記録されます。
  - ・ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
  - ・BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  (高速、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードでダビング時)
  複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
- BD-RE BD-R (HDD から XP、SP、LP、EP、FR モードでダビング時)
  RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) (HDD からダビング時)
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
  ダビング前に記録したい音声や字幕の入 / 切を設定してください。
  ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
  ・**[音声切換]** を押して記録したい音声を選ぶ
  ・「信号切換」(➜61) で字幕設定をする
  ② ダビングする(1 倍速ダビングになります)

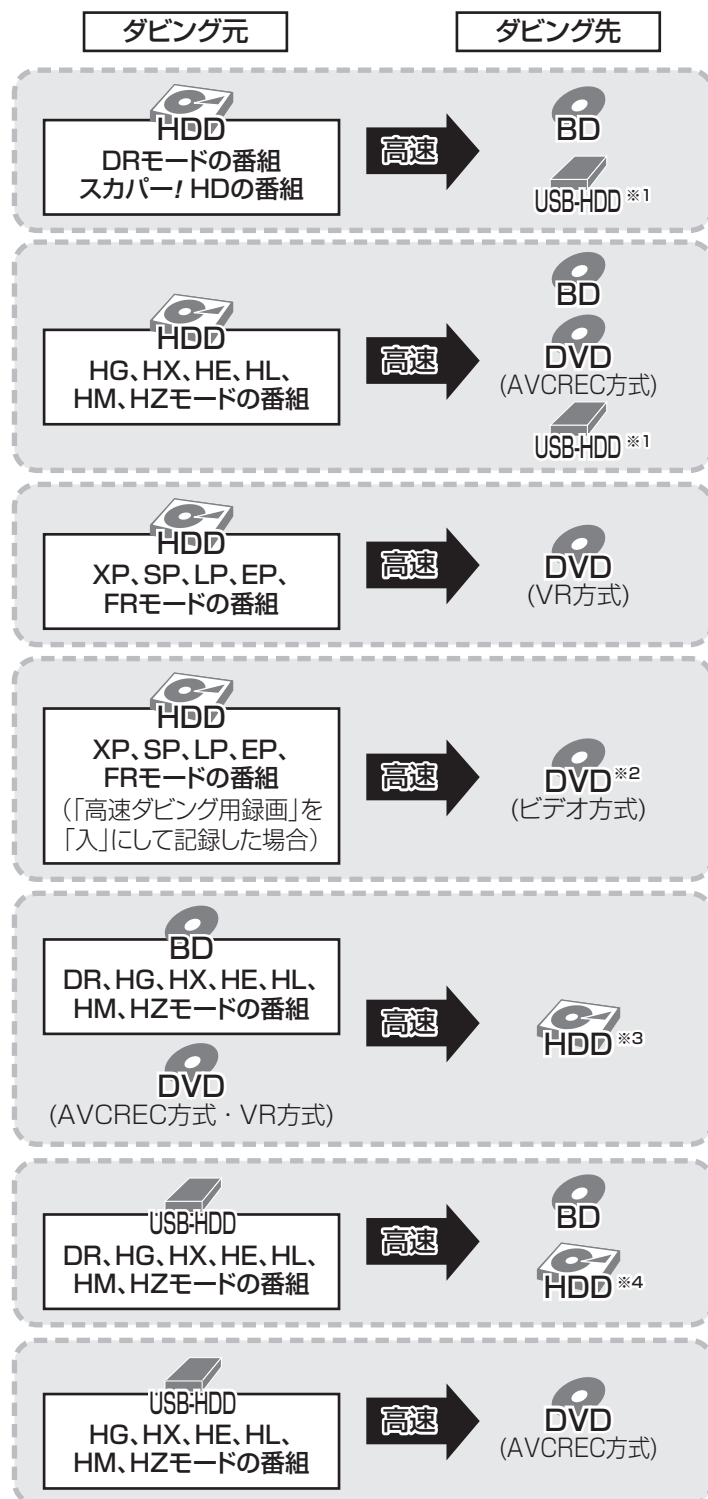
  字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 詳細ダビングの詳細設定 (➜75) で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに 1 倍速ダビングすると、「信号切換」(➜61) で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります)

ダビング時の動作について（続き）

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

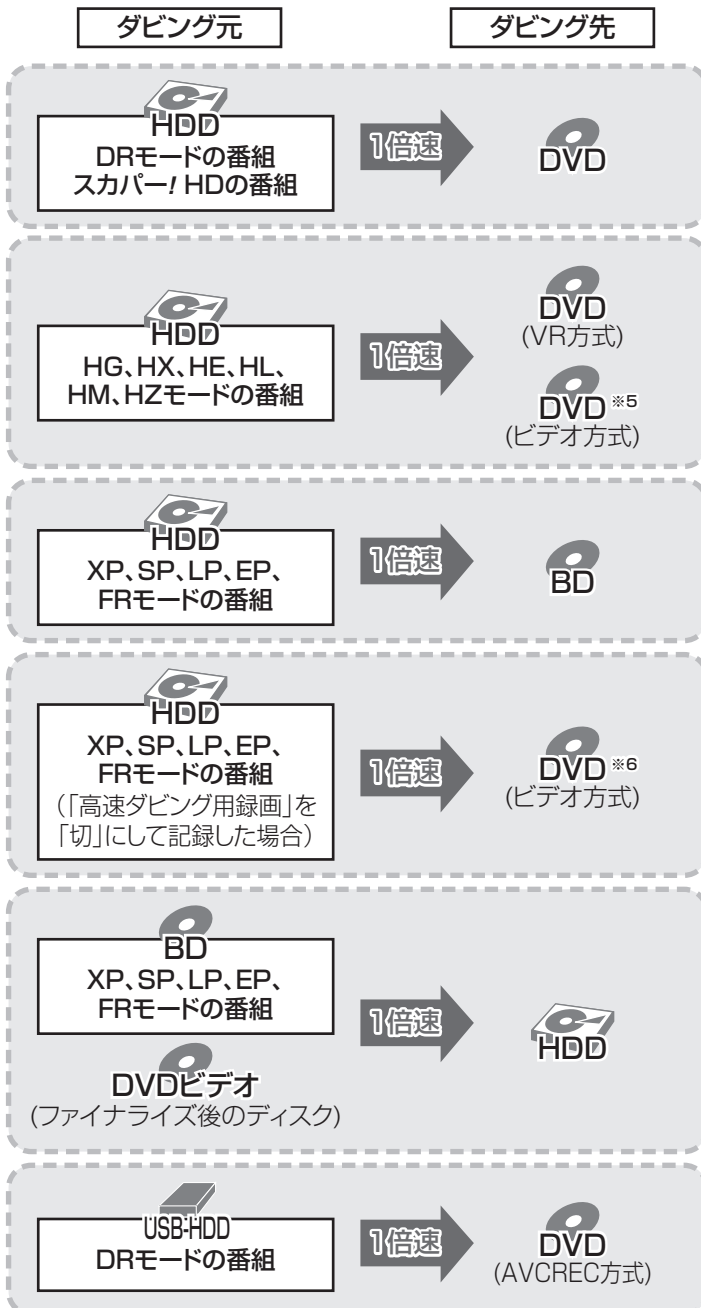
高速でダビングできる場合

※１　USB-HDD へは移動のみできます。
（ダビング残り可能回数を保持したまま転送され、HDD の番組は消去されます）

※２　デジタル放送の番組はダビングできません。

※３　デジタル放送の番組をダビングする場合
・DVD からはダビングできません。
・BDからは移動のみできます。
（ディスクの番組は消去されます。
ただし BD-R はディスク残量は増えません）
・ファイナライズ後の BD-R からは移動できません。

※４　HDD へは移動のみできます。
（ダビング残り可能回数を保持したまま転送され、USB-HDD の番組は消去されます）

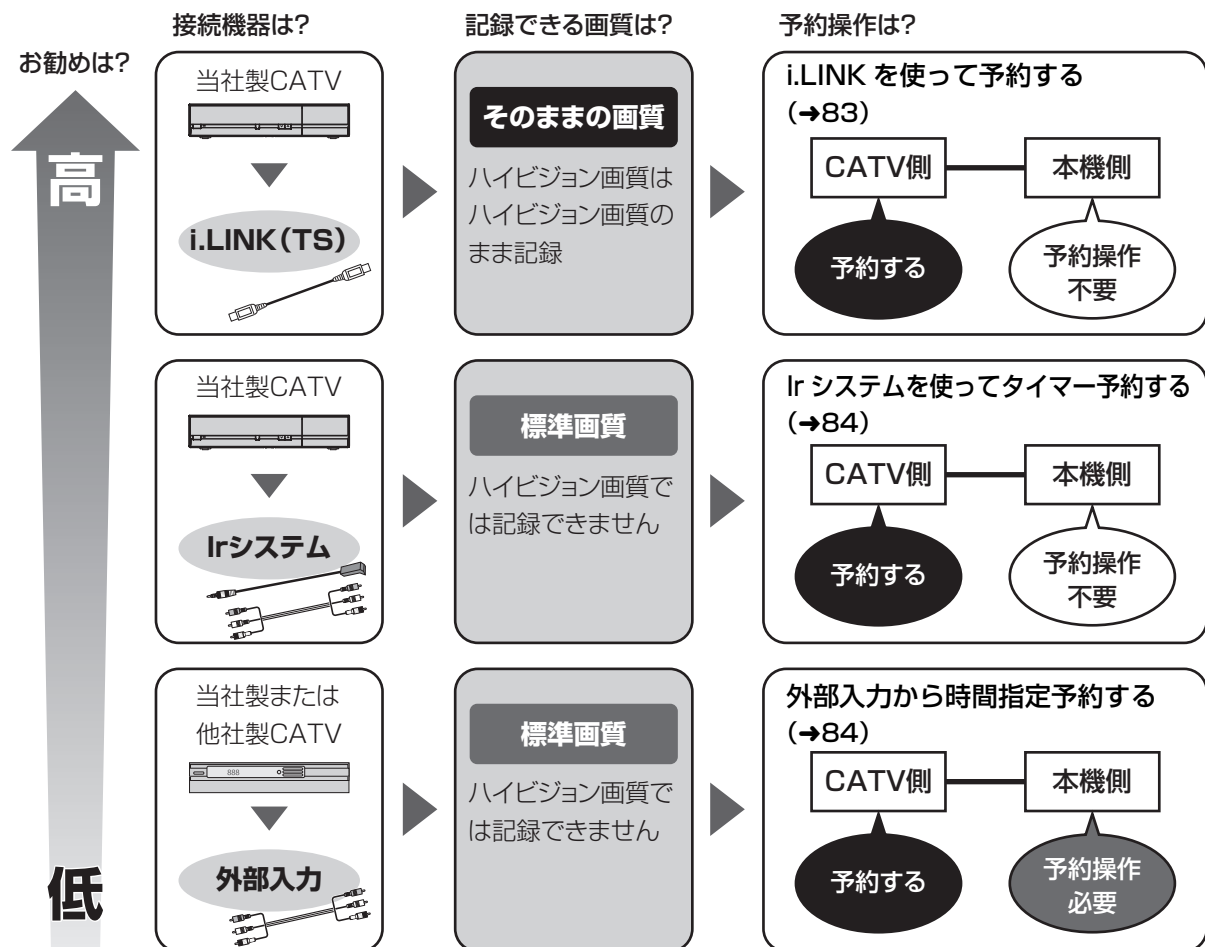
●高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。
●ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、1 倍速ダビングになります。

高速でダビングできない場合 （1 倍速ダビングになる場合）

※５　撮影ビデオ（AVCHD、MP4）のみダビングできます。

※６　デジタル放送の番組はダビングできません。

CATV（ケーブルテレビ）から本機に録画する

i.LINK（TS）端子または外部入力端子から録画することができます。

接続の詳細は準備編をご覧ください。（➜ 準備編 9）

i.LINK（TS）端子や Ir システムを使っての録画は、当社製 CATV セットトップボックスでの動作のみ保証しています。他社製品と接続する場合は外部入力を使って録画してください。

上記の接続で、見ている番組を録画するときは（➜83）

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

見ている番組を録画する

HDD

1 入力切換（ふた内部）**を押して、CATV を接続した端子（「L1」など）を選び、CATV でチャンネルを選ぶ**

2 録画モード **を押して、録画モード（➜46）を選ぶ**

- i.LINK（TS）入力の場合、DR モードのみ選べます。

3 ワンタッチ予約 録画 **を押す**

4 **録画の終了方法を選び、決定 を押す**

録画を止めるには
■停止 **を押す**

お知らせ

- 外部入力（L1）から録画中、DRモード以外の本機の予約録画が始まると、録画は中断します。
- i.LINK（TS）入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜48）できない場合は、録画が中断します。

i.LINK を使って予約する

HDD

S400 対応の i.LINK ケーブル(別売)

- **初期設定**で以下の設定をする
  ・「i.LINK 機器モード設定」:「TSモード2」(➜146)

1 **CATV 側の i.LINK 設定で本機を設定する**

2 **CATV 側で予約をする**

- 「録画機器」の設定は、「D-VHS」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

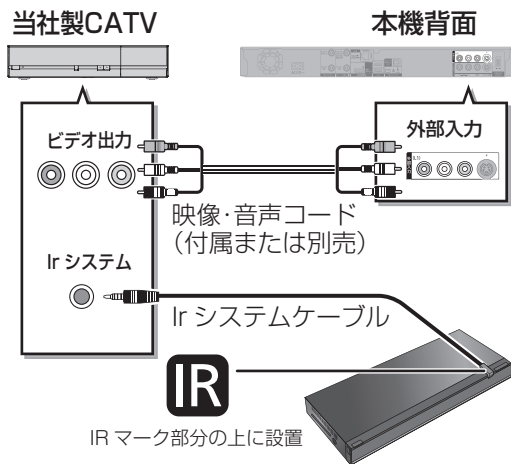
予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

3 **本機の電源を切る**

お知らせ

- 本機には DR モードで録画されます。
- 本機の予約一覧には登録されません。
- i.LINK（TS）入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜48）できない場合は、録画が中断します。
- 他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。
- 録画中に本機の操作を行うと、中断する場合があります。
  録画中に本機の電源を切らないでください。
- 番組の先頭部分が録画されないときがあります。

Ir システムを使ってタイマー予約する

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

●**初期設定**で以下の設定をする
･「リモコンモード」（**➜ 準備編 39**）：
CATV 側の Ir システムのリモコン種別の番号と合わせる

1 CATV 側の Ir システムを設定する

2 CATV 側で予約をする

●「録画機器」の設定は、「Ir(タイマー)」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

詳細設定	
予約を登録する	
予約方式	見るだけ　録画
録画機器	Ir(タイマー)
録画モード	――
信号設定	
その他の設定	

予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

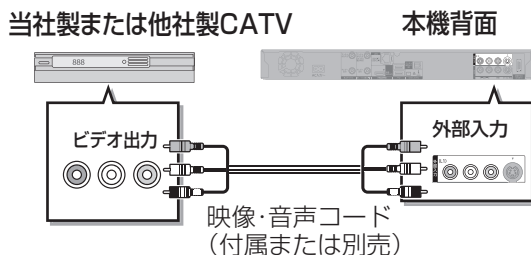
●本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に "ACCEPT" が表示されます。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(**➜41**)

お知らせ

●本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
●お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。

外部入力から時間指定予約する

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

当社製または他社製CATV　本機背面
ビデオ出力　外部入力
映像･音声コード
（付属または別売）

1 CATV 側で予約をする

●「録画機器」の設定は、「――」にしてください。

例）CATV 側の予約画面

詳細設定	
予約を登録する	
予約方式	見るだけ　録画
録画機器	――
録画モード	――
信号設定	
その他の設定	

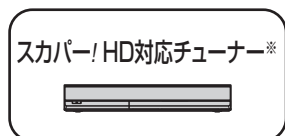
予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の「時間指定予約」で予約する(➜40)

●「放送種別/チャンネル」は「外部入力L1」に設定してください。

お知らせ

●**Ir システムを使った連動予約について**
Ir システム連動予約対応機器の場合、Ir システムを使うと、本機の予約操作は不要になりますが、録画の開始時刻に本機側が以下の状態になっている必要があります。
･ 入力切換が「外部入力（L1）」
･ 電源「切」
上記状態になっておらず予約が失敗することを防ぐため、当社製で Ir システムを使って予約をする場合は、タイマー予約(**➜ 左記**)での予約をお勧めします。

スカパー！HD 対応の チューナーから本機に録画する

接続は?

LAN端子

※　外部入力から録画する場合は、「見ている番組を録画する」(➜83) の手順で録画してください。

接続と設定

●ネットワーク接続と設定をする
(➜ 準備編 16、準備編 26)
スカパー！HD 録画の設定を変更する場合
(➜ 準備編 41)

ネットワークで接続すると、スカパー！HD対応のチューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

●スカパー！HDについては、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec/
(2011 年 7 月現在)

HDD

スカパー！HD対応のチューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

●本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー! HD 対応のチューナーの説明書をご覧ください。
●本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。**(➜41)**
・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
・接続しているチューナーによって、または視聴制限のある番組の場合は、番組名が表示されないことがあります。

スカパー！HD 録画中は、本体前面の“LAN 録画”ランプが点灯します。

本体前面

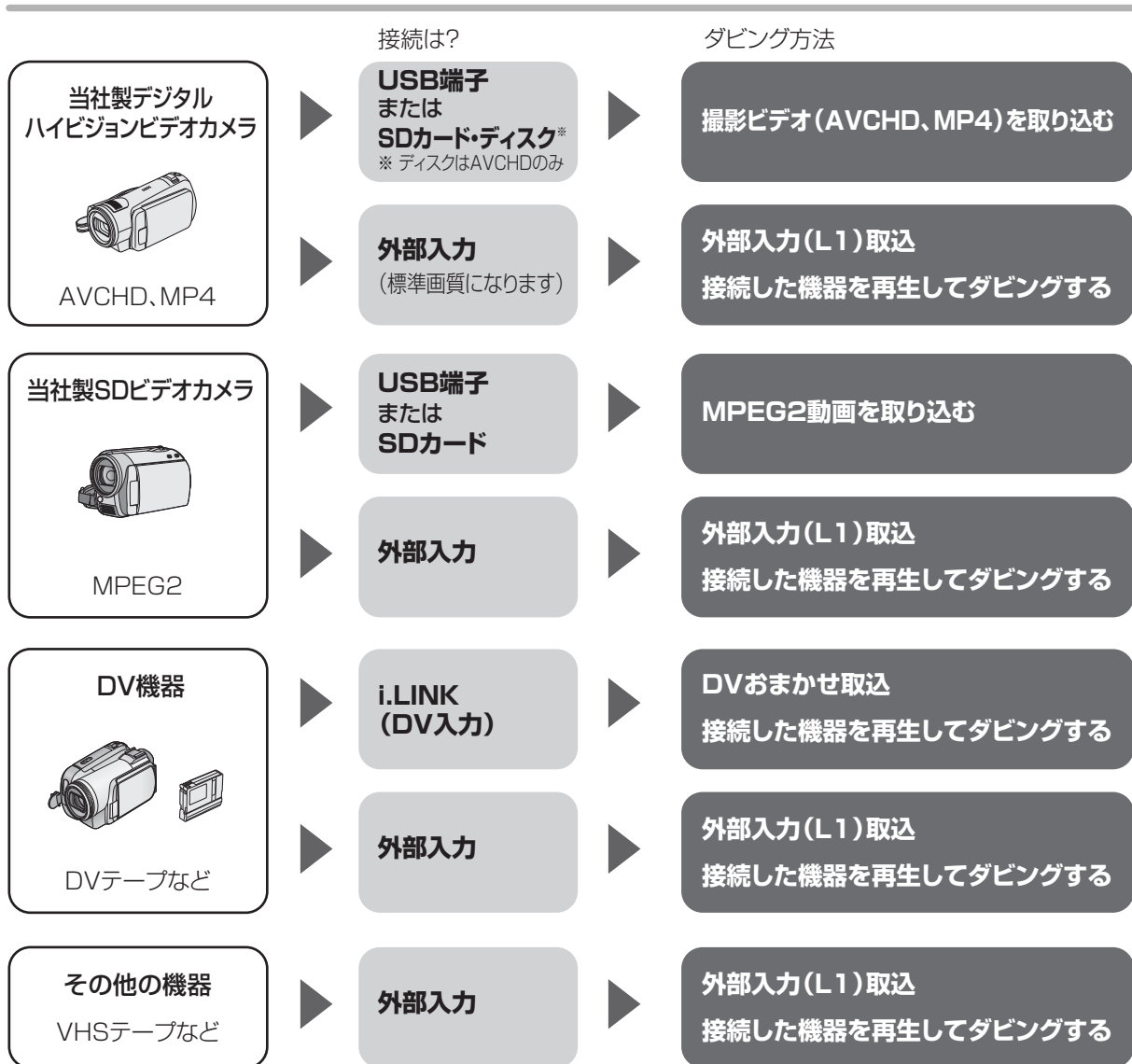
録画を止めるには

[■停止] を押す

●複数の番組を録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

●本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
●スカパー！HDの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
・本機の時刻が間違っている場合は、時刻を合わせてください。**(➜ 準備編 44「時刻合わせ」)**
・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
●スカパー! HDの番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。
●予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」**(➜38)**、「番組名入力」**(➜40)**、「マイラベル設定」**(➜39)** の設定ができます。ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
●録画中のスカパー！HDの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。
●予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
●スカパー！HD の番組は、録画モードが表示されません。
●視聴制限のある番組は、録画一覧画面 **(➜52)** やダビング画面 **(➜72、75)** などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。
●以下の場合、記録したスカパー! HD の番組は字幕表示の入 / 切ができません。
・接続しているチューナーが字幕データの出力に対応していない場合
・標準画質の番組の場合
・1 倍速ダビングした場合
・他社製機器で記録した場合

ビデオカメラからダビングする

●対応する機器については、当社ホームページ(➜3)をご覧ください。

接続と設定

USB 端子

●接続する(➜155)

SD カード・ディスク

●挿入する(➜13)

外部入力

●ビデオと接続する(➜ 準備編 13)

i.LINK(DV 入力)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜ 準備編 9)

●**初期設定**で以下の設定をする

・「DV 入力時の音声設定」: 記録する音声の種類を選ぶ(➜144)

・「i.LINK 機器モード設定」: 「DV モード」(➜146)

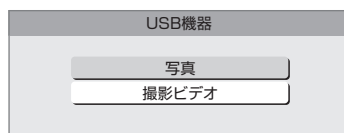
撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を取り込む

USB SDカード ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」※や「AVCHD 3D」の表示がある番組は HDD BD-RE BD-R にのみ取り込むことができます。
  ※ 1080/60p（1920×1080/60プログレッシブ）記録の番組
- MP4の番組は HDD にのみ取り込むことができます。（取り込みは1倍速になります）
- MP4 取り込み時の画質は、「MP4 取り込み画質」（➜142）で選ぶことができます。「高画質モード」は HG 相当、「標準モード」は HL 相当の画質になります。

USB 機器を接続する（➜155）またはディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）USB

USB 機器または SD カードの場合：

- かんたん差分取り込み：右記の手順 4 へ
- 選んで取り込み：88 ページの手順 4 へ

ディスクの場合：

- 88 ページの手順 5 へ

かんたん差分取り込み

USB SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD ➜ HDD

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定を押す**

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定を押す**

USB 手順 6 へ

5 **「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定を押す**

6 **「かんたん差分取り込み」を選び、決定を押す**

7 **「取り込み開始」を選び、決定を押す**

お知らせ

- 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜142）や「全番組消去」（➜142）を行うと、削除されます。
- 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（➜88）を行ってください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。
  ・ビデオカメラなどで編集
  ・取り込みを中断

選んで取り込み
USB　SDカード　ディスク

取り込み方向：
- USB SD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ➡ HDD

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**
- 表示がない場合は [I◀◀] [▶▶I] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、
決定 を押す（➜ 手順 5 へ）

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**
USB 手順 6 へ

5 **「撮影ビデオを取り込む」または「撮影ビデオ（AVCHD）を取り込む」を選び、決定 を押す**
ディスクから取り込む場合（➜ 手順 7 へ）

6 **「選んで取り込み」を選び、決定 を押す**
- 複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。取り込みたい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。
- USB SD「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、[決定] を押してください。

7 **タイトルを選び、青 を押す**
- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

8 **すべてを選んだあと、決定 を押す**

9 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**
- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

お知らせ
- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜134）

ダビング方向：

USB **SD** ➜ **HDD** **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

1 USB機器を接続するまたはSDカードを入れる

USB 機器を接続するには（➜155）

2 「撮影ビデオ」を選び、決定を押す

USB 手順 4 へ

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定を押す

●複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。「MPEG2」を選び、[決定] を押してください。

5 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」（➜74）をご覧ください。
以下のように設定されているかご確認ください。
・「ダビング方向」:「ダビング元」➜「USB」
　または「SD カード」

6 「ダビング開始」を選び、決定を押す

7 「はい」を選び、決定を押す

お知らせ

●ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
●USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
●ダビング中は、録画や再生はできません。
●BD-RE、BD-R には直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

取り込んだ動画の録画一覧での表示

HDD の録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

●AVCHD※　:「AVCHD」
※サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む。
●AVCHD 3D　:「AVCHD 3D」
●1080/60p の番組　:「AVCHD PRO」
●MP4　:「AVC VIDEO」

他の機器と

接続した機器を再生してダビングする

外部入力　i.LINK(DV入力)

HDD

1 入力切換（ふた内部）**を押して、外部機器を接続した端子（L1、DV）を選ぶ**

2 録画モード Ⓜ **を押して、録画モード（➜46）を選ぶ**

●DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ、FR モードは選べません。

3 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、**ワンタッチ予約 録画 **を押す**

4 **録画の終了方法を選び、**決定**を押す**

☞ **録画を一時停止するには**

❚❚一時停止 を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

☞ **録画を止めるには**

■停止 を押す

外部入力（L1）取込

外部入力

BD-RE　BD-R　RAM(VR)　-R(VR)　-R(V)　-RW(VR)　-RW(V)

●外部入力（L1）端子に接続したときのみ

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、**決定**を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「番組を探す・予約する」を選び、**決定**を押す**

4 **「ぴったり録画」を選び、**決定**を押す**

5 **「ディスクに録画」を選び、**決定**を押す**

6 **“時間”または“分”を選び、録画時間を設定する**

7 **接続した機器で再生を始め、「録画開始」を選び、**決定**を押す**

●FR モードで録画します。

☞ **録画の残り時間を確認するには**

画面表示 を押す

☞ **録画を一時停止するには**

❚❚一時停止 を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

☞ **録画を止めるには**

■停止 を押す

DV おまかせ取込
i.LINK(DV入力)

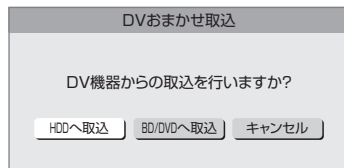
HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM(VR)** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)**

●i.LINK（DV 入力 /TS）端子に接続したときのみ

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

DVおまかせ取込

DV機器からの取込を行いますか?

HDDへ取込　BD/DVDへ取込　キャンセル

2 「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定を押す

3 録画モード Ⓜ を押して、録画モード（➜46）を選ぶ

●DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ、FR モードは選べません。

4 「録画開始」を選び、決定を押す

録画を止めるには

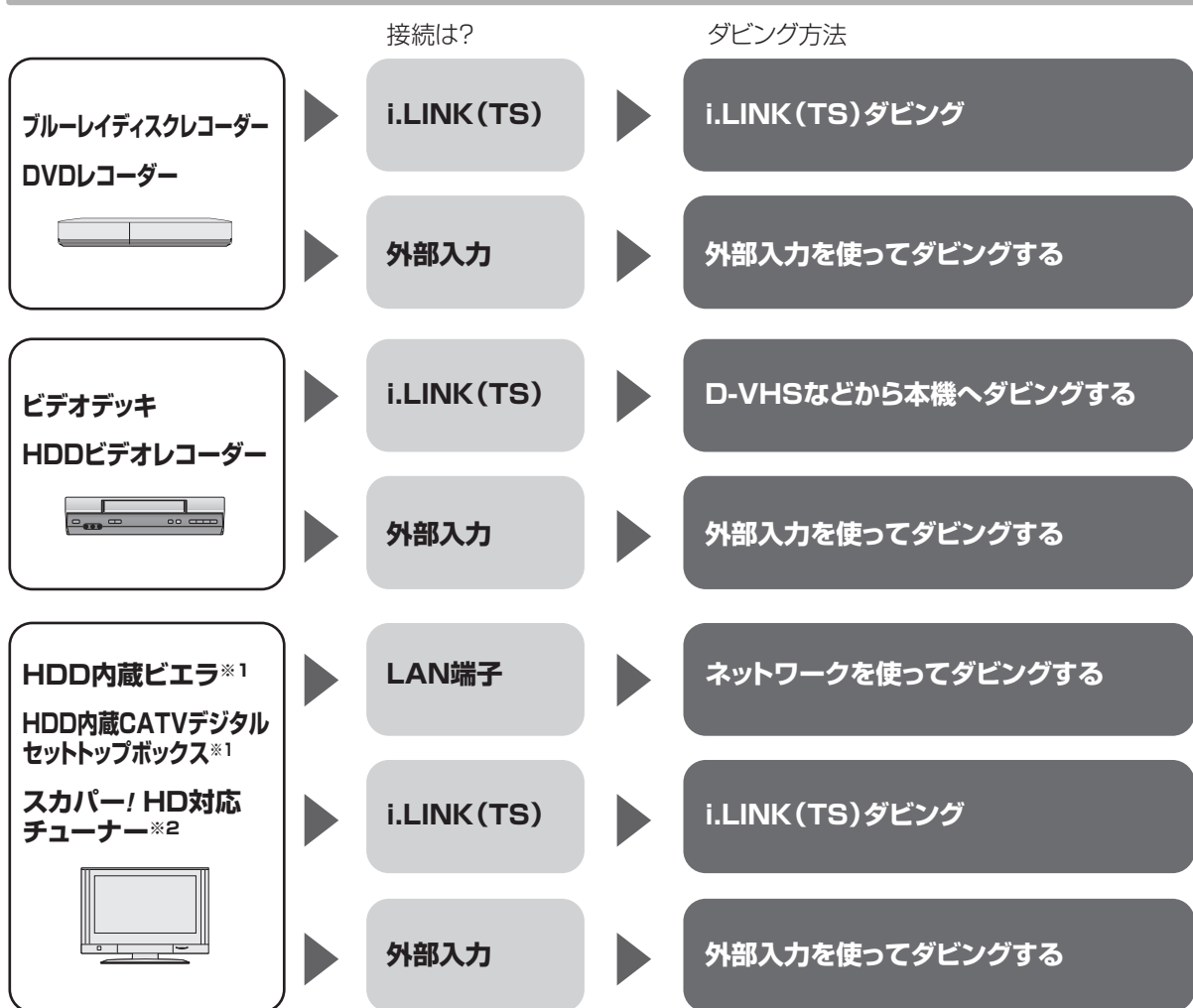
■停止 を押す

お知らせ

●日付や時刻情報は記録されません。
●DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

お知らせ

●i.LINK（DV 入力 /TS）経由で、接続した機器から本機を操作することはできません。
●i.LINK（DV 入力 /TS）経由で本機に接続できる DV 機器は、1 台のみです。
●DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
●「外部入力（L1）取込」中または DV 入力からダビング中は
・予約録画が始まると、ダビングを中断します。
・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
●**-R** 記録や編集を約 30 回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。
●**-R(V)** **-RW(V)** 「外部入力（L1）取込」または「DV おまかせ取込」後にファイナライズ（➜137）を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。
●片面 2 層の **-R(V)** は、外部入力（L1）取込や DV おまかせ取込はできません。

レコーダー・ビデオデッキ・ビエラからダビングする

※ 1　i.LINK（TS)、LAN 端子でダビングするかは機器によって異なります。

※ 2　LAN 端子を使ってダビングします。

接続と設定

i.LINK（TS）

●i.LINK ケーブルで接続する（➜ **準備編 9**）

●「i.LINK機器モード設定」を設定する（➜146）

・HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスと接続：「TS モード 2」

（当社製 CATV デジタルセットトップボックスの中には、「TS モード 1」に設定する機器もあります。詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください）

・それ以外と接続：「TS モード 1」

●接続機器側の i.LINK（TS）の設定をする

外部入力

●ビデオと接続する（➜ **準備編 13**）

LAN 端子

●ネットワーク接続と設定をする（➜ **準備編 16、準備編 26**）

お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（➜ **準備編 41**）

i.LINK（TS）を使ってダビングする

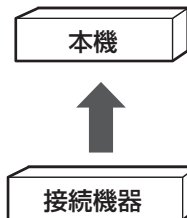
HDD に DR モードで録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。

●本機は、i.LINK（TS）に対応した当社製のブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDD ビデオレコーダー、HDD 内蔵ビエラ、HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスとの動作のみ保証しています。（2011 年 7 月現在）

お知らせ

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
●本機から i.LINK 対応機器の再生などの操作はできません。
●i.LINK（TS）経由で本機に接続できる i.LINK（TS）機器は、1 台のみです。

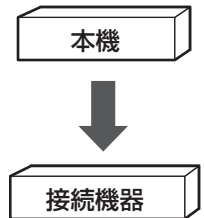
レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器：
ブルーレイディスクレコーダー
DVD レコーダー
HDD内蔵CATVデジタルセットトップボックスなど

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

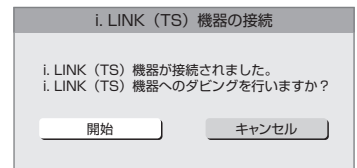
●接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
●DR モードでダビングします。
●本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画 (➜48) できない場合は、ダビングは中止されます。

本機からレコーダーなどへダビングする

i.LINK（TS）ダビング

● HDD の DR モードの番組のみダビングできます。

1 接続した i.LINK（TS）機器の電源を入れる

2 「開始」を選び、決定を押す

●ダビング元になる側で操作します。

下記操作で開始することもできます。
① ［スタート］を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、［決定］を押す
③「残す」を選び、［決定］を押す
④「i.LINK（TS）ダビング」を選び、［決定］を押す

3 番組を選び、青 を押す

● ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、［青］を押す

4 すべてを選んだあと、決定を押す

5 「ダビング開始」を選び、決定を押す

●ダビングは、1 倍速になります。

お知らせ

● 1 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビングすると、HDD から消去されます。
・ダビングを中止すると、中止した位置までの内容は HDD から消去されます。
● 10 ～ 2 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
・ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
●接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできない場合があります。

他の機器と

D-VHS などから本機へダビングする

● HDD にダビングできます。

ダビングできる機器：

D-VHS ビデオ

HDD ビデオレコーダーなど

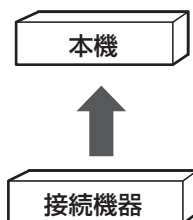
1 入力切換（ふた内部）**を押して、「i.LINK（TS）」を選ぶ**

2 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、ワンタッチ予約録画を押す**

3 **録画の終了方法を選び、決定を押す**

ダビングを実行中に中止するには

■停止 を押す

●接続した機器の再生も停止してください。

外部入力を使ってダビングする

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

● **HDD にダビングする場合：**

「接続した機器を再生してダビングする」（➜90）

●**ディスクにダビングする場合：**

「外部入力（L1）取込」（➜90）

ネットワークを使ってダビングする

HDD

HDD 内蔵のビエラや当社製 CATV デジタルセットトップボックスやスカパー！HD 対応チューナーとネットワーク接続すると、ビエラやセットトップボックスの HDD に録画した番組を本機の HDD にダビングすることができます。

●ネットワークを使ってダビングできる機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

●ネットワーク接続と設定をする

（➜ 準備編 16、準備編 26）

お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（➜ 準備編 41）

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●コピー制限のある番組はダビングできません。

●本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（➜48）できない場合は、ダビングは中止されます。

写真を再生する

基本操作 選び → 決定する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3DテレビとHDMIケーブルで接続している場合、3D対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続（➜155）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）SD

「写真」を選び、[決定]を押す
- 下記の手順5に進みます。

1 スタート を押す

HDD 手順5へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す
- 表示がない場合は[⏮][⏭]でページを切り換えてください。

3 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SDカード」を選び、決定 を押す

USB
「USB機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベント（日付またはフォルダ）を選び、決定 を押す

例）HDD
ラベル
- の付いたラベル：アルバム
イベントをお好みでアルバムに入れておくと、さらに写真を探しやすくなります。(➜97)
- 3D ラベル：
取り込んだ3D写真（MPO）を3D再生する場合は、このラベルから選んでください。
- 受信ラベル：
受信した写真を表示します。(➜101)

イベント
- HDDに取り込まれた写真（➜98）は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。

7 写真を選び、決定 を押す

再生を止めるには
■停止 を押す

前後の写真を見るには
[◀][▶]を押す

写真の情報を表示するには
画面表示 を押す

スライドショーを見るには
▶再生 を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- HDD以外のメディアの写真は、フォルダごとに表示します。
「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- の表示になっている写真は、本機では再生できません。

他の機器と 写真／音楽

写真を再生する（続き）

写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブメニュー **S を押す**

- 表示されない場合、もう一度［サブ メニュー］を押してください。

2 **項目を選び、決定を押す**

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、［決定］を押す** 例） スライドショー スライドショー開始 表示間隔　普通 表示効果　フェード リピート再生　切 BGM シャッフル　切 BGM　BGM なし 決定　戻る 開始前に、スライドショーの内容を設定できます。（➜ 右記） **スライドショーを終了するには** ［戻る］を押す
スライドショー（続き）	**表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。 （3D 写真再生時を除く） **リピート再生** 再生を繰り返します。 **BGM シャッフル** BGM を順不同に再生します。 （3D 写真再生時を除く） **BGM** スライドショー再生中、HDD 内の音楽のみBGMとして流すことができます。 （3D 写真再生時を除く）
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からイベントを探すことができます。

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。（➜25） ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90°回転 左90°回転	写真を回転します。
壁紙登録	再生中の写真をスタート画面の壁紙に登録します。
画面表示の飛び出し量	3D 写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真の整理をする

HDD BD-RE RAM SD

1 スタート **を押す**

HDD 手順５へ

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 BD-RE RAM

「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定を押す

SD

「SD カード」を選び、決定を押す

4 「写真」を選び、決定を押す

5 「写真を見る」を選び、決定を押す

6 イベント単位で管理する場合：

イベントを選び、サブメニュー S を押す（➜ 手順８へ）

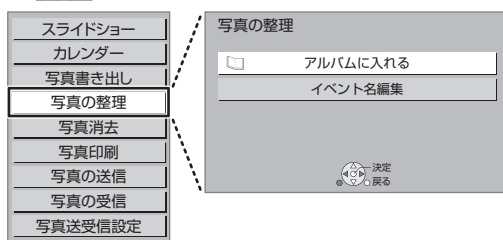
写真単位で管理する場合：

イベントを選び、決定を押す

●「イベントをまとめる」ときは、[青] を押してイベントを選択したあと、[サブ メニュー] を押してください。

7 写真を選び、サブメニュー S を押す

8 項目を選び、決定を押す（➜ 右記へ）

例） HDD 「すべて」表示時

アルバムに入れる HDD ●「すべて」表示時のみ	イベントまたは写真を既存のアルバムに登録します。 **登録するアルバムを選び、[決定] を押す**
イベント名編集	イベント名を編集します。 **文字入力については（➜130）**
イベントをまとめる HDD ●アルバム表示時のみ	選択した 2 つ以上のイベントを、1 つのイベントにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
アルバムから除外 HDD ●アルバム表示時のみ	選択したイベントや写真をアルバムから外します。 **「アルバムから除外」を選び、[決定] を押す**
アルバム名編集 HDD ●アルバム表示時のみ	選択中のアルバムのアルバム名を編集します。 **文字入力については（➜130）**
写真消去 ●「すべて」「フォルダ」表示時のみ	イベントまたは写真を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE RAM SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

お知らせ

●HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」（➜142）を行ってください。

写真／音楽

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW ➡ HDD

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

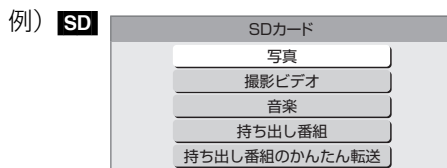
ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続（➜155）すると、下記画面が表示されます。（表示される項目は記録されている内容によって異なります）

例）SD

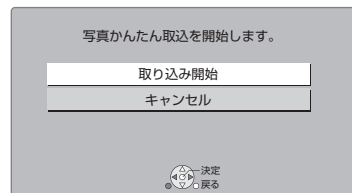
●下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定を押す
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定を押す
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定を押す

4 「写真」を選び、決定を押す

5 「写真を取り込む」を選び、決定を押す

6 「取り込み開始」を選び、決定を押す

7 取り込み終了後、「HDD の写真一覧を見る」または「テレビ視聴画面へ」を選び、決定を押す

お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜142）や「全写真消去」（➜142）を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合や写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」（➜99）を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。
- イベント名は取り込まれません。

写真一覧から取り込む

1 スタート **を押す**

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベントまたは写真を選び、青 を押す

- 選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）SD

7 すべてを選んだあと、赤 を押す

8 「HDD へ取り込む」を選び、決定 を押す

9 「アルバムに入れる」または「アルバムに入れない」を選び、決定 を押す

- 「アルバムに入れる」を選んだ場合、取り込み先のアルバムを選んでください。
- 「アルバムに入れる」を選んだ場合のみイベント名を取り込みます。

10 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE RAM SD

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD

SD USB ➡ BD-RE RAM

95 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 イベントまたは写真を選び、青 を押す

選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）HDD

7 すべてを選んだあと、赤 を押す

8 ディスクに書き出す場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD へ書き出す」を選び、決定 を押す

SD に書き出す場合：
「SD カードへ書き出す」を選び、決定 を押す

9 「書き出し開始」を選び、決定 を押す

写真を送受信する

本機は、当社が運営する LUMIX CLUB（PicMate）のサービスを利用することによって、写真の送受信に対応した機器同士で写真の送信や受信をすることができます。

●2010 年以前に発売された写真の送受信に対応したレコーダーと送受信を行う場合は、下記ホームページをご覧ください。
LUMIX CLUB（PicMate）
http://lumixclub.panasonic.net/

●ネットワーク接続と設定をする
（➜ 準備編 16、準備編 26）

写真を送信する

HDD

HDD の写真一覧から、写真を送信することができます。送りたい相手からアドレス番号とアクセス番号を教えてもらってください。

1 スタート **を押す**

2 **「写真を見る」を選び、決定を押す**
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **イベントまたは写真を選び、青 を押す**
選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

4 **すべてを選んだあと、赤 を押す**

5 **「家族や友人の機器へ送信する」を選び、決定を押す**
初めて送受信する場合、「利用規約の同意」「差出人の名前の設定」を行ってください。**（➜ 右記）**

6 **宛先の設定をする**（➜ 右記）

7 **「送信開始」を選び、決定を押す**

利用規約の同意

●利用規約を表示するまで、「利用規約に同意する」は選べません。

差出人の名前の設定

文字入力については（➜130）

宛先の設定

●「新規宛先」を選ぶと、下記画面が表示されます。

●送りたい相手から教えてもらったアドレス番号とアクセス番号を [1] ～ [10] で入力してください。
●登録できる宛先は最大 10 件です。

写真を受信する設定をする

以下の手順でアドレス番号とアクセス番号を取得してください。

1 スタート を押す

2 「写真を見る」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

3 サブメニュー S を押す

4 「写真の受信」を選び、決定 を押す

- 初めて受信する場合、「利用規約の同意」が必要です。(➜100)
- 表示されたアドレス番号、アクセス番号を送ってもらう相手に教えてください。

写真を受信する

1日に1回、電源「切」時に自動的に写真を受信します。

- 電源「切」時に写真を受信した場合、スタート画面の「新着写真を見る」を選ぶと、受信した写真を確認することができます。(➜95 手順4へ)

手動で受信するには

受信する時刻は不定期なため、電源を入れる時刻によっては受信できていない場合があります。今すぐ受信したい場合は、上記手順1～4を行ってください。

送受信の設定を変更する

必要に応じて設定の変更を行ってください。

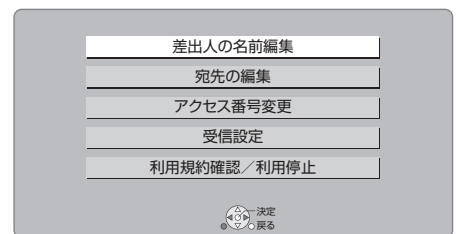
1 スタート を押す

2 「写真を見る」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

3 サブメニュー S を押す

4 「写真送受信設定」を選び、決定 を押す

5 項目を選び、決定 を押す

差出人の名前編集	写真を送る相手に知らせる差出人の名前を編集します。 **「名前入力」を選び、[決定]を押す** **文字入力については(➜130)**
宛先の編集	宛先を編集します。 **❶ 編集したい宛先を選び、[決定]を押す** **❷ 項目を選び、[決定]を押す** ・宛先名編集 ・宛先のアクセス番号再入力 ・宛先削除
アクセス番号変更	アクセス番号を変更します。 **❶「アクセス番号を変更する」を選び、[決定]を押す** **❷ [1]～[10]で番号を入力し、[決定]を押す**
受信設定	本機宛てにメールで送信された写真を受信するかどうかの設定をします。
利用規約確認/利用停止	サービスの利用規約を表示したり、利用を停止したりします。

写真を印刷する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**
+R、+R DL、+RW

ネットワークに接続されたネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したプリンターから写真を印刷することができます。

●ネットワーク接続と設定をする
（➜ 準備編 16、準備編 26）
●プリンター設定をする **（➜ 準備編 44）**

ディスク、SD カードを入れるまたは USB 機器を接続 **（➜155）** すると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録内容によって異なります）

例）**SD**

SDカード
- 写真
- 撮影ビデオ
- 音楽
- 持ち出し番組
- 持ち出し番組のかんたん転送

下記の手順 4 に進みます。

1 スタート を押す

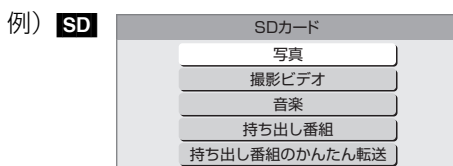
HDD 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** +R、+R DL、+RW 「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SD カード」を選び、決定 を押す

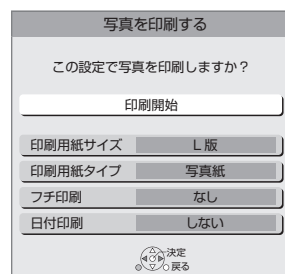
USB
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 イベントまたは写真を選び、サブメニュー S を押す

●複数のイベントまたは写真を印刷するときは、**[青]** を押して選んだあと、**[サブ メニュー]** を押してください。

7 「写真印刷」を選び、決定 を押す

8 印刷の設定をする

9 「印刷開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

●予約録画が始まると、印刷は中止されます。ただし、印刷途中の写真がある場合は、その写真の印刷を終了してから予約録画を始めます。

音楽 CD を再生する / HDD に録音する

CD

1 音楽 CD を入れる

●本機をネットワークに接続している場合、Gracenote データベースで、タイトル情報を自動取得します。

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[決定] を押す

CD のタイトル情報を再取得するには

[緑] を押す

2 HDD に録音する場合：黄 を押す

3 「録音開始」を選び、決定 を押す

本体表示窓に、録音全体の進行状況が表示されます。
（例：録音が約61％まで終了）

お知らせ

タイトルの自動取得について

●タイトルが見つからなかったときは、「不明なアルバム」として表示されます。

●情報が似ているために間違ったタイトル情報を取得することがあります。HDDへの録音後、タイトルを修正してください。(➜107)

●タイトルが長い場合、曲一覧ではすべて表示できません。

録音について

●CD の全曲を録音します。曲単位で録音はできません。

●コピーコントロールCDなど、CD規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。

●CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS（シリアル･コピー･マネージメント・システム）という制限があります。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。

●お買い上げ時は、CD 音質の LPCM の録音音質で録音されます。
録音音質を変更するには（➜142 「音楽録音音質」）

●「音楽録音音質」の設定にかかわらず、いったん LPCM で録音されます。

・「AAC」の場合、電源「切」後に LPCM のデータを音楽圧縮して AAC データを作成します。

・「LPCM」の場合、LPCM と AAC の両方のデータを HDD に保存し、SD カードに転送するときは、AAC（XP）で転送します。

●AACの音楽圧縮にかかる時間 は、60分の音楽CDの場合、約60分です。

●音楽圧縮前のデータは以下のように表示されます。

写真／音楽

HDDの曲をSDカードに転送する

HDD ➜ SD

1 SDカードを入れる

2 「音楽」を選び、決定を押す

3 「音楽を転送する」を選び、決定を押す

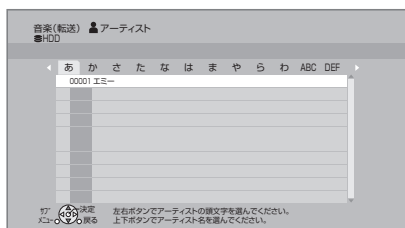
4 音楽をメニュー項目から選び、決定を押す

Ⓐ アーティストごとに分類
Ⓑ アルバム名ごとに分類
Ⓒ マイベスト（➜106）に登録した曲
Ⓓ ユーザープレイリスト（➜108）に登録した曲
Ⓔ 最近聴いた200曲中、再生回数の多い最大30曲

☞「アーティスト」を選んだ場合

① アーティストの頭文字を選ぶ
② アーティスト名を選び、[決定] を押す
③ アルバムを選ぶ

☞「アルバム」を選んだ場合

① アルバムの頭文字を選ぶ
② アルバムを選ぶ

5 黄 を押す

6 「転送開始」を選び、決定を押す

本体表示窓に、転送全体の進行状況が表示されます。
（例：転送が約61%まで終了）

お知らせ

- 本機では、モバイル機器にUSB接続ケーブルで接続して転送することはできません。
- 曲単位で転送することはできません。
- AACへの音楽圧縮が終了していないアルバムを転送する場合、転送時間が通常よりも長くかかります。
- 1回の転送で99曲を超える場合、複数のプレイリストに分割されます。
- 同じアルバムなどを転送した場合、転送した回数分重複して、SDカードに記録します。
- 「マイベスト」から転送する場合、SDカードの「マイベスト」の曲は上書きされます。（曲自体はSDカード内に残ります）
- **SDカードに転送した音楽について**
  著作権保護と、音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用したSDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。
  このため、下記の制限があります。
  ・本機は音楽データを暗号化してSDカードに転送します。
  暗号化された音楽データを別の機器にコピーして使用することはできません。
  ・コピー制御情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

HDD や SD カードの音楽を再生する

基本操作　選び→決定する

HDD SD

SDカードを入れると、下記画面が表示されます。
（表示される項目は記録内容によって異なります）

下記の手順 4 に進みます。

1 スタート **を押す**

HDD 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 SD

「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「音楽」を選び、決定 を押す

5 「音楽を聴く」を選び、決定 を押す

6 音楽をメニュー項目から選び、決定 を押す

HDD

Ⓐ アーティストごとに分類
Ⓑ アルバム名ごとに分類
Ⓒ マイベスト（➜106）に登録した曲
Ⓓ ユーザープレイリスト（➜108）に登録した曲
Ⓔ 最近聴いた 200 曲中、再生回数の多い最大 30 曲
Ⓕ 全曲をランダムに再生

SD

Ⓖ HDD の「マイベスト」から転送された曲
Ⓗ HDD の「マイベスト」以外から転送されたまとまりごとに表示
Ⓘ 全曲（記録した順に表示）

7 曲を選び、決定 を押す

お知らせ

● SD SDオーディオ規格準拠のAACの曲と、それを含むプレイリストのみ表示します。

音楽再生中のいろいろな操作

HDD CD SD

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。
·「再生」(➜62)の「リピート」「ランダム」
·「音声」(➜63)

お気に入りの曲をマイベストに登録 HDD

曲の一覧画面で登録したい曲を選び
[赤] を押す

●99 曲まで登録できます。

写真のスライドショー

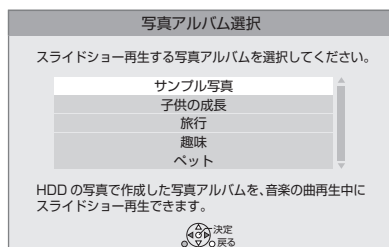
音楽再生中に、[青] を押す

スライドショーを停止するには
[戻る] を押す
(音楽の再生を停止したときも、停止します)

表示させる写真を選択するには
本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ HDD に内蔵されているサンプル写真または「アルバムに入れる」(➜97)で登録したアルバムからのみ選ぶことができます。

① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す**
② **「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す**
③ **アルバムなどを選び、[決定] を押す**

アルバム名や曲名などを編集する

基本操作 選び 決定 → 決定する 決定

HDD SD

1 スタート **を押す**

HDD 手順5へ

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

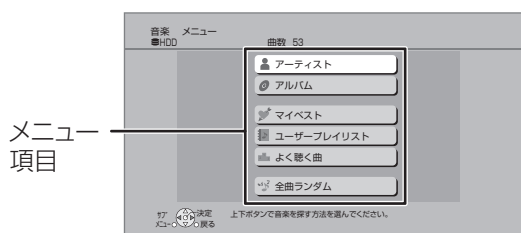
●表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

3 SD

「SDカード」を選び、決定を押す

4 「音楽」を選び、決定を押す

5 「音楽を聴く」を選び、決定を押す

6 音楽をメニュー項目から選び、決定を押す

☞全曲の消去や除外を行うときは（➜手順8へ）

7 アルバム、アーティストまたは曲を選ぶ

☞「アーティスト」を選んだ場合

① アーティストの頭文字を選ぶ

② アーティスト名を選び、[決定]を押す

③ アルバムを選ぶ

●曲を編集するときは、[決定]を押したあと、曲を選ぶ

☞「アルバム」を選んだ場合

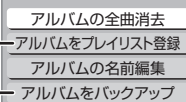
① アルバムの頭文字を選ぶ

② アルバムを選ぶ

●曲を編集するときは、[決定]を押したあと、曲を選ぶ

8 サブメニュー S **を押す**

9 項目を選び、決定を押す（➜下記へ）

例）HDD アルバム選択中

- アルバムの全曲消去
- アルバムをプレイリスト登録（➜108）
- アルバムの名前編集
- アルバムをバックアップ（➜110）

HDDの全曲消去 HDD カードの全曲消去 SD	①「はい」を選び、[決定]を押す ②「実行」を選び、[決定]を押す
アルバムの全曲消去 アーティストの全曲消去 HDD マイベストの全曲消去 プレイリストの全曲消去 SD 曲の消去 HDD SD	「消去」を選び、[決定]を押す
アルバムの名前編集 アーティストの名前編集 曲の名前編集 曲のアーティスト名編集 HDD	①「名前」または「読み」を選び、[決定]を押す ② 文字を入力する（➜130） ③「確定」を選び、[決定]を押す
曲の内容確認 HDD	アーティスト名やアルバム名、録音音質などの確認ができます。
マイベストの全曲除外 マイベストから除外 よく聴く曲から除外 よく聴く曲の全曲除外 HDD	「除外」を選び、[決定]を押す

写真／音楽

ユーザープレイリストを編集する

HDD

あらかじめ準備されている 10 個のプレイリストに、お好みのアルバムや曲を登録することができます。

プレイリストの名前は変更することができます。(➜109)

プレイリストを新たに追加することはできません。

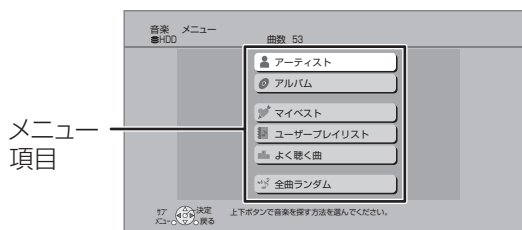
プレイリストに曲を登録する

1 [スタート] **を押す**

2 **「音楽を聴く」を選び、[決定]を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **音楽をメニュー項目から選び、[決定]を押す**

メニュー項目

4 **アルバムまたは曲を選ぶ**

☞「アーティスト」を選んだ場合

① アーティストの頭文字を選ぶ

② アーティスト名を選び、[決定] を押す

③ アルバムを選ぶ

●曲を登録するときは、[決定] を押したあと、曲を選ぶ

☞「アルバム」を選んだ場合

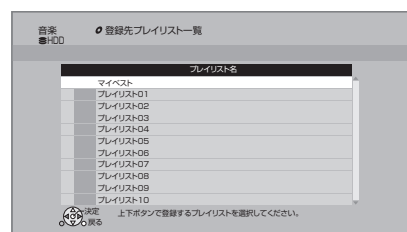
① アルバムの頭文字を選ぶ

② アルバムを選ぶ

●曲を登録するときは、[決定] を押したあと、曲を選ぶ

5 [サブメニュー S] **を押す**

6 **「アルバムをプレイリスト登録」または「曲をプレイリスト登録」を選び、[決定]を押す**

7 **登録先にするプレイリストを選び、[決定]を押す**

お知らせ

●最大登録曲数

・プレイリスト：999（1 つにつき）

・マイベスト　：99

プレイリストを編集する

1 **スタート を押す**

2 **「音楽を聴く」を選び、決定を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

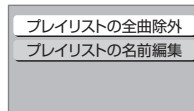
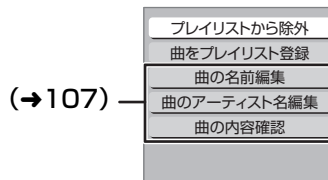
3 **「ユーザープレイリスト」を選び、決定を押す**

4 プレイリストの場合：
プレイリストを選び、サブメニュー S を押す

プレイリストの全曲除外
プレイリストの名前編集

プレイリスト内の曲の場合：

❶ **プレイリストを選び、決定を押す**

❷ **曲を選び、サブメニュー S を押す**

5 **項目を選び、決定を押す**（➜ 右記へ）

プレイリストの全曲除外 プレイリストから除外	「除外」を選び、[決定] を押す
プレイリストの名前編集	①「名前」または「読み」を選び、[決定] を押す ② 文字を入力する (➜130) ③「確定」を選び、[決定] を押す

写真／音楽

音楽をバックアップする

本機内蔵の HDD は、振動・衝撃・熱などに弱く壊れやすい精密機器です。そのため、HDD 内の録音データは、バックアップしておくことをお勧めします。本機は DVD-RAM にのみバックアップできます。

1 **スタート を押す**

2 **「音楽を聴く」を選び、決定 を押す**（➜ 下記へ）

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

バックアップ

❸「アーティスト」または「アルバム」を選び、決定 を押す
❹ アルバムを選び、サブメニュー S を押す
❺「アルバムをバックアップ」を選び、決定 を押す
❻「開始」を選び、決定 を押す

バックアップデータの復元

万が一、HDDが故障してデータが損なわれた場合には、HDDの修理が完了してから復元を行ってください。

❸ サブメニュー S を押す
❹「バックアップからの復元」を選び、決定 を押す
❺ 復元したいアルバムを選び、決定 を押す
❻「開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- バックアップするDVD-RAMは、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます）
- 1 回の操作でのバックアップや復元は、1 アルバムのみです。複数バックアップや復元したいときは、操作を繰り返してください。
- バックアップデータは暗号化して記録されます。
  再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。
  バックアップした機器でないと、データの復元はできません。

動くアルバムを楽しむ

基本操作 選び→決定する

HDD に取り込んだ写真や撮影ビデオ（AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組）を組み合わせてアルバムを作成することができます。

●アルバムの画質は、「アルバムの作成画質」(➜142) で選ぶことができます。
「高画質モード」は HG 相当、「標準モード」は HL 相当の画質になります。

動くアルバムを作成する

HDD

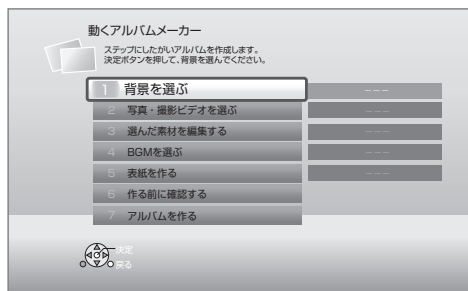
1 スタート を押す

2 「アルバムを作る」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 「新規作成」を選び、決定 を押す

●作成中のアルバムがある場合には、作成中 が表示されます。

4 ステップに従い、作成する（➜ 右記へ）

背景を選ぶ

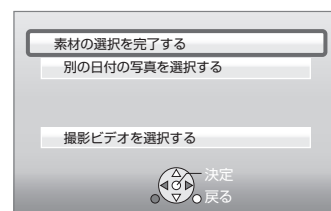
背景を選び、決定 を押す

写真・撮影ビデオを選ぶ

❶ 写真の日付または撮影ビデオを選び、決定 を押す

●撮影ビデオを選択する場合は、[赤] を押してください。
●選択した素材には、済 が表示されます。

❷ 画面に従い、項目を選び、決定 を押す

●この操作を繰り返し、写真と撮影ビデオを選んでください。

撮影ビデオの一部分だけを選択したい場合は

① 「使いたい部分を切り出す」を選び、[決定] を押す
② 「切り出し開始点」を選び、切り出す部分の開始点で [決定] を押す
③ 「切り出し終了点」を選び、切り出す部分の終了点で [決定] を押す
④ 「シーンを切り出す」を選び、[決定] を押す
⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●以下の撮影ビデオは選択できません。
・「1080/60p」の表示がある番組
・ 3D 表示のある番組
●アルバムの記録時間は、最大 90 分です。
●選択できる写真や撮影ビデオは、最大 900 です。
●表示される「記録時間」は目安です。

動くアルバムを楽しむ（続き）

動くアルバムを作成する（続き）

選んだ素材を編集する

❶「編集する」を選び、決定を押す

❷ 素材を選び、決定を押す

❸ 項目を選び、決定を押す

- 「選んだ素材を並べ替える」を選んだ場合は、移動先を選び [決定] を押します。
- 「選んだ素材を取り消す」で素材を取り消ししても、HDD から素材自体が消去されることはありません。
- 「選んだ素材にデコレーションをつける」で装飾した写真には、デコ が表示されます。

❹ 編集が終わったあと、戻る を押す

❺「はい」を選び、決定を押す

BGM を選ぶ

❶ 項目を選び、決定を押す

Ⓐ HDD に内蔵されているサンプル BGM
Ⓑ マイベスト（➜106）に登録した曲
Ⓒ 最近聴いた200曲中、再生回数の多い最大30曲
Ⓓ 最近 HDD に取り込んだ最大 99 曲
Ⓔ ユーザープレイリスト（➜108）に登録した曲

❷ 曲を選び、決定を押す

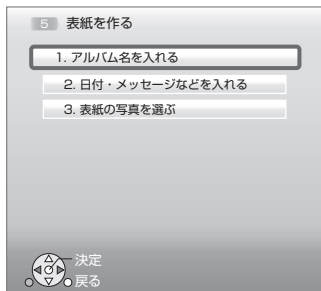
❸ 項目を選び、決定を押す

- この操作を繰り返し、曲を選んでください。

お知らせ

- BGM は最大 30 曲、合計時間 90 分まで選択できます。
- BGM の合計時間がアルバムの記録時間より長い場合は、一部の BGM は再生されません。
- 映像や写真などとともに音楽を第三者に提供する場合には、本機内蔵のサンプル BGM をお使いください。
  あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  権利者の許諾なく、著作物を不特定または特定多数の人に送信すること、不特定または特定多数の人がインターネット上で視聴、閲覧できるようにすることなどは、著作権などを侵害しますので、お気をつけください。

表紙を作る

項目を選び、決定を押す

- 自分で入力できるアルバム名、日付・メッセージは、最大 16 文字です。

文字入力について（➜130）

作る前に確認する

アルバムの仕上がりを確認できます。

アルバムを作る

アルバムの作成を開始します。

お知らせ

- アルバムの作成には、HDD の残量が HG モードで 100 分以上、HL モードで 120 分以上必要です。
- 本機で再生できない写真が選択されている場合、アルバムの作成はできません。「作る前に確認する」（➜ 上記）を選び、アルバムの仕上がり具合を確認してください。再生できない写真がある場合は、「選んだ素材を編集する」（➜112）で取り消してください。
- 作成を途中で止めても、それまでに設定した内容は保存されるため、次回に続きから作成できます。
ただし、素材として選択した写真、撮影ビデオ、音楽を編集や消去すると、保存された設定内容は変更されます。

動くアルバムを再生・消去・ダビングする

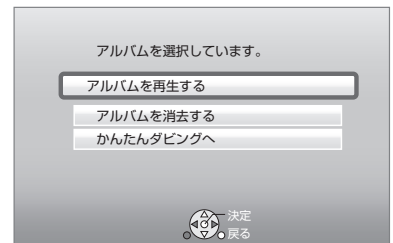
1 スタート **を押す**

2 「アルバムを作る」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は [⏮] [⏭] でページを切り換えてください。

3 アルバムを選び、決定を押す

4 項目を選び、決定を押す

- かんたんダビング（➜72）

再生中のいろいろな操作については（➜56）

お知らせ

- 作成したアルバムは、録画一覧（➜50）から再生することもできます。

便利機能

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※　すべての操作ができるものではありません。

■設定

① **「ビエラリンク制御」（➜145）を「入」にする**
（お買い上げ時の設定は「入」）

② **「ビエラリンク録画待機」（➜145）を「入」にする**
- 「クイックスタート」（**➜140**）は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作を素早く行えます。（待機時消費電力は増えます）

③ **接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク（HDMI）が働くように設定する**

④ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

お知らせ

- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2010 年 12 月現在）
- 「ビエラリンク録画待機」（**➜145**）が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

ビエラリンク（HDMI）対応機器の確認

機器にビエラリンク（HDMI）のロゴマーク（**➜ 下記**）が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

テレビ（ビエラ）側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■**録画モード・録画先**
- 録画（「見ている番組を録画」など）：
  - ･本機であらかじめ設定された録画モードでHDDに録画
- 録画予約 / 番組キープ：
  - ･DR モードで HDD に録画

■**録画予約の登録の確認**
- 本機が予約を受け付けたときに、本体表示窓に“ACCEPT”が表示されます。
- 本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。

■**録画予約の取り消し**
- 「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■**録画ができない場合**
- すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
- 本機に契約された B-CAS カードが挿入されていないとき。

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

(本機のリモコン)：本機のリモコンで操作できます。

(テレビのリモコン)：テレビのリモコンで操作できます。

Ver.○以降 ：接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク（HDMI）に対応している場合に操作できます。

入力自動切換え / 電源オン連動

●テレビの電源が待機状態のときのみ

(本機のリモコン) Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

●本機の電源「切」時は、**[ガイド]**、**[ネット]**、**[初期設定]** は働きません。

電源オフ連動

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) Ver.1以降

●リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

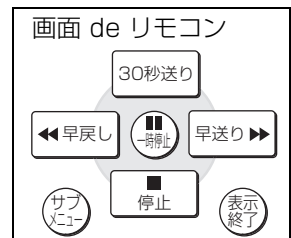
●ダビング、ファイナライズ、消去、音楽の録音や転送、バックアップ、復元、**[ワンタッチ予約 録画 ●]** を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

(テレビのリモコン) Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

●**[サブ メニュー]** を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。

停止中は、ドライブ切換などの操作をすることができます。

●ビエラリンクメニューからスタート画面を表示させると、予約の操作や番組表から放送局を選局することなどができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

(本機のリモコン)(テレビのリモコン) Ver.2以降

ビエラリンク（HDMI）対応のテレビ（ビエラ）とアンプを接続し、ビエラリンク（HDMI）を使っている場合、連動操作をするためテレビ（ビエラ）の電源を切ると本機の電源も切れます。
ただし、接続したテレビ（ビエラ）がビエラリンク（HDMI）Ver.2 以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

❶ **音楽再生中に、(サブメニュー S) を押す**

❷ **「TV のみ電源 OFF」を選び、(決定) を押す**

●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

ビエラリンク（HDMI）を使う（続き）

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

（本機のリモコン）（テレビのリモコン）　Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。
●VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには
●「オートサウンド連携」（➜145）を「入」にする

番組キープ

（テレビのリモコン）　Ver.3以降

視聴中の番組をHDDに一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。
（番組キープ終了後は削除されます）

「番組キープ ●」が表示

お知らせ

●チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
●以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
・番組キープと録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
・番組キープが8時間を超えたとき、またはHDDの容量がなくなったとき
●本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。

ECOスタンバイ

（テレビのリモコン）　Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。
●電源「切」時に時計表示されなくなります。

設定を有効にするには
●「ECOスタンバイ」（➜145）を「入」にする

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

基本操作 選び 決定する

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。
持ち出し番組を再生できる機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

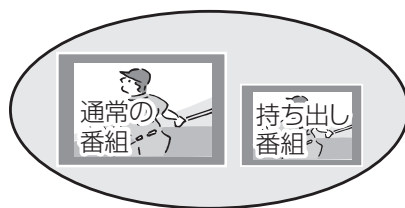
携帯電話の対応機種について

下記モバイルサイトで、お使いの携帯電話が対応しているか確認できます。

●二次元バーコードを使う

●URLを直接入力する
http://p-mp.jp/pm/m1/diga_m_c.cgi

持ち出し番組について

●通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。（ダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません）
●通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。（ダウンロードした番組を除く）
●本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

持ち出し方法について

モバイル機器に持ち出し番組を転送するには、以下の方法があります。持ち出しする方法に合わせて持ち出し番組を作成する必要があります。
●SD/USB 経由
SDカードを本機に挿入して転送する場合やUSB接続ケーブルを接続して転送する場合
●ネットワーク経由
DLNA 対応のモバイル機器にネットワークを経由して転送する場合

持ち出し番組の画質について

SD/USB 経由で持ち出す場合、本機では持ち出し番組の記録画質を選ぶことができます。「高画質（VGA）」に設定すると、「ワンセグ画質（QVGA）」より高画質で作成します。（高画質と表示）ただし、「高画質（VGA）」に対応したモバイル機器でしか再生できません。
●「持ち出し番組のVGA画質」（➜142）で記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更できます。
●ネットワーク経由で持ち出す場合の画質は「高画質（VGA）」（1.5 Mbps）となり、変更できません。（ネット高画質と表示）

多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

●マルチ音声の番組
・録画した番組から作成するとき：
「信号切換」の「音声」（➜61）で設定した音声１つ
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません

●二重音声の番組
・録画した番組から作成するとき：
ステレオ音声
・通常の番組の録画と同時に作成するとき：
両方の音声

録画した番組をモバイル機器に持ち出す（続き）

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約（➜30 手順 5）、詳細設定（➜38 手順 1）、または時間指定予約（➜40 手順 3）画面で

❶ **「持ち出し番組の設定」を選び、決定を押す**
❷ **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する**
❸ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
- 「ネットワーク経由」を選んだ場合、**手順 ❺** へ

❹ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❺ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➜119）で自動的に転送することができます。

お知らせ
- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質（QVGA）」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
  - ・「高画質（VGA）」で作成するとき
  - ・BS・CS デジタル放送、外部入力から作成するとき
  - ・スカパー！HD の番組から作成するとき
  - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
  - ・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えるときの超えた分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」（➜ 右記）で作り直すことをお勧めします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」（➜39）で記録したい音声や字幕を選んでください。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

❶ **録画一覧を押す**
❷ **作成する番組を選び、緑を押す**
❸ **「持ち出し番組の作成」を選び、決定を押す**
❹ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
- 「ネットワーク経由」を選んだ場合、**手順 ❻** へ

❺ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❻ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」（➜119）で自動的に転送することができます。

❼ **「開始方法」を選び、設定する**
- **すぐに：**
  下記手順 ❾ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源 [切] 後：**
  電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

❽ **「作成する」を選び、決定を押す**
❾ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、決定を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：
決定を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順 ❸ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧（➜120）で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

ネットワーク経由で持ち出す（転送）

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

●ネットワーク接続と設定をする
（➜ 準備編 16、準備編 26）
お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合（➜ 準備編 41）

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

SD/USB 経由で持ち出す（転送）

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）
登録されている番組は、持ち出し番組一覧（➜120）で確認することができます。

●登録は、番組の予約時（➜118)、持ち出し番組の作成時（➜118）または作成後（➜120）に行うことができます。

❶ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**
USB 機器を接続するには（➜155）

例）SD

❷ **「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定を押す**

お知らせ

●ダウンロードした番組の場合：
・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
・以下の設定はできません。
-「持ち出し方法」の「ネットワーク経由」
-「かんたん転送の登録」の「する」
-「開始方法」の「電源［切］後」
・ネットワークに接続した状態で作成してください。

●視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。

●ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。

●HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。

●持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
・二重音声　：「二重放送音声記録」（➜144）
・マルチ音声：「信号切換」の「音声」（➜61）
・チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
・字幕　　　：「信号切換」の「字幕」（➜61）
（「電源［切］後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます）

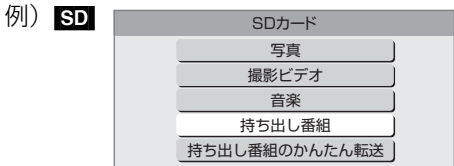
SD/USB 経由で持ち出す（転送）（続き）

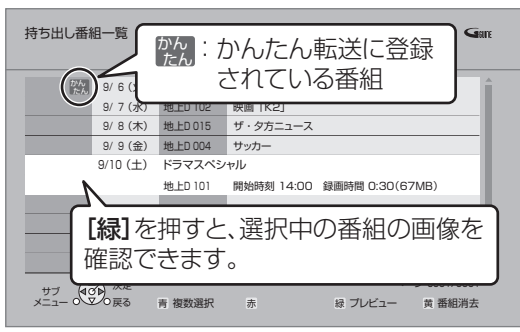
持ち出し番組一覧から転送する

❶ SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する

☞ USB 機器を接続するには（➜155）

例） SD

SDカード
- 写真
- 撮影ビデオ
- 音楽
- 持ち出し番組
- 持ち出し番組のかんたん転送

❷「持ち出し番組」を選び、決定を押す

❸「持ち出し番組を転送する」を選び、決定を押す

❹ 番組を選び、青を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☞ **選択を取り消すには**

番組を選び、[青] を押す

❺ すべてを選んだあと、決定を押す

❻「転送を開始する」を選び、決定を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」（➜ 左記）

手順 ❸ のあと

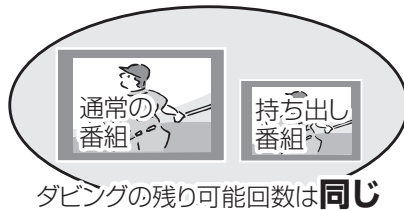
❹ 番組を選び、サブメニュー S を押す

❺ 項目を選び、決定を押す（➜ 下記へ）

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。（➜ 左記手順 ❻ へ）
番組消去	番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」（➜119）の登録をします。（かんたん が表示されます）
かんたん転送の解除	「かんたん転送」（➜119）の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」（➜142）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送（ダビング）の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送（ダビング）できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
- 1 表示のある番組をダビング（転送）すると、通常の番組・持ち出し番組は HDD から消去されます。

転送した番組を確認・消去する

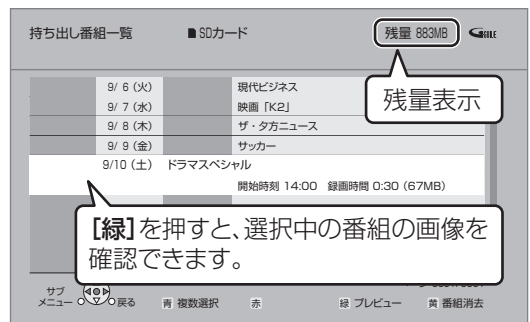
❶ **SD カードを入れる または USB 機器（携帯電話など）を接続する**

USB 機器を接続するには（➜155）

❷ **「持ち出し番組」を選び、決定を押す**

❸ **「持ち出し番組を確認する」を選び、決定を押す**

❹ **番組を選ぶ**

例）SD

番組の内容を確認するには

① **[サブ メニュー]** を押す

②「内容確認」を選び、**[決定]** を押す

持ち出し番組を消去するには

① **[黄]** を押す

②「消去」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ・通常の番組の再生はできません。
  - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置（**➜56「続き再生メモリー機能」**）とチャプターマーク（**➜68**）を通常の番組から引き継ぎます。
  - ・ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
  - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定（**➜64**）されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認・消去は本機ではできません。

ドアホンやセンサーカメラから録画された映像を再生する

HDD

ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を自動で HDD に録画します。

●H.264 対応のセンサーカメラからの場合は動画（音声付き）を、H.264 非対応のセンサーカメラやドアホンからの場合はコマ送りの画像（連続静止画）を記録することができます。

●本機とドアホンやセンサーカメラを接続する
(➜ 準備編 17)

●ドアホンやセンサーカメラの設定をする
(➜ 準備編 42)

お知らせ

● ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に"⌂"が点滅します。
● ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、確認画面が表示されます。
● ドアホン・センサーカメラ映像の録画は、以下の制約がありますので、ご理解いただいたうえで、ご利用ください。
  · 以下の場合、映像は録画されません。
    - ３番組同時録画中（通知のみ記録）
    - ２番組同時録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
    - HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
    - スカパー! HD の番組を録画中（通知のみ記録）
    - オンエアーダウンロードなどのソフトウェア更新中(➜149)
    - 本機の安定性維持のために行われる午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の自動再起動時
    - その他、ファイナライズ中　など
  · 録画は最大で約 30 秒です。最短検知間隔が 1 分間のセンサーカメラの場合、検知後、約 30 秒間の映像は記録されますが、30 秒以降から 1 分までの間は、センサーカメラは検知せず、録画されません。
    ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。
  · 最大記録件数は、以下になります。
    ドアホン映像 400　センサーカメラ映像 400
    400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロテクトを設定してください。(➜123)
  · 本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社は一切の責任を負いません。

録画された映像を再生する

1 スタート を押す

2 「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

☞ ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

☞ センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

3 映像を選び、決定 を押す

●映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。

録画した機器の名称を表示

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

(一時停止中)

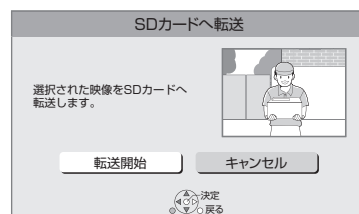
映像の一場面を SD カードに保存

映像の一場面を写真（JPEG）に変換して SD カードに保存することができます。

❶ 保存したい場面で 一時停止 を押す

❷ [◀] [▶] を押して場面を調整する

❸ 黄 を押す

❹「転送開始」を選び、決定 を押す

●SECURITYフォルダ内の日付フォルダに保存されます。

録画された映像を編集する

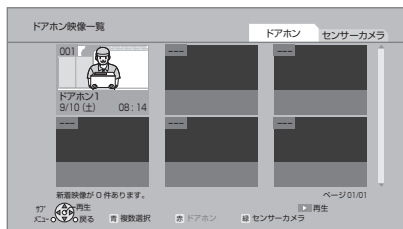
1 スタート **を押す**

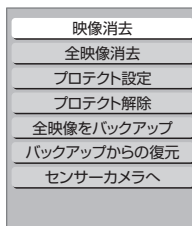
2 **「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

☞ **ドアホン映像一覧を表示するには**
[赤] を押す

☞ **センサーカメラ映像一覧を表示するには**
[緑] を押す

3 **映像を選んで、サブメニュー S を押す**

4 **編集する項目を選び、決定 を押す**（➜ 右記へ）

例）

映像消去 全映像消去	**「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除	映像を誤って消去しないよう、映像ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
全映像をバックアップ	ドアホンまたはセンサーカメラの全映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。 **「開始」を選び、[決定] を押す** **お知らせ** ●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます） ●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。 ●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしないかぎり、バックアップはできません。
バックアップからの復元	DVD-RAM にバックアップしたデータをHDDに復元します。 ●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合にはHDDの修理が完了してから復元を行ってください。 **「開始」を選び、[決定] を押す**

インターネットを楽しむ

本機では、インターネットを利用してアクトビラなどのサービスを楽しむことができます。

- 予約録画の開始時刻になると、「テレビでネット」は終了し、テレビ放送の画面に戻ります。

- ネットワーク接続と設定をする
(➜ 準備編 16、準備編 26)

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。
制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① [スタート] を押す
②「放送設定」を選び、[決定] を押す
③「デジタル放送 視聴・再生設定」を選び、[決定] を押す
④「制限項目設定」を選び、[決定] を押す
⑤ [1] ～ [10] で暗証番号を設定する
⑥「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

- 「テレビでネット」を利用するには、手順⑤で設定した暗証番号の入力が必要になります。

acTVila(アクトビラ)を利用する

acTVila とは

- インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。
- 本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
  - ・アクトビラ ベーシック
  - ・アクトビラ ビデオ
  - ・アクトビラ ビデオ・フル
  - ・アクトビラ ビデオ・ダウンロード

アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト(http://actvila.jp/)をご覧ください。
また、当社ホームページ(http://panasonic.jp/support/actvila/)でも紹介しています。(2011 年 7 月現在)

1 [ネット] を押す

2 「アクトビラ」を選び、[決定] を押す

3 見たい項目を選び、[決定] を押す

アクトビラを終了するには
[地上] [BS] [CS] を押す

お知らせ

- **ホームページへの情報登録について**
アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。

ネット操作パネルを表示する

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す

❷ 項目を選び、決定を押す

Ⓐ 1つ前のページへ
Ⓑ 1つ先のページへ
Ⓒ 読み込みを中止
Ⓓ 表示中のページを再読み込み
Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
Ⓕ お好みページを使う（➜ 下記）

ネット操作パネルの表示を消すには

サブメニュー(S)を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ ホームページ表示中に、サブメニュー(S)を押す

●登録したい場合、登録したいホームページを表示して [**サブ メニュー**] を押してください。

❷「お好みページ」を選び、決定を押す

■登録する

❸ 青を押す

❹ 内容を確認し、決定を押す

●「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。

■見る

❸ 見たいタイトルを選び、決定を押す

■削除する

❸ 削除したいタイトルを選ぶ

❹ 黄を押す

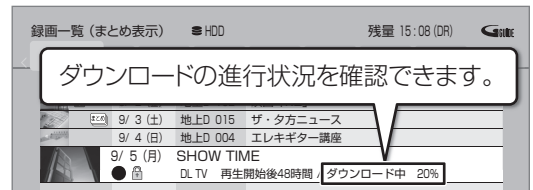
❺「はい」を選び、決定を押す

動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラなどのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。

●動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従って動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

ダウンロード中に点灯　本体表示窓

ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、[**サブ メニュー**] を押す

②「ダウンロード一時停止」を選び、[**決定**] を押す

③「一時停止」を選び、[**決定**] を押す

●ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。

(➜133「ダウンロード履歴」)

お知らせ

●電源「切」時でもダウンロードは実行されます。
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・複数の番組を録画中
・スカパー！HD の番組を録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など

またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

acTVila（アクトビラ）を利用する（続き）

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧（➜50）から再生する

ダウンロードした番組が表示されない場合
「HDD番組の視聴制限」（➜142）の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。
① [サブ メニュー] を押す
②「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ
- 視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
- 再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
- 番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング（➜72）や詳細ダビング（➜74）でダビングを行う

ダウンロードした番組が表示されない場合
「HDD番組の視聴制限」（➜142）の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。
① [サブ メニュー] を押す
②「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ
- DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
- ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。
- 番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数や期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

動画共有サイトなどのサービスを利用する

1 **[ネット] を押す**
- ビデオコミュニケーションを利用する場合は、[S] を押しても開始できます。

2 **項目を選び、[決定] を押す**
- 操作方法は画面の指示に従ってください。

サービスを終了するには
[地上] [BS] [CS] を押す

お知らせ
- ビデオコミュニケーションについて
ビデオコミュニケーション（Skype™）を利用するには、別売のビエラコミュニケーションカメラ（TY-CC10W）を USB 端子に接続してください。
詳細情報は、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。
・本機が録画やダビングなどの動作中は利用できません。
・着信があったときなど、着信ランプが点滅します。

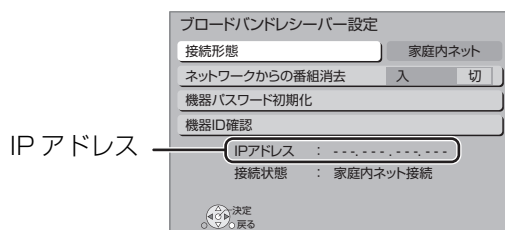
自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。
●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

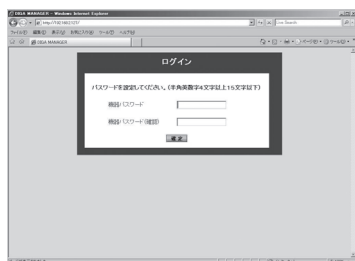
携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をしたいときは（➜ 準備編 43）

●ネットワーク接続と設定、ブロードバンドレシーバーの設定をする
（➜ 準備編 16、準備編 26、準備編 43）

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトを起動させ、本機の IP アドレス（➜ 準備編 43、手順 4 で確認）をアドレス欄に入力する

●ログイン画面が表示されます。

ログイン画面が表示されないときは（Internet Explorer® 6.0 の場合）
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。
●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従ってください。

番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去
●消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。**（➜148）**
●ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。

レコーダー操作　本機の録画、電源入/切など

ヘルプ　操作方法などの説明

ログアウト　操作の終了

機器パスワードとは
インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

便利機能

お部屋ジャンプリンク（DLNA）を使う

お部屋ジャンプリンク（DLNA）機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。
コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- 2010 年４月以前に発売の DLNA 対応ディーガは、サーバー機能のみです。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- 当社製DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/r_jump/
  （2011 年７月現在）

別室のテレビなどで見る（サーバーとして使用する）

- ネットワーク接続と設定をする
  （➜ 準備編 16、準備編 26）
  お部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定を変更する場合**（➜ 準備編 41）**

HDD **USB-HDD**

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真の再生、受信した放送の視聴ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 2 台以上の機器で同時に操作することはできません。

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

- 編集はできません。（当社製機器の場合、番組の消去のみできます）
- ダウンロードした番組は再生できません。
  （DLNA対応の他社製機器から再生時）（2011 年７月現在）

「放送を見る」のとき

- 本機のチャンネル設定（**➜ 準備編 36**）で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- アクトビラ、スカパー！HDの番組を視聴することはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器で放送番組を視聴することはできません。（2011年７月現在）

映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」（**➜ 準備編 41**）を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。
  ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
  ・早送り・早戻しができない
  ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本体や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。

別室の機器の映像を見る（クライアントとして使用する）

本機からDLNA対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

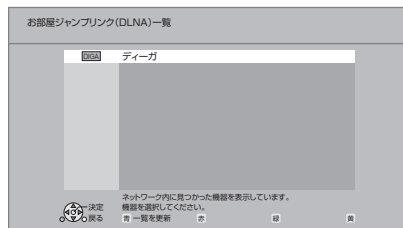
●ネットワーク接続と設定をする
（➜ 準備編 16、準備編 26）
●接続した機器側で、本機を登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」または「ビエラリンク（LAN）」で登録する）
（本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の操作を行ってください）

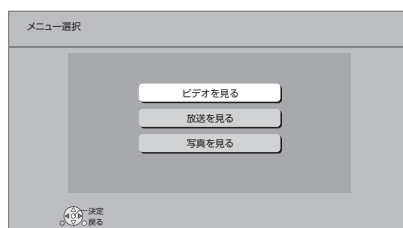
1 **スタート を押す**

2 **「お部屋ジャンプリンク」を選び、決定を押す**

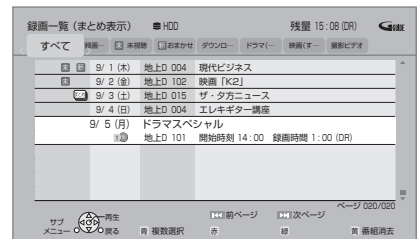
●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

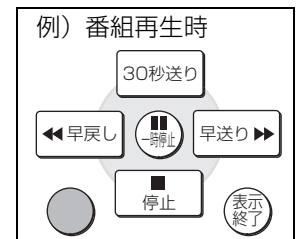
3 **接続する機器を選び、決定を押す**

例）

●選んだ機器の画面が表示されます。

例）

画面に従って、以降の操作をしてください。

例）DLNA 対応のディーガの番組を再生する場合

① 機器のリモコンを使って、ディーガの「録画一覧」を表示させる

② 再生する番組を選び、[決定] を押す

●「画面 de リモコン」が表示されます。
（[▲][▼][◀][▶][決定][戻る] で操作することができます）

「画面 de リモコン」が表示されていないときは
[サブ メニュー] を押す

便利機能

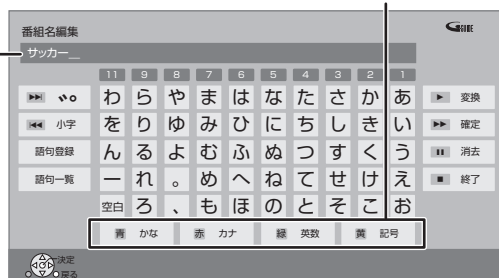
お知らせ

●ディスクまたは音楽を再生することはできません。また接続している機器によっては、写真を再生することはできません。
●接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。

文字入力

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、イベント名、マイラベル名、音楽の名前、フリーワード検索などを入力するとき)

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選ぶ**

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜131)

3 入力が終わったら、■停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。

例:ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**

●「さ」行に移動します。

② **[3] を2回押し、[決定] を押す**

●「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、
[決定] を押す

- [戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[❚❚ 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、
[決定] を押す
②「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

①「語句一覧」を選び、[決定] を押す
② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

①「語句一覧」を選び、[決定] を押す
② 語句を選び、[黄] を押す
③「消去」を選び、[決定] を押す

携帯電話（リモコンボタン）方式で文字入力する
（アクトビラなどで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 1 〜 12（ふた内部）**で文字を入力する**

例）「えいが」と入力するとき

4 回押す（え）	1 回押す	2 回押す（い）	1 回押す（か）	1 回押す（゛）

えいが

- 入力文字一覧表をご覧ください。（➜132）

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

- JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

2 決定 **を押す**

- この手順を繰り返し、文字を入力します。

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

- [緑] を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。
- 漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

携帯電話（リモコンボタン）方式で文字入力する

（アクトビラなどで入力するとき）（続き）

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる

例)「あい」と入力する場合 : **[1] [▶] [1] [1]** の順に押す

文節を分けて変換する

例）「えいが」の「えい」だけを変換する場合：

① 「えいが」と入力して、**[▼]** を押す

② **[◀]** を押して「えい」だけを選ぶ

③ 変換候補を選び、**[決定]** を押す

映画

えいが

映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する

② 変換候補を選び、**[決定]** を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、**[黄]** を押す
（カーソルの文字が削除されます）

携帯電話方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	·	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	·	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	―	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例 :「い」を入力するときは **[1]** を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて **[10]** を押してください。

お知らせ

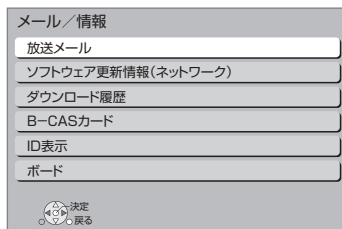
- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

1 [スタート] を押す

2 「メール / 情報」を選び、[決定]を押す

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 項目を選び、[決定]を押す

放送メール

放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、[決定]を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日時を確認できます。

ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

表示されていない番組を表示するには

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号 (**➜142「HDD番組の視聴制限」**) を入力する

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

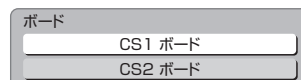
本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- **[青]**：本機のソフト情報を表示
- **[赤]**：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

❶ **「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、[決定]を押す**

❷ **確認したい情報を選び、[決定]を押す**

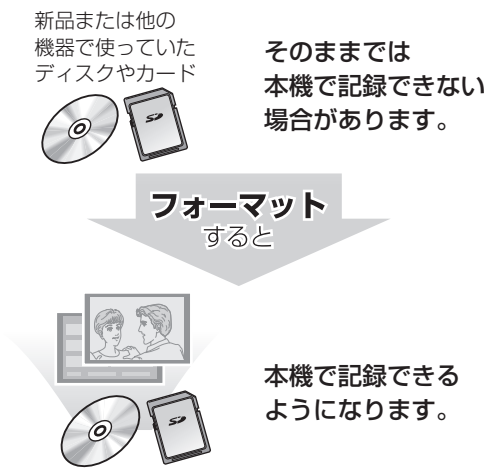
便利機能
必要なとき

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の機器で使っていたディスクやカード

そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマットすると

本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

ディスク	記録方式	フォーマット	特徴
BD-RE BD-R	—	必要	記録方式の設定はありません。どの番組でも記録できます。
RAM	VR方式	—（ディスクによる）	標準画質で記録
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-R	VR方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	不要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-RW	VR方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	必要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC方式	AVCREC方式はありません。	

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

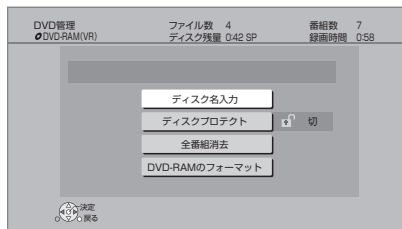
- 表示がない場合は[|◀◀][▶▶|]でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、決定を押す

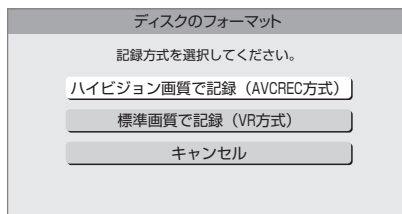
4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定を押す

- 未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（➜ 手順6へ）

5 フォーマットの項目を選んで、決定を押す

例）RAM

6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例）RAM

お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- -R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（➜136）を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは「HDDのフォーマット」（➜142）で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

（ファイナライズしたディスクではできません）

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す**

4 **「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す**

5 **操作したい項目を選んで、決定 を押す**

（➜ 下記へ）

例）**RAM**

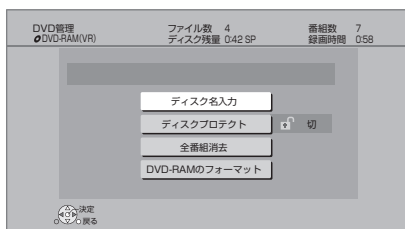
ディスク名入力

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

☞ 文字入力については（➜130）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

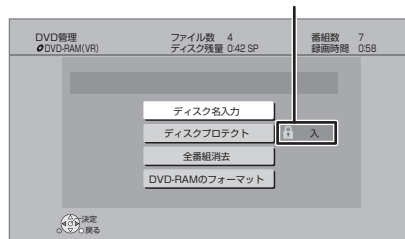
-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

ディスクプロテクト

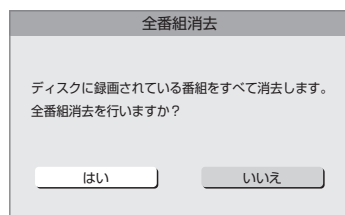
BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❻ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

プロテクト設定すると「🔒 入」が表示

全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

例）**RAM**

❻ 「はい」を選び、決定 を押す

❼ 「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **RAM** 写真や音楽データは消去されません。
- **BD-R** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** 消去しても残量は増えません。

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

ファイナライズすると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。

ファイナライズすると

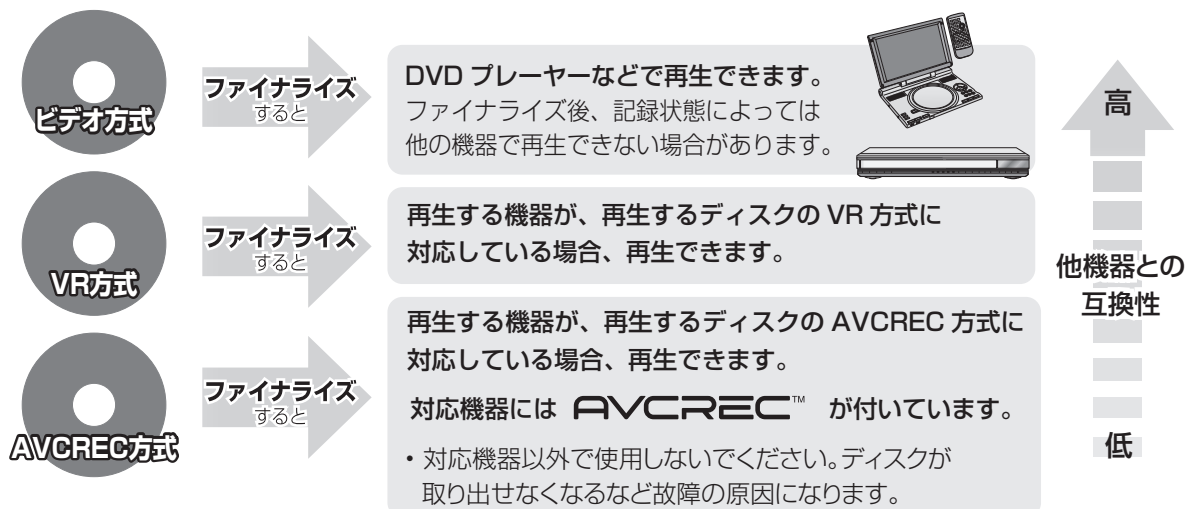
再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズすると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

・対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

高　他機器との互換性　低

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。

136 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❻ **お好みの背景を選び、決定を押す**

●トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。**（➜66「サムネイル変更」）**

ファーストプレイ選択

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定できます。

❻ **「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定を押す**

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1　：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R **-RW** **BD-R**

❻ **「はい」を選び、決定を押す**

❼ **「実行」を選び、決定を押す**

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

●本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
●ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
●**-RW(V)** フォーマット（➜134）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
●**-RW(VR)**「ファイナライズ解除」（➜ 下記）を行うと、記録や編集ができます。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❻ **「はい」を選び、決定を押す**

❼ **「実行」を選び、決定を押す**

お知らせ

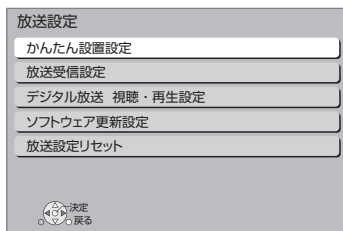
●本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

放送設定を変える（放送設定）

1 スタート **を押す**

2 **「放送設定」を選び、決定を押す**

●表示がない場合は [|◀◀] [▶▶|] でページを切り換えてください。

3 **メニューを選び、決定を押す**

4 **設定項目を選び、決定を押す**

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 **設定内容を変更する**

かんたん設置設定

かんたん設置設定（➜ 準備編 24）

放送受信設定

【 】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

●地上デジタルは設定できません。

BS/CS 【使う】

チャンネル設定（➜ 準備編 36）

地上デジタル /BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」（➜ 準備編 24）を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信 【切】

「入」に設定すると、1 ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

●番組表はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。

●「入」にすると、常時接続状態になります。

● 1 ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。

●2011 年 7 月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです。

地域設定（➜ 準備編 38）

県域設定

郵便番号

地域設定削除

受信アンテナ設定（➜ 準備編 34）

地上デジタル

アッテネーター 【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル（➜ 準備編 34）を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源 【入】

アンテナ出力 【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

（放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください）

B-CAS カードテスト（➜ 準備編 45）

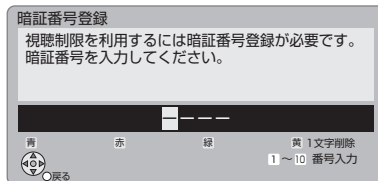
デジタル放送 視聴・再生設定

【 】はお買い上げ時の設定です

字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。
XP、SP、LP、EP、FR モードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。
設定しても番組によって無効になる場合があります。

項目	設定
字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定

画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限 【しない】

「テレビでネット」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象 【すべて】

デジタル放送で [**チャンネル ∧,∨**] を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

ソフトウェア更新設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約 【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。（➜149）

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。（➜133「放送メール」）

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」（➜138）をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

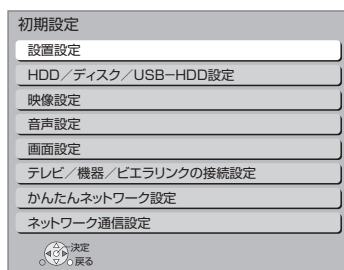
時刻設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」（➜142）や「USB-HDDのフォーマット」（➜142）を行ってください。

本機の設定を変える（初期設定）

1 初期設定（ふた内部）**を押す**

2 メニューを選び、決定を押す

3 設定項目を選び、決定を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 設定内容を変更する

設置設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源〔切〕 【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。
時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード（➜準備編 39） 【リモコン1】

時刻合わせ（➜準備編 44）

音声ガイドの設定

番組表の内容や録画一覧、選局時、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
●「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」(➜143) は自動的に「PCM」になります。(「切」に戻しても「PCM」のままです)
●外部入力、DV 入力のときは、出力されません。

音声ガイド機能	【切】
読み上げ音量	
読み上げ速度	

クイックスタート 【切】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります)

●待機時消費電力は増えます。
●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません)
●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。
・「ビエラリンク録画待機」(➜145)：「入」
・「i.LINK 機器モード設定」(➜146)：「TS モード 2」
・「接続形態」(➜148)：「インターネット」または「家庭内ネット」
・「お部屋ジャンプリンク機能」(➜148)：「入」
・「ドアホン・センサーカメラ接続」(➜148)：「入」
・ビデオコミュニケーション側で電源「切」時の設定

「切」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート (➜上記) が「入」時の設定をします。

●「省エネ」の場合、「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
電源「切」時に本体表示窓は消灯します。
●「標準」の場合、テレビと HDMI 端子で接続時は、無信号自動オフ機能が働かない場合があります。

エコ待機モード 【モード 1】

[エコ待機] を 3 秒以上押して電源を「切」にしたときの待機モードを設定します。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。

・時刻
・DVD-Video の視聴制限
・BD-Video の視聴可能年齢
・HDD 番組の視聴制限
・USB-HDD の登録
・D 端子映像出力
・かんたんネットワーク設定
・LAN 接続形態
・無線設定
・IP アドレス /DNS 設定
・プロキシサーバー設定

●本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン 1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。(➜160)

ソフトウェア更新（ネットワーク）

本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
・本機の電源を切る
・電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新 【切】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。
（更新は電源「切」時に行います）

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限※1 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

●「年齢入力」を選んで **[決定]** を押すと、**[1]** ～ **[10]** で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

BD-Video の 2D → 3D 変換モード 【モード 1】

3D 変換中の表示方法を選びます。

●「モード 1」の場合は、副映像を表示できません。

音声言語※2 【日本語】

再生時の音声を選びます。

●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

●「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

●「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

※ 1　暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※ 2　「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [1] ～ [10] で言語番号（➜149）を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

記録設定

高速ダビング用録画　【入】

以下の場合に記録した番組を -R(V) -RW(V) に高速でダビングするための設定です。

●外部入力や DV 入力から記録

●ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビング

「入」にすると、高速でダビングできるようになりますが、制限がかかります。

●番組は以下の設定に従い記録されます。

・画面サイズ：「ビデオ方式の記録アスペクト」**(➜下記)**

・二重放送の音声：「二重放送音声記録」**(➜144)**

●コピー制限のある番組は、設定にかかわらず「切」の状態で記録されます。

ビデオ方式の記録アスペクト　【オート】

記録時のアスペクトの設定をします。

以下の記録時に有効

● -R(V) -RW(V) への記録時

●「高速ダビング用録画」**(➜上記)** が有効なとき

高速ダビング速度　【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。

(高速記録対応ディスクの場合など)

自動チャプター　【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質　【モード 1】

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA)」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

デジタル放送の記録アスペクト　【オート】

デジタル放送を HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで記録する場合のアスペクトの設定をします。

MP4 取り込み画質　【高画質モード】

本機に MP4 を取り込むときの画質を設定します。

アルバムの作成画質　【高画質モード】

動くアルバムの記録画質を設定します。

HDD 番組の視聴制限※1　【無制限】

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。(年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります)

HDD 設定

音楽録音音質　【LPCM】

音楽CDからHDDへ録音する場合の音質を選びます。

●「LPCM」は音楽 CD と同じ音質で録音します。

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録（➜準備編 47)

別売の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し（➜準備編 46)

別売のUSB-HDDを本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

USB-HDD のフォーマット

別売の USB-HDD の初期化を行います。

すべての USB-HDD 登録の取り消し(➜準備編 47)

登録されているすべてのUSB-HDDの登録を取り消します。

※1　暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。**暗証番号は忘れないでください。**

映像設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード 【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

●「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。

●「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生 【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

●「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター 【切】

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮 【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD に有効

●「オート」は、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD 【Bitstream】

DTS/DTS-HD 【Bitstream】

AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

●接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。

●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）

【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換 【切】

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。

●96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。

●以下の場合、48 kHzに変換されます。

・BD-V「BD ビデオ副音声・操作音」(➜上記)：「入」

・BD-V 192 kHz 以上の信号

・著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス 【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

●「デジタル出力」(➜上記) が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。

●2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。

●以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。

・AVCHD 再生時

・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

二重放送音声記録 【主音声】

二重放送時、記録する音声を選びます。
以下の場合、両音声を記録できません。
- -R(V) -RW(V) への記録
- 「高速ダビング用録画」（➜142）が有効なとき
- 「外部入力の音声」（➜下記）が「二重音声」の場合

外部入力の音声 【ステレオ】

外部入力（L1）からの録画時、音声の種別を選びます。
- 「二重音声」にした場合、「二重放送音声記録」（➜上記）で音声をあらかじめ選んでください。

DV 入力時の音声設定 【ステレオ 1】

i.LINK（DV入力 /TS）端子からの録画時、音声の種類を選びます。音声は以下のようになります。
- 「ステレオ１」は、録画時の音声（L1、R1）
- 「ステレオ２」は、編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）
- 「MIX」は、ステレオ１とステレオ2の音声
- 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜上記）で音声をあらかじめ選んでください。

音声ディレイ 【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

【 】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作〔オート〕 【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能 【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。
- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」（➜146）が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」（➜145）が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ 【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

SD カード LED 制御 【常時点灯】

SD カードスロットの上にあるランプの点灯方法を設定します。
- 「カード入点灯」は、電源「入」時に、SDカードを入れると点灯します。

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定 【フル HD】

接続しているテレビの方式に設定します。

●「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法 【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示 【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御 【入】

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機 【切】

ビエラの電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。

●「入」にすると、「クイックスタート」（➜140）は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携 【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ 【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

●「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」（➜140）が「切」のときと同じように動作します。
ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト（➜準備編 38） 【16:9】

接続したテレビに合わせて設定します。

HDMI 接続

HDMI 映像優先モード（➜準備編 32） 【入】

HDMI 出力解像度 【オート】

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① ［決定］と［青］と［黄］を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで［▶］を数回押す

③ ［決定］を 3 秒以上押す
・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力 【切】

［「HDMI 出力解像度」（➜上記）が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です］

BD-V AVCHD 映画など24p記録された素材を24p出力します。

●24 p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されません。

●24p以外の素材は BD-V AVCHD の場合60iまたは60p で出力されます。

DVD-V や録画した番組を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「24p」（➜63）を「入」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ 【スタンダード】

RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

HDMI 音声出力（➜準備編 32） 【入】

Deep Color 出力　【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V　【オート】

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

●以下の場合に有効
- ・接続する機器が 7.1 チャンネル･サラウンドに対応している場合
- ・「デジタル出力」(➜143) が「PCM」の場合
- ・音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき

●「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1チャンネルの場合は 5.1チャンネルで再生します)

●DTS 音声は「切」にしても、DTS, Inc. の仕様により 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ　【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

D 端子出力解像度　【D3】

D 端子から出力する解像度を設定します。

●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。

●設定を変更して映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
　・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで [▶] を数回押す

③ [決定] を 3 秒以上押す
　・「D1」に設定されます。

D 端子映像出力　【オート】

D 端子からの映像の出力方法を設定します。「オート」の場合、D 端子に接続しているときのみ映像を出力するので、消費電力の節電になります。

TV アスペクト（4:3）の設定

4：3テレビに接続時、16：9映像の映し方を選びます。

●「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像　【パン & スキャン】

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像　【レターボックス】

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

●DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードの番組は、レターボックスで再生します。

i.LINK 機器モード設定　【DV モード】

i.LINK（DV入力/TS）端子に接続した機器に合わせて設定します。

●「TS モード 2」にすると、「クイックスタート」(➜140) は自動的に「入」になります。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（➜ 準備編 26）

ネットワーク通信設定 【 】はお買い上げ時の設定です

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」（➜ 上記）を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態 【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

無線設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続設定に進むことができます。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が2.4 GHzの場合、通信速度を設定します。

●「倍速モード（40 MHz）」で通信を行うと、2チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス /DNS 設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

●ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。

●「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。

●「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

●「IP アドレス自動取得」（➜上記）を「切」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

●「DNS-IP 自動取得」（➜上記）を「切」にしたあと設定します。

●パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

接続速度自動設定

通常は「入」を選んでおいてください。

接続速度設定

ハブやルーターとの通信ができない場合に設定してください。

●「接続速度自動設定」（➜上記）が「切」時のみ有効

●接続速度は、接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。

●設定を変えた場合、機器によっては接続できなくなることがあります。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

宅外 / 宅内からの操作設定

ブロードバンドレシーバー設定（➜ 準備編 43）

接続形態 【無効】

- 「インターネット」「家庭内ネット」にすると、「クイックスタート」（➜140）は自動的に「入」になります。

ネットワークからの番組消去 【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

宅内ネットワーク設定

お部屋ジャンプリンク（DLNA）/ スカパー! HD 録画設定（➜ 準備編 41）

お部屋ジャンプリンク機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」（➜140）は自動的に「入」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

レート変換モード 【切】

機器一覧

ネットワークプリンターの接続設定（➜ 準備編 44）

プリンター検索

ドアホン・センサーカメラの接続設定（➜準備編42）

ドアホン・センサーカメラ接続 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」（➜140）は自動的に「入」になります。

ドアホン録画
センサーカメラ録画

機器一覧

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。
表示される番号は、「LAN 接続形態」（➜147）の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」：背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」：内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

●お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➜139「ソフトウェア更新設定」)**

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

[➜141「ソフトウェア更新（ネットワーク)」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

例）オンエアーダウンロードによる
　　更新の実行中

例）ネットワークからのダウンロードによる
　　更新の実行中

UPD 1/5

● "1/5" などは進行状況です。
● "5/5" まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

● ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
● オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送または BS デジタル放送の受信環境が必要です。

言語番号一覧　「再生設定（再生専用ディスク)」の言語選択時に使用します。**(➜141)**

アイスランド......7383	オランダ..............7876	ジャワ................7487	ドイツ.................6869	ベンガル（バングラ）......6678
アイマラ..............6589	カザフ.................7575	スウェーデン......8386	ナウル.................7865	ペルシャ............7065
アイルランド......7165	カシミール..........7583	スペイン.............6983	日本語.................7465	ポーランド.........8076
アゼルバイジャン...6590	カタロニア..........6765	スロバキア..........8375	ネパール.............7869	ポルトガル.........8084
アッサム..............6583	ガリチア..............7176	スロベニア..........8376	ノルウェー..........7879	マオリ................7773
アファル..............6565	韓国（朝鮮）語..7579	スワヒリ.............8387	ハウサ.................7265	マケドニア.........7775
アフリカーンス...6570	カンナダ..............7578	スンダ................8385	ハンガリー.........7285	マダガスカル.....7771
アブハジア..........6566	カンボジア..........7577	ズールー.............9085	バシキール..........6665	マライ（マレー）..........7783
アムハラ..............6577	キルギス..............7589	セルビア.............8382	バスク.................6985	マラッタ............7782
アラビア..............6582	ギリシャ..............6976	セルボクロアチア..8372	パシュト.............8083	マラヤーラム.....7776
アルバニア..........8381	クルド.................7585	ソマリ................8379	パンジャブ..........8065	マルタ................7784
アルメニア..........7289	クロアチア..........7282	タイ.....................8472	ヒンディー..........7273	モルダビア.........7779
イタリア..............7384	グアラニー..........7178	タガログ.............8476	ビハール.............6672	モンゴル............7778
イディッシュ......7473	グジャラト..........7185	タジク................8471	ビルマ.................7789	ヨルバ................8979
インターリングア...7365	グリーンランド..7576	タタール.............8484	フィジー.............7074	ラオ.....................7679
インドネシア......7378	グルジア..............7565	タミル................8465	フィンランド......7073	ラテン................7665
ウェールズ..........6789	ケチュア..............8185	チェコ................6783	フェロー.............7079	ラトビア（レット）..........7686
ウォロフ..............8779	ゲール（スコットランド）. 7168	チベット.............6679	フランス.............7082	リトアニア.........7684
ウクライナ..........8575	コーサ.................8872	中国語................9072	フリジア.............7089	リンガラ............7678
ウズベク..............8590	コルシカ..............6779	ティグリニア......8473	ブータン.............6890	ルーマニア.........8279
ウルドゥー..........8582	サモア.................8377	テルグ................8469	ブルガリア..........6671	レトロマンス.....8277
ヴォラピュック...8679	サンスクリット..8365	デンマーク..........6865	ブルターニュ......6682	ロシア................8285
英語.....................6978	ショナ.................8378	トウイ................8487	ヘブライ.............7387	
エストニア..........6984	シンド.................8368	トルクメン..........8475	ベトナム.............8673	
エスペラント......6979	シンハラ..............8373	トルコ................8482	ベロルシア（白ロシア）..... 6669	
オーリヤ..............7982		トンガ................8479		

同時操作について

録画中の同時操作

1 番組を録画中の場合　　（○：できる　×：できない）

録画状態			再生				編集※1	ダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDD の番組	録画ディスク	BD ビデオ・AVCHD	DVD ビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
地上 D BS CS	HDD	DR	○	○	○	○	○	○	×
		HG、HX、HE、HL、HM、HZ	○	○	○	○	○	○	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○※2	○	×	○	○	×	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
		HG、HX、HE、HL、HM、HZ	○※2	×	×	×	○※3	×	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○※2	×	×	×	○	×	×
	DVD	HG、HX、HE、HL、HM、HZ	○※2	×	×	×	○※3	×	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○※2	×	×	×	○	×	×
	USB-HDD	DR	○	○	○	○	○	×	×
外部入力	HDD	XP、SP、LP、EP、FR	○※2	○	×	○	○	×	×
	BD DVD		○※2	×	×	×	○	×	×
i.LINK	HDD	DR	○	○	○	○	○	○	×
DV 入力	HDD	XP、SP、LP、EP、FR	×	×	×	×	×	×	×
スカパー! HD	HDD	—	○	○	×	○	○	○※4	×

●「外部入力（L1）取込」「DV おまかせ取込」中は同時操作はできません。

●HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※ 1　実行できる編集 **（➜64 ～ 70）**
　　（ただし、録画モード変換はできません）

※ 2　「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

※ 3　HDD に HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで同時録画中は編集できません。

※ 4　1 倍速ダビングはできません。

ダビング中の同時動作

（○：できる　×：できない）

ダビングの種類	視聴	予約録画の実行	再生					編集※5
	放送中の番組		HDD の番組	録画ディスク	BD ビデオ・AVCHD	DVD ビデオ	USB-HDD	
高速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○	○	×※6	×※6	×※6	×※6	○
1 倍速ダビング中（ファイナライズ切）	○	○※7	○※8	×	×	×	×	○
ファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※ 5　実行できる編集（➜64 ～ 70）
（ただし、録画モード変換はできません）
※ 6　HDD 番組を複製中は、再生できます。
※ 7　XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画またはスカパー！HD の番組の予約録画は実行できません。
※ 8　「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組は、再生できません。

お部屋ジャンプリンク（DLNA）の同時操作

（○：できる　×：できない）

クライアント側の操作 / 本機の操作	ビデオを見る	放送を見る	写真を見る
HDD・録画ディスク・DVD ビデオ再生中	○	○※9	○
BD ビデオ・AVCHD 再生中	×	×	×
1 番組録画中	○	○※10	○
複数番組録画中	○※11	×	×
スカパー！HD 録画中	×	×	×
高速ダビング中	○	×	×
1 倍速ダビング中	×	×	×
アクトビラなどのネットワーク使用中	×	×	×

※ 9　本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、クライアント側で放送を見ることはできません。
※ 10　ディスクにDRモード以外で録画中やHDDにXP､SP､LP､EP､FRモードで録画中は､クライアント側で放送を見ることはできません。
※ 11　本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリンク（DLNA）はできません。

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 端子</th><th colspan="4">デジタル音声出力端子</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream ※1</th><th colspan="2">PCM ※2</th><th colspan="2">Bitstream</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</th><th>入※3</th><th>切</th><th>入※4</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX ※5</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※7</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX ※6</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウンミックス 2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES ※5</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※8</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES ※6</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch ※8</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td><td colspan="4">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
</table>

※１　接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※２　接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※３　BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(➜143) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※４　副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※５　PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※６　BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」（➜143）を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※７　BD-V 「7.1ch 音声リマッピング」（➜146）が「切」時は 5.1ch になります。

※８　DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BDビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により違います。
DVDビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD	**●音楽や音声が記録された市販ソフト** （CD-DA形式で記録したCD-RやCD-RWを含む） **●写真が記録されたCD-RやCD-RW**	
＋R ＋R DL（片面2層） ＋RW	**●他のDVDレコーダーで録画されたディスク** （録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます） **●写真が記録されたディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
●8 cmディスクに記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークの付いたDVD-RAMディスク（6X以上の 高速記録対応）の記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。
●他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスクの編集や追記はできません。再生やHDDへの取り込みのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せないDVD-RAM（TYPE1）　●BD-RE（Ver.1.0）
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●PAL方式で記録されたディスク
●HD DVD　●ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ
●Photo-CD　●パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
（miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む）
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）
（microSDHC メモリーカードを含む）
SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）
（microSDXC メモリーカードを含む）

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。**(➜134)**
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み**(➜87 ～ 89)**や再生**(➜51)**
- 録画した番組の持ち出し**(➜119)**
- 写真の再生**(➜95)**や取り込み**(➜98)**
- 音楽の再生**(➜105)**や転送**(➜104)**

・持ち出し番組や音楽を他の機器で再生する場合、動作確認済みの機器については、当社ホームページ**(➜3)**をご覧ください。

お知らせ
- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

USB 機器、USB-HDD について

接続できる USB 機器について

当社製の以下のUSB機器と接続することができます。

- **デジタルハイビジョンビデオカメラ**
- **SD ビデオカメラ**
- **デジタルカメラ**
- **携帯電話**
- **ポータブルテレビ（ビエラ・ワンセグ）**
- **ビエラコミュニケーションカメラ（TY-CC10W）**
- **デジタルメディアプレーヤー**

動作確認済みの機器については、当社ホームページ（➜3）をご覧ください。

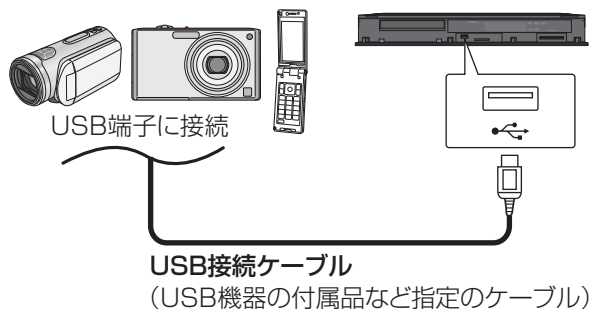
- 上記以外のUSB機器（USBメモリー、USBリーダー＆ライター、USB 電源を利用する機器など）については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み（➜87 ～ 89）
- 録画した番組の持ち出し（➜119）
- 写真の再生（➜95）や取り込み（➜98）

USB 機器を接続する

USB接続ケーブル
（USB機器の付属品など指定のケーブル）

背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

USB 機器の場合

- 本体表示窓の“ ”（➜11）点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

USB-HDD の場合

- 「USB-HDD の取り外し」（➜142）を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、以下の推奨 USB-HDD をご使用ください。（2011 年 7 月現在）

- 当社製：DY-HD500
- 他社製：右記のマークが付いたもの

推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

- 本機で使用する場合、「USB-HDD の登録」（➜142）を行う必要があります。
- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画･編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（別売）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は､「個人情報リセット」（➔139）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD をお使いになっていた場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。
再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- **HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。**

ディスク、カード

持ち方

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー（別売）のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後はケースに収めてください。

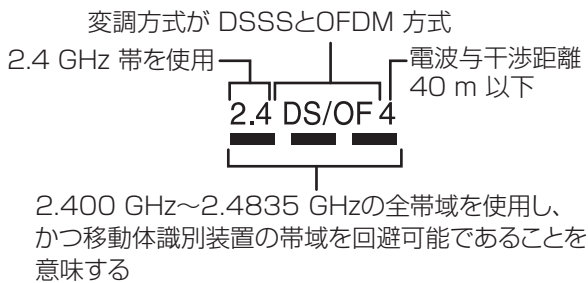
内蔵無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、本機背面（定格銘板）に記載しています。

2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック DIGA（ディーガ）ご相談窓口（➜ 裏表紙）

■ 機器認定

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線LANに以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 本機背面記載の定格銘板を消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

内蔵無線 LAN の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線LANの使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  –次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
  - 電子レンジ
  - デジタルコードレス電話機
  - その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（Bluetooth 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）

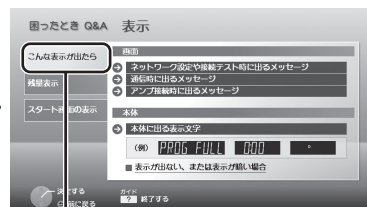
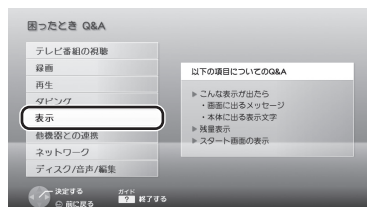
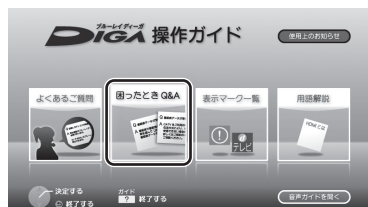
  –802.11n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

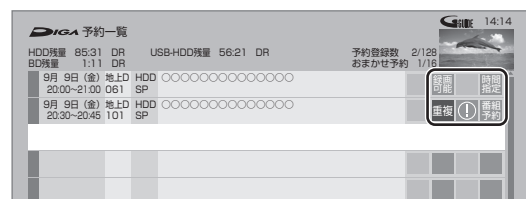
必要なとき

こんな表示が出たら

下記以外の表示やメッセージについては、本体の「操作ガイド」をご覧ください。

ガイド [?]（ふた内部）を押す

この項目を確認してください。

表示マークについても「操作ガイド」をご覧ください。

予約一覧画面

録画一覧画面

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	0:00	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。時刻を合わせてください。 ●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	DL 1/5	●オンエアーダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5 などはダウンロードの進行状況です）
	UPD 1/5	●ネットワークからのダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5などは更新の進行状況です）
	U30 2 1～6のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2：表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。 ●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）
	U50	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	U82	●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の **[電源 ⏻/I]** を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	F00 H00 （数字の 00は例です）	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切 / 入してください。

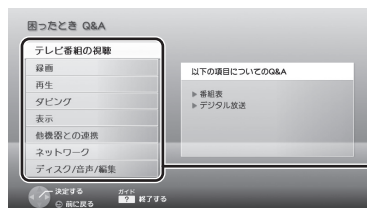
●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（➜184）へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99 」などとお知らせください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな !?」の内容は、本体の「操作ガイド」や当社ホームページ（➜3）も併せてご覧ください。

ガイド [?]（ふた内部）を押す

この項目を確認してください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
- BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
- 以下の状態のときに、本機から HDD の動作音が聞こえる場合があります。
  - ·電源切 / 入時
  - ·番組表データを受信中
  - ·ソフトウェア更新中または番組のダウンロード中
  - ·録画中
  - ·録画モード変換時、持ち出し番組作成時または音楽データの AAC 圧縮時
  - ·「ビエラリンク録画待機」（➜145）の「入」時
  - ·予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時
本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**

- 切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。
（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

① **[スタート]** を押す

②「診断コード」を選び、**[決定]** を押す

- 表示がない場合は [|◀◀][▶▶|] でページを切り換えてください。

③ **[黄]** を 5 秒以上押す

④「はい」を選び、**[決定]** を押す

- 診断を開始します。

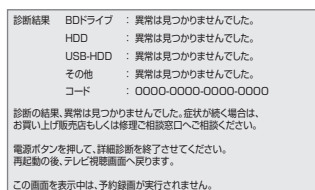
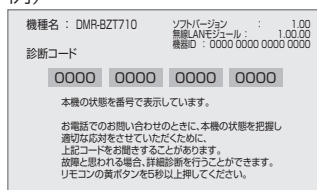
例）

機種名 ： DMR-BZT710　ソフトバージョン ： 1.00　無線LANモジュール ： 1.00.00　機器ID ： 0000 0000 0000 0000

診断コード

0000 0000 0000 0000

本機の状態を番号で表示しています。

お電話でのお問い合わせのときに、本機の状態を把握し適切な対応をさせていただくために、上記コードをお聞きすることがあります。
故障と思われる場合、詳細診断を行うことができます。
リモコンの黄ボタンを5秒以上押してください。

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

電源

電源が入らない

●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
●電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の **[電源 ⏻/I]** を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

●「自動電源〔切〕」**(➜140)** やビエラリンク（HDMI）の電源オフ連動 **(➜115)**、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

●ビエラリンク（HDMI）をお使いのときは、テレビから予約されると、本機の電源が自動的に入ります。

テレビ画面や映像

映像が映らない
映像が乱れる

●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。**(➜ 準備編 4 ～ 22)**
●HDMI 端子接続時：
・接続状態に合わせて、「HDMI映像優先モード」**(➜ 準備編 32)** を設定してください。
- HDMI 端子でテレビと接続：「入」
- HDMI 端子でアンプなどと接続し、D 端子でテレビと接続：「切」

・HDCP（不正コピー防止技術）に対応した機器（パソコンのディスプレーなど）に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
- 「24p 出力」**(➜145)** が「入」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
- 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき

・「Deep Color 出力」**(➜146)** もしくは「コンテンツタイプフラグ」**(➜146)** を「切」にしてください。
●D 端子接続時：
・本機の出力設定がテレビの D 端子の性能を超えている場合や、接続したケーブルによっては、映像が映らないときがあります。以下の操作を行うと D1 出力になり、「D端子映像出力」**(➜146)** が「入」になって、映像が映ります。
① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **[▶]** を数回押す
③ **[決定]** を 3 秒以上押す
・「D 端子出力解像度」**(➜146)** が「D3」「D4」の場合、DVD ビデオや外部入力、DV 入力からの映像は、初めの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりします。
●3D映像や24p素材を含む番組を再生時、HDMI端子以外からの映像が映らない場合があります。
●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビの HDMI端子を変更すると改善される場合があります。

故障かな !?（続き）

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

●アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
●以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき（➜ 準備編 24）
・「アンテナ電源」を「入」にしているとき（➜138）
●「アンテナ出力」（➜138）を「入」にする。
「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
●一度「アッテネーター」（➜ 準備編 34）の設定を切り換えてみてください。
●エコ待機で電源「切」時は、テレビの映像が映らない、もしくは画質が悪くなるときがあります。本機を経由させずにアンテナ線をテレビに接続すると、改善することができます。（➜ 準備編 10）

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

●「かんたん設置設定」（➜ 準備編 25）をやり直してください。

画面の上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される 画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」（➜25）で調整してください。
（テレビのアスペクト設定でも調整できます）
●「TV アスペクト」（➜ 準備編 38）の設定を接続したテレビに合わせてください。
●4:3 のテレビに接続する場合、「D 端子出力解像度」（➜146）を「D1」または「D2」に設定してください。

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」（➜62）を「切」にしてください。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」（➜144）が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

ハイビジョン映像で出力されない

●ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が 480p に制限される場合があります。
●HDMI 端子以外で接続時、以下の場合は出力が 480i に制限されることがあります。
・ディスクから HDD にダビングした番組を再生時
・お部屋ジャンプ（DLNA）利用時（クライアントとして使用）
・i.LINK（TS）入力の視聴時
・ BD-RE BD-R BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 再生時

ボタン操作

リモコンが働かない

●本体とリモコンのリモコンモード（➜ 準備編 39）が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

U30 2

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を３秒以上押したままにしてください。

●リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）

●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。

●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などがありませんか。

●テレビ操作部のボタンでテレビを操作する場合、テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。（➜ 準備編 40）

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

●本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。
（➜ 準備編 39）

本体

本機が熱い

●本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

●本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
① [決定] と [青] と [黄] を同時に５秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで [▶] を数回押す
③ [決定] を押す
（ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください）
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送　(地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(➜117)
  ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります)

BS デジタル放送　(BS デジタル)

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送　(CS デジタル)

通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
  「スカパー! e2」には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

お問い合わせ先
「スカパー! e2」カスタマーセンター
0570-08-1212(ナビダイヤル)
(携帯電話・PHS の方は、**045-276-7777**)
受付時間　10:00 ～ 20:00(年中無休)
「スカパー! e2」公式ホームページ
http://www.e2sptv.jp/

お知らせ

- **B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　源　AC 100 V、50/60 Hz

消費電力

動作時　：約 26 W

待機時(クイックスタート｢切｣／エコ待機｢モード2｣)：
時刻表示消灯時・約 0.03 W※1※2

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：
時刻表示消灯時・約 2.9 W※1

待機時（クイックスタート「入」標準）：
時刻表示点灯時・約 4.4 W※1※3

※1・地上デジタルアッテネーター：「入」
・BS・110度CSデジタルアンテナ電源：「切」
・BS・110度CSデジタルアンテナ出力：「切」
・無線LAN未接続時
・外部接続端子（LAN、USB、DV）：未接続

※2・エコ待機「モード1」の数値はお客様の設定により変わります。

※3・HDMI出力解像度：1080i
待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力	
区分名※4	—
年間消費電力量※5	24.6 kWh/年
省エネ基準達成率※4	—

※4　ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分／省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。

※5　表示値はJEITA基準による算出式を基に算出した参考値です。

本体

■寸法
幅 430 mm×高さ 49 mm×奥行 199 mm
（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 49 mm×奥行 209 mm
（突起部含む）

■本体質量
約 2.8 kg

■許容周囲温度
5 ℃～40 ℃

■許容相対湿度
10%～80%RH （結露なきこと）

■時計
クォーツ制御、24時間、デジタル表示

テレビジョン方式

■映像方式
NTSC方式、有効走査線数480本、60フィールド
デジタルハイビジョン：
地上デジタル放送方式（日本）、
衛星デジタル放送方式（日本）

■アンテナ受信入力

地上デジタル入力
90 MHz～770 MHz　75 Ω
（VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）

BS・110度CSデジタル-IF入力
1032 MHz～2071 MHz （IF入力周波数）75 Ω
電源供給　：DC 15 V、最大4 W

入出力端子（映像・音声を除く）

■DV入力/TS入出力端子
4ピン：1系統（IEEE1394準拠）
端子は背面1装備

■SDメモリーカードスロット
1系統

■LAN端子
1系統（10BASE-T/100BASE-TX）

■USB端子
前面1系統、背面2系統
（DC 5 V　MAX 500 mA）

映像

■記録圧縮方式
MPEG-2（Hybrid VBR）
MPEG-4 AVC/H.264

■映像入力
入力端子　：1系統（ピンジャック）
入力レベル　：1.0 Vp-p　75 Ω

■S映像入力
入力端子　：1系統
Y入力レベル　：1.0 Vp-p　75 Ω
C入力レベル　：0.286 Vp-p　75 Ω

■映像出力
出力端子　：1系統（ピンジャック）
出力レベル　：1.0 Vp-p　75 Ω

■S映像出力
出力端子　：1系統
Y出力レベル　：1.0 Vp-p　75 Ω
C出力レベル　：0.286 Vp-p　75 Ω

■D端子映像出力（D1/D2/D3/D4端子）
出力端子　：1系統
（480i/480p/1080i/720p）
Y出力レベル　：1.0 Vp-p　75 Ω
CB/PB出力レベル　：0.7 Vp-p　75 Ω
CR/PR出力レベル　：0.7 Vp-p　75 Ω

■HDMI映像・音声出力
出力端子　：1系統
（19ピン typeA端子）
HDMI ［本機はビエラリンク（HDMI）Ver.5に対応しています］（480p/1080i/720p/1080p）

音声

■記録・再生圧縮方式
●MPEG-2 AAC
（DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモード・デジタル放送記録時）：
最大5.1ch記録
●Dolby Digital（XP、SP、LP、EP、FRモード）：
2ch記録

■アナログ入力
入力端子　：2ch入力
1系統（ピンジャック）
基準入力　：309 mVrms
入力レベル：
FS　：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
入力インピーダンス　：22 kΩ

■アナログ出力
出力端子　：2ch出力
1系統（ピンジャック）
基準出力　：309 mVrms
出力レベル：
FS　：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力インピーダンス　：1 kΩ
（負荷インピーダンス：10 kΩ）

■チャンネル数
記録　：2ch（デジタル放送記録時：最大5.1ch）
再生　：2ch
HDMI出力　：最大7.1ch
光デジタル出力　：最大5.1ch（Bitstream）

■デジタル出力
光デジタル音声出力端子　：1系統
（PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応）

HDMI映像・音声出力端子　：1系統
（PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応）
（Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio対応、対応アンプに接続時のみBitstream出力可能）

HDD/BD 部

■内蔵HDD容量

500 GB

■記録可能なディスク※6

- ●BD-RE
  （25 GB: 片面１層 /50 GB: 片面２層）
  1-2X SPEED（Ver.2.1 準拠）
  （1X SPEED Ver.1.0 は非対応）
  （100 GB: 片面３層）
  2X SPEED（Ver.3.0 準拠）
- ●BD-R
  （25 GB: 片面１層 /50 GB: 片面２層）
  1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠）
  1-4X SPEED（Ver.1.2 準拠）
  1-6X SPEED（Ver.1.3 準拠）
  （25 GB: 片面１層のみ）
  1-2X SPEED LTH type（Ver.1.2 準拠）
  1-4X SPEED LTH type（Ver.1.3 準拠）
  1-6X SPEED LTH type（Ver.1.3 準拠）
  （100 GB: 片面３層 /128 GB: 片面４層※7）
  2-4X SPEED（Ver.2.0 準拠）
- ●DVD-RAM※8：
  2X SPEED（Ver.2.0 準拠）
  2-3X SPEED（Ver.2.1 準拠）
  2-5X SPEED（Ver.2.2 準拠）
- ●DVD-R：
  1X SPEED（Ver.2.0 準拠）
  1-4X SPEED（Ver.2.0 準拠）
  1-8X SPEED（Ver.2.0 準拠）
  1-16X SPEED（Ver.2.1 準拠）
- ●DVD-R DL：
  2-4X SPEED（Ver.3.0 準拠）
  2-8X SPEED（Ver.3.0 準拠）
- ●DVD-RW：
  1X SPEED（Ver.1.1 準拠）
  1-2X SPEED（Ver.1.1 準拠）
  2-4X SPEED（Ver.1.2 準拠）
  2-6X SPEED（Ver.1.2 準拠）

■リージョンコード

DVD　：＃2
BD　：Region A

■再生可能なディスク

- ●BD-RE（25 GB: 片面１層）
- ●BD-RE（50 GB: 片面２層）
- ●BD-RE（100 GB: 片面３層）
- ●BD-R（25 GB: 片面１層）
- ●BD-R（50 GB: 片面２層）
- ●BD-R（100 GB: 片面３層）
- ●BD-R（128 GB: 片面４層※7）
- ●BD-Video（Blu-ray 3D、BD-Live 対応）
- ●DVD-RAM※8：
  DVDビデオレコーディング規格準拠、
  AVCHD 規格準拠、
  AVCREC 規格準拠
- ●DVD-R、DVD-R DL（片面2層）：
  DVDビデオ規格準拠※9、
  DVDビデオレコーディング規格準拠、
  AVCHD 規格準拠※9、
  AVCREC 規格準拠※9
- ●DVD-RW：
  DVDビデオ規格準拠※9、
  DVDビデオレコーディング規格準拠、
  AVCHD 規格準拠※9
- ●+R、+R DL（片面2層）、+RW：
  DVDビデオ規格準拠※9、
  AVCHD 規格準拠※9
- ●DVD-Video　：DVDビデオ規格準拠
- ●CD-Audio（CD-DA）
- ●CD-R/CD-RW：
  CD-DA、JPEG フォーマット記録ディスク

※6　8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
※7　2011 年７月現在、BD-R（128 GB: 片面４層）は発売されていません。
※8　カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※9　他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

SD部

■スロット

SDメモリーカード

■対応カード

SDメモリーカード※10※11※12

■対応フォーマット

SDカード ： FAT12/FAT16
SDHCカード ： FAT32
SDXCカード ： exFAT

USB部

■バージョン

ハイスピードUSB（USB2.0準拠）

■対応フォーマット

FAT12、FAT16、FAT32

■USB-HDD対応

USB-HDD（160 GB以上2 TB以下）
最大8台まで登録可能

写真

■画像ファイル形式

JPEGベースライン形式

■画素数

34×34～8192×8192
サブサンプリング ：4：2：2、4：2：0

■解凍時間※13

約2秒（1010万画素）

■記録 / 再生可能メディア

HDD、BD-RE、DVD-RAM、SDカード

■再生のみ可能メディア

BD-R、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB

■ファイル方式

●JPEG：
ベースライン方式（DCF準拠）
・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
・MOTION JPEG非対応

●MPO：
マルチピクチャーフォーマット（MPF準拠）
・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

■フォルダ数

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SDカード、USB ：最大500※14

■ファイル数

HDD ：最大20000
BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SDカード、USB ：最大10000※15

■CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW

●ISO9660 level1と2(拡張フォーマットは除く)、Joliet対応
●マルチセッション対応
●パケットライト方式非対応

音楽

■記録 / 再生可能メディア

HDD、SDメモリーカード※10※11※12

■再生のみ可能メディア

CD-Audio（CD-DA）、CD-R/CD-RW（CD-DA）

■バックアップ専用メディア

DVD-RAM

■記録方式

HDD ：LPCM、AAC
SDカード ：AAC

■記録モード

LPCM ：CD音質（HDD記録時のみ）
AAC（XP） ：約128 kbps
AAC（SP） ：約96 kbps

MPEG-2動画

■ファイル形式

SD VIDEO規格準拠

■圧縮方式

MPEG-2

AVCHD動画

■ファイル形式

AVCHD規格準拠

■圧縮方式

MPEG-4 AVC/H.264

MP4 動画

■ファイル形式

MP4 ファイルフォーマット（.MP4）

■ビデオ圧縮方式

MPEG-4 AVC/H.264：High profile 4.2 以下
解像度：1920 × 1080 まで

■音声圧縮方式

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz
チャンネル数：1 または 2

（音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります）

持ち出し動画

■ファイル形式 / 画質

SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 180　15 fps（412 kbps）

SD VIDEO 規格（H.264 Mobile Video Profile）準拠 / 640 × 360　30 fps（1.5 Mbps、1.0 Mbps）

■圧縮方式

MPEG-4 AVC/H.264

内蔵無線 LAN モジュール

■アンテナ

Tx 1、Rx 1
ダイバーシティ方式

■規格

IEEE802.11n / IEEE802.11a※16/
IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、
ARIB STD-T71（5 GHz 帯）、
ARIB STD-T66（2.4 GHz 帯）
（5 GHz 帯は屋内使用限定）

■伝送方式

OFDM 方式、DSSS 方式

■周波数範囲 / チャンネル（中心周波数）

IEEE802.11n / IEEE802.11a

5. 180 GHz ～ 5. 240 GHz / W52：
36, 40, 44, 48 ch

5. 260 GHz ～ 5. 320 GHz / W53：
52, 56, 60, 64 ch

5. 500 GHz ～ 5. 700 GHz / W56：
100, 104, 108, 112, 116, 120,
124, 128, 132, 136, 140 ch

IEEE802.11g / IEEE802.11b / IEEE802.11n

2. 412 GHz ～ 2. 472 GHz　：1 ～ 13 ch

■データ転送速度（規格値※17）

IEEE802.11n：
最大 150 Mbps

IEEE802.11g、IEEE802.11a：
最大 54 Mbps

IEEE802.11b：
最大 11 Mbps

■アクセス方式

インフラストラクチャモード

■セキュリティー

WPA™ / WPA2™
（暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK）
WEP（64 bit / 128 bit）

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]

※10　使用可能容量は少なくなることがあります。
※11　SDHCメモリーカード、SDXC メモリーカードを含む。
※12　mini タイプ、micro タイプの SD カードを含む。（専用のアダプター装着時）
※13　解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。
※14　最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）
※15　最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG と MPO のファイル合計）
※16　従来の 11a（J52）のみの対応機器とは接続できません。
※17　理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。

録画モードと記録時間の目安

録画モード＼ディスク				内蔵HDD	BD-RE		
				500 GB	100 GB（片面３層）	50 GB（片面２層）	25 GB（片面１層）
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送（≦24 Mbps）	約45時間	約8時間40分	約4時間20分	約2時間10分
放送画質	DR	BSデジタル	SD放送（≦12 Mbps）	約90時間	約17時間20分	約8時間40分	約4時間20分
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送（≦17 Mbps）	約63時間	約12時間	約6時間	約3時間
ハイビジョン画質	HG			約90時間	約17時間20分	約8時間40分	約4時間20分
ハイビジョン画質	HX			約135時間	約26時間	約13時間	約6時間30分
ハイビジョン画質	HE			約180時間	約34時間40分	約17時間20分	約8時間40分
ハイビジョン画質	HL			約225時間	約43時間20分	約21時間40分	約10時間50分
ハイビジョン画質	HM			約360時間	約69時間20分	約34時間40分	約17時間20分
ハイビジョン画質	HZ			約675時間	約130時間	約65時間	約32時間30分
標準画質	XP			約110時間	約21時間	約10時間30分	約5時間15分
標準画質	SP			約222時間	約42時間	約21時間	約10時間30分
標準画質	LP			約442時間	約84時間	約42時間	約21時間
標準画質	EP			約887時間	約168時間	約84時間	約42時間

録画モード＼ディスク				BD-R			
				128 GB（片面４層）※18	100 GB（片面３層）	50 GB（片面２層）	25 GB（片面１層）
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送（≦24 Mbps）	約11時間10分	約8時間40分	約4時間20分	約2時間10分
放送画質	DR	BSデジタル	SD放送（≦12 Mbps）	約22時間20分	約17時間20分	約8時間40分	約4時間20分
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送（≦17 Mbps）	約15時間30分	約12時間	約6時間	約3時間
ハイビジョン画質	HG			約22時間20分	約17時間20分	約8時間40分	約4時間20分
ハイビジョン画質	HX			約33時間30分	約26時間	約13時間	約6時間30分
ハイビジョン画質	HE			約44時間40分	約34時間40分	約17時間20分	約8時間40分
ハイビジョン画質	HL			約55時間50分	約43時間20分	約21時間40分	約10時間50分
ハイビジョン画質	HM			約89時間20分	約69時間20分	約34時間40分	約17時間20分
ハイビジョン画質	HZ			約167時間30分	約130時間	約65時間	約32時間30分
標準画質	XP			約27時間	約21時間	約10時間30分	約5時間15分
標準画質	SP			約54時間	約42時間	約21時間	約10時間30分
標準画質	LP			約107時間40分	約84時間	約42時間	約21時間
標準画質	EP			約215時間10分	約168時間	約84時間	約42時間

※18　2011年7月現在、BD-R（128 GB: 片面４層）は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM 4.7 GB（片面）	DVD-RAM 9.4 GB（両面）	DVD-R（4.7 GB）	DVD-R DL（8.5 GB）（片面2層）	DVD-RW（4.7 GB）
ハイビジョン画質	HG	約 46 分	約 1 時間 32 分	約 46 分	約 1 時間 30 分	—
	HX	約 1 時間 9 分	約 2 時間 18 分	約 1 時間 9 分	約 2 時間 15 分	
	HE	約 1 時間 32 分	約 3 時間 4 分	約 1 時間 32 分	約 3 時間	
	HL	約 1 時間 55 分	約 3 時間 50 分	約 1 時間 55 分	約3時間 45 分	
	HM	約 3 時間 4 分	約 6 時間 8 分	約 3 時間 4 分	約 6 時間	
	HZ	約6時間	約 12時間	約6時間	約11時間15分	
標準画質	XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP	約8時間	約16時間	約8時間	約14時間20分	約8時間

お知らせ

- HDD 持ち出し番組や音楽、写真を記録している場合、「ドアホン・センサーカメラ接続」（➜148）を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- HZ モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。（HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) では、特にその差が著しくなります）
- DR モードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- HDD ：3000（持ち出し番組を含む）（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ：200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V) ：99
- USB-HDD ：1000（撮影ビデオ、写真、音楽は記録できません）

予約可能番組数

128（予約可能期間：1 年間）

スカパー！HD の番組の記録時間の目安

番組 ＼ 内蔵HDD	500 GB
スカパー！HD の ハイビジョン画質の番組	約 116 時間（約 63 ～ 146 時間）
スカパー！HD の 標準画質の番組	約 199 時間（約 126 ～ 383 時間）

●録画する番組によって記録できる時間は変動します。（ ）は変動する記録時間の目安です。

最大チャプターマーク数

（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

● HDD USB-HDD ：1 番組当たり約 999 個

● BD-RE※19 BD-R※19 RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ：ディスク当たり約 999 個

※ 19　BDXL は約 20000 個

● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ：1 番組当たり約 100 個

持ち出し番組の記録可能時間の目安

SD カード ＼ 画質	ワンセグ（412 kbps）	VGA（1.0 Mbps）	VGA（1.5 Mbps）
128 MB	約 41 分	約 14 分	約 10 分
256 MB	約 1 時間 20 分	約 29 分	約 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分	約 58 分	約 40 分
1 GB	約 5 時間 20 分	約 1 時間 56 分	約 1 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分	約 3 時間 57 分	約 2 時間 44 分
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
8 GB	約 43 時間 24 分	約 15 時間 50 分	約 10 時間 58 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
32 GB	約 175 時間 12 分	約 63 時間 57 分	約 44 時間 19 分
48 GB	約 257 時間 32 分	約 94 時間	約 65 時間 9 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

●**最大番組数 ：99** [ハイビジョン動画（AVCHD）以外の動画を含む]

音楽の記録可能時間の目安

メディア／録音音質	内蔵 HDD	SD カード					
	500 GB	32 MB	64 MB	128 MB	256 MB	512 MB	1 GB
LPCM	約 678 時間	—	—	—	—	—	—
AAC (XP)	約 8200 時間	約 31 分	約 1 時間 4 分	約 2 時間 10 分	約 4 時間 14 分	約 8 時間 23 分	約 16 時間 47 分
AAC (SP)	約 10900 時間	約 41 分	約 1 時間 25 分	約 2 時間 53 分	約 5 時間 38 分	約 11 時間 11 分	約 22 時間 23 分

メディア／録音音質	SD カード						
	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB
LPCM	—	—	—	—	—	—	—
AAC (XP)	約 34 時間 8 分	約 66 時間 29 分	136 時間 27 分	139 時間 5 分※20	139 時間 5 分※20	139 時間 5 分※20	139 時間 5 分※20
AAC (SP)	約 45 時間 31 分	約 88 時間 39 分	139 時間 5 分※20	139 時間 5 分※20	139 時間 5 分※20	139 時間 5 分※20	139 時間 5 分※20

- HDD 番組や写真を記録している場合、記録できる時間は少なくなります。
- HDD AACへの音楽圧縮前は、LPCMの記録可能時間しか録音できません。

※ 20　SDオーディオ規格の時間管理の制限により曲数に限らず最大記録時間に限界があり、この時間以上の記録はできません。

音楽の記録可能な最大数

- HDD 曲数：40000
  録音速度：約 12 倍速
- SD 転送数：曲 999、プレイリスト 99（SD カードに AAC 以外の曲が記録されている場合、最大転送数は少なくなります）
  転送速度：約 16 倍速

AACS による制限について

AACS（ブルーレイディスクの著作権保護技術）の運用ルールの制限により、本機では再生する番組やディスクによっては、D 端子からハイビジョン映像で出力されない場合があります。

再生する番組、ディスク	ハイビジョン出力
市販の BD ビデオ	× [D1（480i）で出力]
BD-RE、BD-R に記録した番組	× [D1（480i）で出力]
AVCREC 方式の DVD ディスクに記録した番組	× [D1（480i）で出力]
HDD に記録した番組	○ （BD ディスクからダビングした番組は D1 出力になります）

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- ●アクトビラなどのインターネットサービス
- ●番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- ●ブロードバンドレシーバー機能
- ●CD のタイトル情報取得
- ●その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア（GPL/LGPL ソフトウェア）は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/JPRCP11

(5) には以下が含まれます。

1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

Gracenote® Corporate の記述

音楽認識テクノロジーおよび関連データは Gracenote® によって提供されます。Gracenote は音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
詳細については、www.gracenote.com をご覧ください。

Gracenote® の著作権情報に関する記述

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ：
copyright © 2000-present Gracenote.
Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.
本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. （以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」とする）を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 （以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース （以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。
お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。
Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。
Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

必要なとき

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
●ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
DTS-HD、シンボルマークおよび DTS-HD とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio ｜ Essential は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
●SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
●i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
●DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●スカパー! および「スカパー! HD 録画™」ロゴは、スカパーJSAT株式会社の商標です。
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
●Javaおよびすべての Java関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
●Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
●Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
●HDAVI Control™ は商標です。
● マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。
●Skype、関連する商標とロゴおよび マークは、Skype Limited 社の商標です。
●e-move™及びe-moveロゴはパナソニック株式会社の商標です。
●“Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
●Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance”の商標です。
●“Wi-Fi”、“Wi-Fi CERTIFIED”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011
●“AVCHD 3D/Progressive”および“AVCHD 3D/Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●“DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、
［スタート］ボタンを押し、“全機能から選ぶ”→“設定する・その他の機能”→“メール／情報”→“ID表示”→“ソフト情報”をご参照ください。
●メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
●本機は2011年7月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なにおいや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

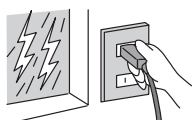
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

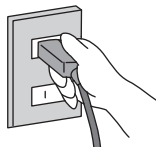
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

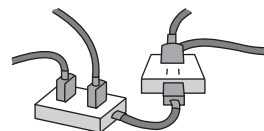
内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

次の安全上のご注意は、無線LANご使用時に適用されます。

心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から22cm以上離す

無線LANからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

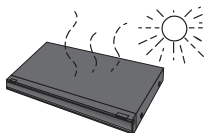
自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

無線LANからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

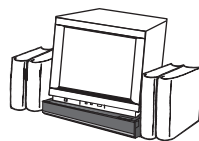
病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

無線LANからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

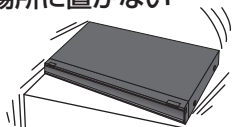
異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

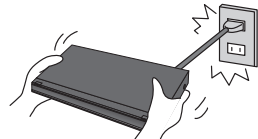
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災·感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災·故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災·感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置·工事は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

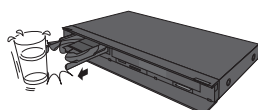
長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。
- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D画面モード」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5〜6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　　）	－	
お買い上げ日	年	月	日
B-CASカード番号			

※ B-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは
「故障かな!?」（➜162 ～165）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- ● 製品名　ブルーレイディスクレコーダー
- ● 品　番　DMR-BZT710
- ● 故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体１年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間　８年**
当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック DIGA（ディーガ）ご相談窓口　365日 受付9時～20時
電 話　フリーダイヤル 携帯・PHS OK　**0120-878-982**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理ご相談窓口
電 話　フリーダイヤル 携帯・PHS OK　**0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

使いかたのお問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。（➜162）
事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口　※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	地域	電話番号	所在地
北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　　0511

さくいん

英数字　ページ

あ 行 ページ

か 行 ページ

必要なとき

さ 行

ページ

た 行

な 行

は 行

ページ

ま　行　　　ページ

や　行　　　ページ

ら　行　　　ページ

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。

●使いかた・お手入れなどのご相談は - - -

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-982 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 ■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル 0120-878-236 **Help desk for foreign residents in Japan** **Tokyo** (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787 Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays) ※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は - - - - - - - - - - - - -

パナソニック 修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/ インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-554 ※携帯電話・PHSからもご利用になれます。 • 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 **長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！**

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　コンシューマープロダクツ事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3Q68-2
F0711SN2101 (30000 Ⓓ)